

滋賀大学

1. 日本と世界の文化	1
2. 地理学からの問い	3
3. 自然科学への招待	4
4. 近江のくらしと文化	5
5. 人間と社会	7
6. 環境問題を学ぶ	9

滋賀医科大学

7. 哲学入門	11
8. 医療イノベーションの基礎	13

滋賀県立大学

9. おうみ学生未来塾（湖東）	15
10. SDG s と滋賀のグローバル・イノベーション 近江の暮らしとなりわい	16
11. 地域コミュニケーション論	17
12. 世界遺産のまちづくり・ひとづくり	18
13. びわこ環境行政論	19
14. 地域産業・企業から学ぶ社長講義	20

滋賀短期大学

15. 近江学入門	21
16. 数の不思議	22
17. ラッピング演習	23
18. オフィス総論	24
19. 秘書実務Ⅰ	25
20. 秘書実務Ⅱ	26

滋賀文教短期大学

21. 湖北の歴史と民俗文化	27
----------------------	----

成安造形大学

22. 近江学 B(おうみ学生未来塾（湖西）)	29
23. デザイン史概説 A	30
24. デザイン史概説 B	31
25. 東洋・日本美術史概説 A	32
26. 東洋・日本美術史概説 B	33
27. 西洋美術史概説 A	34
28. 西洋美術史概説 B	35

聖泉大学

29. 滋賀論	36
30. 運動心理学	37
31. 心理学概論 A	38

32. 発達心理学	39
33. 知覚・認知心理学	40

長浜バイオ大学

34. 生物学基礎	41
35. 基礎微生物学	42
36. 遺伝子工学	43
37. 近江での SDGs の実践	44

びわこ学院大学

38. 子ども学総論	46
39. 滋賀の環境	47
40. メンタルトレーニング論	48
41. レクリエーション論	49
42. 生活と福祉	50

びわこ成蹊スポーツ大学

43. 栄養と健康	51
44. スポーツ社会学概論	52
45. レジャー・レクリエーション論	53
46. スポーツバイオメカニクス	54

びわこリハビリテーション専門職大学

47. 哲学入門	55
----------------	----

龍谷大学

48. 生活の中の数学	56
49. 里山学	57
50. 環境の科学	59
51. 社会人類学	61
52. びわ湖・滋賀学	63
53. 環境社会学	65
54. コミュニティ論	67
55. 社会貢献論	71
56. 植物生理・生化学Ⅰ	75
57. 食と嗜好の科学	77
58. 日本・京滋の食料と農業	79

立命館大学

59. 経済学特殊講義Ⅱ（金融・証券分析基礎）	81
60. 近現代の科学技術	83
61. 生命科学概論	85
62. 薬学概論	87
63. スポーツマネジメント論	89
64. 衛生学（公衆衛生含む）	91

科目番号	1	科目名	日本と世界の文化		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		滋賀		大学	
連 絡 先		滋賀大学学務課総務係			
		TEL : 0749-27-1017		FAX : 0749-24-5122	
担 当 教 員		江崎 麻里		(教 育 学 部 講 師)	
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
		新型コロナウイルス感染拡大防止のために対面授業が中止になった場合は、「オンライン授業(オンデマンド)」を実施します。			
教 室 名		大講義室		会場	大津キャンパス
授 業 期 間		2022 年 8 月 22 日 (月) ~ 2022 年 8 月 25 日 (木) <集中講義> 8月22日~8月24日 : 1~4限(8:50~16:00) 8月25日 : 1~3限(8:50~14:20)			
超過時の選考方法		書類により選考			
成 績 評 価 方 法		定 期 試 験 (筆 記)		40	%
		レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%
		平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		60	%
		そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用		なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項		全授業時間数のうち、3 分の 1 を超えて欠席した場合は単位を認めません。また受講者数により、グループ・ディスカッションを想定しているの、遅刻は厳禁とします。 必ず、英和辞典を持って授業に臨んでください。			
<講義概要・到達目標>					
【授業の目的と概要】					
ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』を精読します。子どものために書かれたお話とあなどるなかれ、英国の歴史やスポーツから、望遠鏡や顕微鏡など科学技術の発展に至るまで、内容は幅広く読みごたえがあります。また、数学者であるルイス・キャロルの文体は、まるでパズルのようで、読み解くには英語の応用力を問われることになるでしょう。 大勢で集まって文学作品を読む意義は、ひとりで読んでいては気づくことのできないさまざまな「読み」(視点)を獲得することにあります。ふだん文学は読まないという人も、アリスといっしょに英国文化に親しんでみてはいかがでしょうか。					
【授業の到達目標】					
異国の文学を「読む」ことを楽しみ、その思いを明確に表現し、伝えられるようになること。また、他者の意見を理解して、さまざまな視点を獲得し、多角的な分析ができるようになること。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	8 月 22 日	授業では、グループに分かれてディスカッションを行い、発表し、互いに評価しながら、作品を読み進めます。議論がどこに向かうのか、それは今夏集う受講生のメンバー構成次第です。適宜、作品理解の助けとなるよう、以下の情報も紹介していきます。			
1	8 月 23 日	1 ルイス・キャロルの人生 2 アリス・ブレザンス・リデルとの出会い 3 オックスフォード大学案内 4 英国貴族の暮らし 5 アフタヌーン・ティ 6 カメラの不思議			
1	8 月 24 日	7 言葉が伝える意味と実体 8 名前とアイデンティティ 9 お手紙を書きましょう 10 捕食と被食			
1	8 月 25 日	11 トランプの歴史 12 裁判と公開処刑 13 児童文学と教訓 14 ジョン・テニエルの挿絵 15 不思議の国から鏡の国へ			

<教科書・参考書>

【教科書】

ISBN 9784870971295

書名 Alice's Adventures in Wonderland英光社, 2016

著者名 Lewis Carroll

出版社 英光社

出版年 2016

【教材に対する補足情報】

授業はすべて、指定教科書の ページ数・行数 を明示しながら実施するので、必ず入手しましょう。

(同じ作品でも版が異なると ページ数・行数 が異なります。指定教科書以外を用いて作成した提出物は受理しません。)

科目番号	2	科目名	地理学からの問い																																																	
英 文 科 目 名																																																				
大学・短期大学名	滋賀		大学																																																	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係																																																			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122																																																
担 当 教 員	安藤 哲郎		(教育 学部 准教授)																																																	
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																			
教 室 名		会場	大津キャンパス																																																	
授 業 期 間	2022 年 10 月 3 日 (月) ~ 2023 年 1 月 23 日 (月) <毎週 月 曜日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 16 : 00																																																			
超過時の選考方法	書類により選考																																																			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%																																																	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		100 %																																																	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%																																																	
	そ の 他 ()		%																																																	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円																																																	
そ の 他 特 記 事 項	本授業では、特に事後学習として、授業内容に関わる場所でフィールドワークを行うことが望ましい。授業を復習して足を運ぶことにより、概ね各授業につき4時間の学習となる。																																																			
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 テーマ: 地理を活かした近江の旅の創造 近江は長く都に近接していたことや交通の要所であったことなどから、歴史の主舞台となってきた。そのため史跡も多く、見るべきポイントも多岐にわたる。したがって、これらを訪れて学習することにより、近江の歴史地理的な理解ができるだけでなく、日本の歴史を多面的に理解することにも通じるものとする。 しかし、史跡等が分散していることや交通の便などの理由から、隣接する京都に比べて、旅の目的地として足を運ばれる機会に恵まれていない(京都は京都で、数が多く密集していることが問題となるのではあるが)。 そこで、本授業では、時間的あるいは空間的なテーマ性を持った近江の旅を担当教員から紹介しつつ、受講生にもそのような旅を創造し、できれば提案してもらうことを通じて、近江を歴史地理的に理解することを目的としたい。授業では、地形図や写真、史資料等を用いつつ、通史的に学んでいく予定である。 本授業は対面で実施する。オンライン授業となる場合にはSULMS(学習管理システム)を活用する。 【授業の到達目標】 滋賀県内、あるいは隣接府県の滋賀県・近江国と関係した場所を、自分の力でフィールドワークできるようになることを目標とする。 <授業スケジュール> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月 日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10 月 3 日</td> <td>イントロダクション —地理学から歴史を考え、そして近江の旅へ—</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 月 10 日</td> <td>身近に回る近江の旅① —平津・石山寺の周辺地域をめぐる—</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10 月 17 日</td> <td>身近に回る近江の旅② —彦根の城下町をめぐる—</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10 月 24 日</td> <td>古代の都となった近江</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10 月 31 日</td> <td>古代の近江 —弥生・古墳時代—</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11 月 7 日</td> <td>古代近江の旅③ —仏教世界と近江—</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11 月 14 日</td> <td>中世近江の旅① —佐々木氏と近江—</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11 月 21 日</td> <td>中世近江の旅② —諸勢力と近江—</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11 月 28 日</td> <td>近世近江の旅① —天下統一事業と近江—</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12 月 5 日</td> <td>近世近江の旅② —徳川幕府と近江—</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12 月 12 日</td> <td>近世近江の旅③ —近江の宿場町—</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12 月 17 日</td> <td>近世～近代近江の旅 —近江商人の町—</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12 月 19 日</td> <td>近代近江の旅 —近代遺産をめぐる—</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1 月 16 日</td> <td>京都とのつながりで考える近江の旅</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>1 月 23 日</td> <td>「近江の未来」を考える旅</td> </tr> </tbody> </table> <教科書・参考書> 特になし					回	月 日	テーマ・キーワード	1	10 月 3 日	イントロダクション —地理学から歴史を考え、そして近江の旅へ—	2	10 月 10 日	身近に回る近江の旅① —平津・石山寺の周辺地域をめぐる—	3	10 月 17 日	身近に回る近江の旅② —彦根の城下町をめぐる—	4	10 月 24 日	古代の都となった近江	5	10 月 31 日	古代の近江 —弥生・古墳時代—	6	11 月 7 日	古代近江の旅③ —仏教世界と近江—	7	11 月 14 日	中世近江の旅① —佐々木氏と近江—	8	11 月 21 日	中世近江の旅② —諸勢力と近江—	9	11 月 28 日	近世近江の旅① —天下統一事業と近江—	10	12 月 5 日	近世近江の旅② —徳川幕府と近江—	11	12 月 12 日	近世近江の旅③ —近江の宿場町—	12	12 月 17 日	近世～近代近江の旅 —近江商人の町—	13	12 月 19 日	近代近江の旅 —近代遺産をめぐる—	14	1 月 16 日	京都とのつながりで考える近江の旅	15	1 月 23 日	「近江の未来」を考える旅
回	月 日	テーマ・キーワード																																																		
1	10 月 3 日	イントロダクション —地理学から歴史を考え、そして近江の旅へ—																																																		
2	10 月 10 日	身近に回る近江の旅① —平津・石山寺の周辺地域をめぐる—																																																		
3	10 月 17 日	身近に回る近江の旅② —彦根の城下町をめぐる—																																																		
4	10 月 24 日	古代の都となった近江																																																		
5	10 月 31 日	古代の近江 —弥生・古墳時代—																																																		
6	11 月 7 日	古代近江の旅③ —仏教世界と近江—																																																		
7	11 月 14 日	中世近江の旅① —佐々木氏と近江—																																																		
8	11 月 21 日	中世近江の旅② —諸勢力と近江—																																																		
9	11 月 28 日	近世近江の旅① —天下統一事業と近江—																																																		
10	12 月 5 日	近世近江の旅② —徳川幕府と近江—																																																		
11	12 月 12 日	近世近江の旅③ —近江の宿場町—																																																		
12	12 月 17 日	近世～近代近江の旅 —近江商人の町—																																																		
13	12 月 19 日	近代近江の旅 —近代遺産をめぐる—																																																		
14	1 月 16 日	京都とのつながりで考える近江の旅																																																		
15	1 月 23 日	「近江の未来」を考える旅																																																		

科目番号	3	科目名	自然科学への招待	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	徳田 陽明		(教 育 学 部 教 授)	
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名			会場	
授 業 期 間	2022 年 10 月 7 日 (金) ~ 2023 年 1 月 27 日 (金) <毎週 金 曜 日> 2 時 限・講 時 10 : 30 ~ 12 : 00			
超 過 時 の 選 考 方 法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		40 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 (初 回 レ ポ ー ト 講 義 後 の レ ポ ー ト)		30 各10 %	
別 途 負 担 費 用	なし あり()円			
そ の 他 特 記 事 項	・授業時にはインターネットにつながる端末(スマホやタブレット等)を持参して下さい。授業中の質問などに使います(具体的な方法は初回に指示します)。 ・2回目の授業時まで、皆さんが「不思議に感じる科学現象」についてレポート提出して下さい。例えば、なぜ虹が見えるのか、などといった内容です。 このレポートの疑問を理解するための科学的な知識を講義します。可能であれば化学分野が望ましいですが、化学でなくても構いません。 ・レポート提出には、SULMS(学習管理システム)を用います。			
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 私たちの生活が科学(主に化学)によって快適、安全、安心につながっていることを理解する。また、身の回りの現象が科学によって説明できることを理解する。この授業は対面により行う。 【授業の到達目標】 科学(主に化学)がどのように私たちの生活に役立っているかについて理解できることが目標である。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	10 月 7 日	ガイダンス		
2	10 月 14 日	身近な化学		
3	10 月 21 日	身近な化学(レポート1回目)		
4	10 月 28 日	量的関係		
5	11 月 4 日	レポート2回目		
6	11 月 11 日	酸とアルカリ1(酸とアルカリの定義)		
7	11 月 18 日	酸とアルカリ2(身の回りの酸とアルカリ)		
8	11 月 25 日	レポート3回目		
9	12 月 2 日	酸化と還元1(酸化数の定義)		
10	12 月 9 日	酸化と還元2(身の回りの酸化還元)		
11	12 月 16 日	光の基礎1(光学の基礎)		
12	12 月 23 日	光の基礎2(身の回りの光に関わる現象)		
13	1 月 6 日	無機物質		
14	1 月 20 日	有機物質		
15	1 月 27 日	レポート提出4回目		
<教科書・参考書> 【教科書】 特になし 【参考書】 特になし 【教材に関する補足情報】 高校の理科の教科書、副教材を参照すること				

科目番号	4	科目名	近江のくらしと文化	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担 当 教 員	上田 洋平		(経 済 学 部 講 師)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	第5講義室	会場	彦根キャンパス	
授 業 期 間	2022 年 4 月 8 日 (金) ~ 2022 年 7 月 22 日 (金) <毎週 金曜日> 1 時限・講時 8 : 50 ~ 10 : 20			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		40	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 (毎 回 の 小 レ ポ ー ト)		60	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	県内の主要な博物館・美術館、文化観光施設等はぜひ訪ねて見学しておきたい。			
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 日本の縮図とも言われ、日本の歴史の舞台裏としても古来重要な位置を占めてきた近江。「里山」「人里」「里湖」「里島」それぞれの風土に根差し、自然・人・歴史の相互作用のなかで鍛え上げられた近江各地の暮らしや文化、あるいは近江の各地で胎動する人とその事業に例をとりつつ、ローカルな地域に根差した地域コミュニティの再構築や共生社会創造に応用できる知見や方法を学ぶ。				
【授業の到達目標】 (1)風土に根差したくらしとなりわいの概要や特質を理解し説明できること。(2)ローカルなくらしと文化に関する新たないとなみとそれをけん引する人々の活動内容とその意義を理解し説明できること。 (3)近江の事例に学びながら文化を担い創造する主体としての自己の役割と可能性について各自の意見を形成すること。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 8 日	近江はどんなところか		
2	4 月 15 日	「文化」とは何か		
3	4 月 22 日	「環境」とは何か		
4	5 月 6 日	近江小宇宙論(1)-社会文化生態力学で見る近江		
5	5 月 13 日	近江小宇宙論(2)-社会文化生態力学で見る近江		
6	5 月 20 日	近江の華ー近江の祭りと行事		
7	5 月 27 日	水をめぐるくらしと文化-里湖のくらしと文化①		
8	6 月 3 日	琵琶湖と人の環境史-里湖の暮らしと文化②		
9	6 月 10 日	むらとは何か-人里のくらしと文化①		
10	6 月 17 日	むらの人材と伝統-人里のくらしと文化②		
11	6 月 24 日	山のなりわい-里山のくらしと文化		
12	7 月 1 日	地域再生のニューフェース-学生の活躍		
13	7 月 8 日	甦るくらしと文化-湖-里-山の新しい人とコト①		
14	7 月 15 日	新たななるなりわい-湖-里-山の新しい人とコト②		
15	7 月 22 日	無事すこやかな暮らしと文化を近江から		

＜教科書・参考書＞

【教科書】特になし

【参考書】

参考書1

ISBN 4-634-32250-1
書名 滋賀県の歴史
著者名 畑中誠治 [ほか]
出版社 山川出版社
出版年 1997-07

参考書2

ISBN 4-88325-272-8
書名 12歳から学ぶ滋賀県の歴史
著者名 木村至宏 監修, 滋賀県中学校教育研究会社会科部会 編
出版社 サンライズ出版
出版年 2005

参考書3

ISBN 978-4-88325-160-
書名 湖国小宇宙：日本は滋賀から始まった
著者名 高谷好一
出版社 サンライズ出版
出版年 2008

参考書4

ISBN 978-4-540-09214-
書名 地元学からの出発
著者名 結城登美雄
出版社 農山漁村文化協会
出版年 2009-11

参考書5

ISBN 978-4-00-500609-
書名 地元学をはじめよう
著者名 吉本哲郎
出版社 岩波書店
出版年 2008

参考書6

ISBN 978-4275014344
書名 水と人の環境史：琵琶湖報告書
著者名 鳥越皓之, 嘉田由紀子
出版社 御茶の水書房
出版年 1991

参考書7

ISBN 4-639-01211
書名 試みとしての環境民俗学：琵琶湖のフィールドから
著者名 鳥越皓之
出版社 雄山閣出版
出版年 1994

参考書8

ISBN 4-06-158761-7
書名 ふるさとの生活
著者名 宮本 常一
出版社 講談社

参考書9

ISBN 4-06-159104-5
書名 民俗学の旅
著者名 宮本 常一
出版社 講談社

【教材に関する補足情報】

- ・毎回授業時に適宜印刷資料を配布する。
- ・ビデオ映像を視聴する回がある。

科目番号	5	科目名	人間と社会	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名		滋賀		大学
連 絡 先		滋賀大学学務課総務係		
		TEL :	0749-27-1017	FAX : 0749-24-5122
担 当 教 員		黒石 晋 (経 済 学 部 教 授)		
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用		
教 室 名			会場	彦根キャンパス
授 業 期 間		2022 年 10 月 5 日 (水) ~ 2023 年 1 月 25 日 (水) <毎週 水曜日> 3 時限・講時 12 : 50 ~ 14 : 20		
超過時の選考方法		書類により選考		
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		100 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用		なし あり()円		
そ の 他 特 記 事 項		授業の中で任意提出の課題を課すことがあるので、提出すれば「意欲点」として成績に加算する。		
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 (注意) 以下は「対面授業」を念頭に置いた内容である。コロナの状況により、オンライン授業に切り替わる、あるいは併用する可能性もないではない。オンライン授業併用の場合でも、授業の進行は変わらないよう努力するが、細部や試験の実施形態については変更される可能性がある。				
現代社会で何気なく使っている貨幣であるが、その本質とは何か？ その歴史は？ ルーツはどこにあるのか？ ...こういった諸点についてあらためて考察し、ふだん気にとめることのない空気のような存在が社会を成り立たせる重要な契機となっていることを理解することが本講義の目的である。出席者の人数にもよるが、適宜、担当講師所蔵の貨幣コレクションの中から実物を観察してもらう機会も設けることにしたい。自分の眼で見るのが重要である。また、最新の成分分析結果も披露したい。				
【授業の到達目標】 貨幣は人間の欲望を体現するメディアである。そしていったん成立した貨幣は、その場・その時の人間の欲望を得て活性化し、社会のさまざまな局面にさまざまな形で食い込み、ひとびとを結び、社会を開発し、また去っていく。こういった貨幣のしづとさ、はかなさ、一貫性、といったことどもについて理解が得られればよいと考えている。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	10 月 5 日	オリエンテーション		
2	10 月 12 日	貨幣史のための貨幣をめぐる基礎概念Ⅰ		
3	10 月 19 日	貨幣史のための貨幣をめぐる基礎概念Ⅱ		
4	10 月 26 日	全体の概観～前史・リディアとペルシア		
5	11 月 2 日	ギリシア・ローマⅠ		
6	11 月 9 日	ローマⅡ(悪鑄期から東ローマ)		
7	11 月 16 日	西欧暗黒期(フランク)・イスラム盛期(アラブ・ビザンツ・バイキング)		
8	11 月 30 日	大型銀貨と金貨の復活(ピレンヌ)		
9	12 月 7 日	新大陸の銀		
10	12 月 14 日	植民地獲得競争と「貿易銀」		
11	12 月 21 日	日本・無文銀銭・富本銭・皇朝十二銭		
12	1 月 4 日	日本・中世～織豊～鎖国まで		
13	1 月 11 日	日本・江戸期の幣制		
14	1 月 18 日	日本・幕末～近代		
15	1 月 25 日	まとめ		

＜教科書・参考書＞

【教科書】

特になし。必要に応じプリントを配布する。

【参考書】

参考書1

ISBN 4794804024

書名 文明の「血液」―貨幣から見た世界史

著者名 湯浅赳男

出版社 新評論

出版年 1998

参考書2

ISBN 4041032199

書名 お金の流れでわかる世界の歴史

著者名 大村大次郎

出版社 KADOKAWA

出版年 2015

参考書3

ISBN 415209611X

書名 貨幣の「新」世界史――ハンムラビ法典からビットコインまで

著者名 カビール・セガール

出版社 早川書房

出版年 2016

参考書4

ISBN 4623052591

書名 欲望するシステム

著者名 黒石晋

出版社 ミネルヴァ書房

出版年 2009

参考書5

ISBN 449237082x

書名 江戸の貨幣物語

著者名 三上 隆三

出版社 東洋経済新報社

出版年 1996

参考書6

ISBN 9784121025081

書名 貨幣が語るローマ帝国史：権力と図像の千年

著者名 比佐 篤

出版社 中央公論新社

出版年 2018

参考書7

ISBN 4062920301

書名 円の誕生：近代貨幣制度の成立

著者名 三上隆三

出版社 講談社現代文庫

出版年 2011

科目番号	6	科目名	環境問題を学ぶ	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連 絡 先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL : 0749-27-1017		FAX : 0749-24-5122	
担 当 教 員	中野桂・和田佳之・松下京平 (経 済 学 部 教 授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
	オンデマンド授業を予定(一部ライブ配信)			
教 室 名			会場	
授 業 期 間	2022 年 10 月 6 日 (木) ~ 2023 年 1 月 26 日 (木) <毎週 木曜日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		【松下教員】 担当回(5回分)終了後にSULMS(学習管理システム)の「課題」機能で出されるレポートの評価とする。 【和田教員】 担当回の最後の授業時間中にオンラインにて試験問題の提示を行い、解答を求め、その結果に基づいて評価する。 【中野教員】 毎回の講義の後にSULMSの「小テスト」機能によって出される課題の評価の合計とする。	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			
	そ の 他 ()			
別 途 負 担 費 用	なし		0	
そ の 他 特 記 事 項	環境問題を取り巻く社会状況は時々刻々と変化する。そのため、適宜、新聞やメディアを通じて時事に通じておくよう努めること、また講義で示された文献等に読むことが必要である(目安として講義の事前・事後を合わせて各4時間程度)。			
<講義概要・到達目標> 【授業の目的と概要】 本講義では、「経済と環境問題」や「環境の経済評価」などのテーマをもとに、環境問題について様々な観点から検討します。講義は3名の教員によるリレー講義形式で行われます。様々な観点から、総合的に環境を捉える力を養成します。 なお、開講形態はオンデマンドを予定しています。一部授業については、ライブ配信(内容は事後的にオンデマンドで視聴いただけます)となります。				
【授業の到達目標】 様々な観点から、環境問題を考察するための基礎知識や基礎力を習得し、ディプロマポリシーのDP2「社会にかかわる広い知識と基礎的な考え方」、ならびにDP5「グローバル社会での見識と異文化の理解」にかかわる知識・能力を養うことを目標とします。				

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	10月6日	【松下教員】 ・環境と経済の両立可能性 ・持続可能な発展 ・気候変動問題 ・日本のエネルギー政策
2	10月13日	
3	10月20日	
4	10月27日	
5	11月10日	
6	11月17日	【和田教員】 ・環境問題に対する経済学からの視点 ・生物多様性問題(ケース・スタディとしての外来魚問題) ・里山・里川の持つ効能 ・滋賀県内の環境保全活動のケース・スタディ(高島市針江地区の川端保全活動)
7	11月24日	
8	12月1日	
9	12月8日	
10	12月15日	
11	12月22日	【中野教員】 ・環境と経済(経世済民、静脈経済、GPIなど) ・琵琶湖と環境 ・原発問題 ・新エネルギーの未来
12	1月5日	
13	1月12日	
14	1月19日	
15	1月26日	

<教科書・参考書>

【教科書】

授業において配る資料

【参考書】

参考書1

ISBN 9784772603232

書名 エコロジカル・フットプリント：地球環境持続のための実践プランニング・ツール

著者名 マティース・ワケナゲル, ウィリアム・リース著；池田真里訳, Wackernagel, Mathis, Rees, William E., 和田, 喜彦, 池田, 真里

出版社 合同出版

出版年 2004

参考書2

ISBN 9784865792140

書名 気候変動時代における私たちの役割

著者名 環境省編, 環境省

出版社 日経印刷

【教材に関する補足情報】

特に指定しないが、各担当者の講義の中で参考文献等を指示する。

・参考書

書名：環境白書 循環型社会白書/生物多様性白書 令和3年版

URL：<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

科目番号	7	科目名	哲学入門		
英 文 科 目 名	Introduction to Philosophy				
大学・短期大学名	滋賀医科			大学	
連 絡 先	学生課学部教育支援係				
	TEL :		077-548-2068	FAX :	077-548-2799
担 当 教 員	室寺 義仁 (医 学 部 教 授)				
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用
教 室 名	第1講義室		会場		
授 業 期 間	2022 年 4 月 12 日 (火) ~ 2022 年 7 月 26 日 (火) <毎週 火 曜 日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 11 : 50				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		55		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		45		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	講義で取り上げた主要テーマごとに、基本、毎時間、コメント(出席票に、自らの考えや意見を述べるという仕方での)提出を求めます(3点満点評価)。このコメントについて、45%評価。出席も毎回取ります(コメントの提出で出席を取ります)。期末試験(論述式レポート)を、55%の評価として、成績評価を行います。				
<講義概要・到達目標>					
【学修目標】 受講生は、それぞれの興味と関心、あるいは、好奇心にしたがって、古えの哲人・賢人たちが残した言葉に出会い、人類の叡智が辿り着いた思索の深みを学ぶことを通じて、自分自身の思考能力に新たな広がりや柔らかさを身につける。 入門授業として、世界の哲学史の観点から、特に東洋の古典に伝わる諸思想を取り上げるので、受講生は、この授業を受講する中で、各自それぞれに自分自身の今の存在を見つめ直す言葉に出会い、そして、 (1) 東洋の古典に伝わる諸思想、すなわち、南アジア(古典インド語圏)・東アジア(漢字文化圏)の主たる思想の基本的な考え方が理解できるようになる。 (2) 日本的な精神文化、並びに、その背景にある仏教の思想や人間観について、自ら感じ・考えた内容を、他者に分かる言葉で伝える能力が身につく向上している。 これら2点を主たる目標とする。					
【授業概要】 世界の哲学史の観点から、まず、数千年にわたる歴史と文化を有する(1) 東アジア(中国)、(2) 南アジア(インド)、(3) 地中海(ギリシャ/ローマ)の文化圏に注目し、特に東洋の古典に伝わる諸思想を取り上げ、それぞれの思想を代表する古えの哲人・賢者たちの言葉を紹介して行く。そして、それぞれの哲学・思想が語る、特に、人間の観方、こころの観方に注目しつつ、現代の私たちの日常的な思索の中にも、意識するとしないうちに問わず、思想的影響を与え続けている考え方を考察する。この学びの過程で、日本の精神文化についても歴史的な観点から考えて行く。 受講生には、各講義の受講に先立って、シラバスに記載された<内容>に関して、各自で理解できる範囲で良いので、自主学習を進めておくことが望まれる。その上で、講義を聞き、知識・考えを広め、レポートを作成する過程で考えを深めて、自らの考えを客観的合理的に記述することが求められる。					
【授業内容】 世界遺産に登録されている、ギリシャ・インド・中国の文化遺産などを学びながら、1.古代ギリシャの思想家たちの言葉、2.古代インドの神秘家たちの言葉、並びに、ブッダ(釈迦)の言葉、3.古代中国の聖人たちの言葉を紹介して行く。この学びの中で、言葉の持つ力を知り、日本人の精神性を語るとき「和」「大和魂」、あるいは、「もののあわれ」「なさけ」などの思想感情や、無常観についての考察を深めて行く。					

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 12 日	ガイダンス: 哲学の三つの潮流について
2	4 月 19 日	ギリシャの思想家たちの言葉 (1) アリストテレス
3	4 月 26 日	ギリシャの思想家たちの言葉 (2) アリストテレス
4	5 月 10 日	ギリシャの思想家たちの言葉 (3) ヒポクラテス
5	5 月 17 日	インドの神秘家たちの言葉 (1) ヤージュニャヴァルキヤ
6	5 月 24 日	インドの神秘家たちの言葉 (2) 『バガヴァット・ギーター』の思想
7	5 月 31 日	中国の聖人たちの言葉 (1) 老子・莊子
8	6 月 7 日	中国の聖人たちの言葉 (2) 孔子
9	6 月 14 日	中国の聖人たちの言葉 (3) 孔子・孟子
10	6 月 21 日	仏教の言葉 (1) ブッダ (釈迦／世尊)
11	6 月 28 日	仏教の言葉 (2) 最澄・空海
12	7 月 5 日	日本人の精神性を表す用語 (1) 「和」「大和魂」「諸行無常」
13	7 月 12 日	日本人の精神性を表す用語 (2) 「日本挽歌」—『万葉集』(巻5)から
14	7 月 19 日	日本人の精神性を表す用語 (3) 「もののあわれ」を知る知性のあり様と「なさけ」を知る情感のあり様
15	7 月 26 日	まとめとしての「日本人の精神性」について
＜教科書・参考書＞ 教科書はない。適宜、プリントを配布する。 また、授業の中で、関連する参考図書を順次紹介して行く。		

科目番号	8	科目名	医療イノベーションの基礎		
英 文 科 目 名	Fundamentals for Medical Innovation				
大学・短期大学名	滋賀医科			大学	
連 絡 先	学生課学部教育支援係				
	TEL :	077-548-2068	FAX :	077-548-2799	
担 当 教 員	松浦 昌宏 (研究活動統括本部 学部 特任教授)				
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用
教 室 名	第1講義室		会場		
授 業 期 間	2022 年 4 月 13 日 (水) ~ 2022 年 7 月 27 日 (水) <毎週 水 曜 日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 15 : 50				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			60	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%	
	そ の 他 (発 表)			40	%
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項	授業は、講義、グループでの作業、発表からなる。講義はプロジェクターを使い、パワーポイントで進める。資料としてパワーポイントの抜粋等をプリントとして配付する。グループでの作業は担当教員の指示に従って進め、積極的かつ建設的な発言を求める。発表実習はグループでの作業の成果をパワーポイントで発表する。 最終の3回は出席を必須とし、出席回数が11回以上(出席率70%以上)の場合に、期末レポート課題の提出資格を認める。なお、最終成績は期末レポート課題の評価(60%)に発表(内容、発表資料の分かりやすさ、発表の仕方)の評価(40%)を加味して評価する。 なお、7月27日第15回・第16回は、4時限(14:30~15:50)・5時限(16:10~17:30)の2回連続で講義を実施する。				
<講義概要・到達目標>					
【学修目標】 医学の発展はめざましく、それに対応するように医薬品や医療機器の分野でのイノベーション(革新的な製品やサービス等)が創出されてきており、医療人の医療知識・技術と共に最先端の医療を支える両輪として働いている。この授業では、自らが医療人となった際に広い視野で物事が捉えられる視点や異分野の人とコミュニケーション力や発表能力を養うことを目標とする。具体的な授業の到達目標を以下に示す。 1)医療を取り巻く環境について調査することができる。 2)イノベーション、オープンイノベーションとは何かを説明できる。 3)バイオデザイン手法について説明できる。 4)異分野の人とコミュニケーションについて注意すべき点を説明できる。 5)産業界における製品開発の進め方を説明できる。 6)知的財産権についての基本事項について説明できる。 7)薬事規制についての基本事項について説明できる。 8)広告医学についての基本事項について説明できる。 9)テーマに応じた適切な発表方法について注意すべき点を説明できる。 10)金融に関する基本事項について説明できる。 11)研究と開発の違いについて説明できる。 12)自分自身の(医療人としての)将来像を他者に理解できるように説明できる。 13)医療とAI(人工知能)等の関係性を説明できる。					
【授業概要】 この授業では、16回にわたって医療人としての専門教育だけでは学べない医療を支える外的な要因(産業界の考え方、コミュニケーションの取り方、製品開発の進め方、それらに関連する知的財産権や薬事規制など)を学習する。更に、自身の考えをまとめて他の人の伝える発表の仕方を学習し、実習する。 この一連の学習は、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXTプログラム)」の一環として実施する。一般的な経済活動の仕組みや視点を理解し、医療分野に限らず新しい「コト」にチャレンジし、自らの志を実現できる医療人の育成を目的とする。 1コマの授業の対して30分の予習と60分の復習を日常的に行い、休日などを利用して、さらに1コマあたり90分の復習が望まれます。					

【授業内容】

医療イノベーションに関連する各分野の講師を外部から招聘し、オムニバス形式で授業を行う。(全体としての授業内容に変更はないが、外部講師の都合等により各回の担当教員や項目・内容が変更になることもある。)

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 13 日	授業科目オリエンテーション 医療イノベーション
2	4 月 20 日	医療と金融
3	4 月 27 日	異分野とのコミュニケーション①
4	5 月 11 日	発想をイノベーションに繋ぐには
5	5 月 18 日	革新的医療機器・システム研究開発
6	5 月 25 日	デザイン思考
7	6 月 1 日	バイオデザイン総論(医療現場のニーズ発の医療機器開発)
8	6 月 8 日	異分野とのコミュニケーション②
9	6 月 15 日	広告医学概論
10	6 月 22 日	リーダーシップ論
11	6 月 29 日	薬事規制
12	7 月 6 日	健康投資型の医療
13	7 月 13 日	研究開発と知的財産概論
14	7 月 20 日	グループワーク(4～5人/グループ)
15	7 月 27 日	プレゼンテーション① プレゼンテーション②

<教科書・参考書>

1. 医療イノベーションの本質－破壊的創造の処方箋(碩学舎ビジネス双書) 著:クレイトン・M・クリステンセン他、訳:山本雄士他
(原著)The Innovator's Prescription: A Disruptive Solution for Health Care, Clayton M. Christensen et al.
2. BIODESIGN バイオデザイン日本語版(薬事日報社) 著:ステファノス・ゼニオス他、【監修】一般社団法人日本医療機器産業連合会他
(原著)Biodesign: The Process of Innovating Medical Technologies, Paul G. Yock et al.
3. リーン・スタートアップ ムダのない起業プロセスでイノベーションを生み出す(日経BP社) 著:エリック・リース 訳:井口耕二
(原著)The Lean Startup: How Today's Entrepreneurs Use Continuous Innovation to Create Radically Successful Businesses, Rric Ries

科目番号	9	科目名	おうみ学生未来塾(湖東)		
英 文 科 目 名	Innovation for Community				
大学・短期大学名	滋賀県立 大学				
連 絡 先	彦根市八坂町2500				
	TEL :		0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472
担 当 教 員	上田 洋平 (地域共生センター 講師)				
教 室 名	A7-101	会場			
授 業 期 間	2022 年 9 月 未定日 () ~ 2022 年 9 月 未定日 (日) <毎週 曜日>1-5 時限・講時 9 : 00 ~ 18 : 00				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%		
	そ の 他 (中間・最終レポート, プレゼンテーション)		100 %		
別 途 負 担 費 用	(なし) 但し、FW時の交通費等は自己負担 あり()円				
そ の 他 特 記 事 項	県立大学以外の学生へのガイダンスは履修登録者に別途案内する。				
<講義概要・到達目標> ※2022年度は9月中旬～下旬の夏季集中講義期間に3日間開講予定。日程は追って連絡。 地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。 提案した内容が地域で実践されたり、人びととの対話をきっかけに地域での新たな活躍の場を獲得するなど、学生にとっても様々なチャンスにつながる機会になっている。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	月 日	ガイダンス(日程は別途案内する)			
2	月 日	地域コミュニティの現状と課題-フィールドワーク対象地の紹介と目標設定			
3	月 日	レクチャー及びWS 地域再生「10箇条」			
4	月 日	レクチャー及びWS 地域課題の分析とリサーチクエストの設定①			
5	月 日	レクチャー及びWS 地域課題の分析とリサーチクエストの設定②			
6	月 日	フィールドワークの設計			
7	月 日	フィールドワーク／WS(地域をあるく・みる・きく)①			
8	月 日	フィールドワーク／WS(地域をあるく・みる・きく)②			
9	月 日	フィールドワーク／WS(地域をあるく・みる・きく)③			
10	月 日	フィールドワーク／WS(地域をかたる・かんがえる)①			
11	月 日	フィールドワーク／WS(地域をかたる・かんがえる)②			
12	月 日	地域再生提案の作成①			
13	月 日	地域再生提案の作成②			
14	月 日	地域再生提案の作成③			
15	月 日	特別レクチャー(一般公開)			
16	月 日	地域再生提案プレゼンテーションと講評(一般公開)			
<教科書・参考書>					

科目番号	10	科目名	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション -近江の暮らしとなりわい-		
英 文 科 目 名	Ohmi Studies of Community and Lifestyle				
大学・短期大学名	滋賀県立		大学		
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	上田 洋平		(地域共生センター 講師)		
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定	会場	本学以外の会場(県庁等)で一部開講の場合もある		
授 業 期 間	2022 年 8 月 19 日 (金) ~ 2022 年 8 月 21 日 (日) <毎週 曜日> 時限・講時 9 : 00 ~ 18 : 00				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%		
	そ の 他 (ワークブックへの記入ほか)		100 %		
別途負担費用	(なし)		あり()円		
その他特記事項	大学外の会場で授業を行う場合がある(昨年度は初日に県庁で開講)。詳細は別途指示。				
<講義概要・到達目標>					
近江・びわ湖を深堀りすると、ひろい世界につながっていた——。加盟国の圧倒的賛成をもって採択された「SDGs (Sustainable Development Goals: 2015年国連サミット)」をめぐる動きに見られるように、持続可能な共生社会の実現を目指す取り組みが、世界各国で加速している。滋賀県はこの潮流にいち早く呼応し、世界共通の目標を滋賀というローカルな現場で達成することに名乗りをあげ、注目を集めている。					
日本の縮図とも言われ、日本の歴史の舞台裏としても古来重要な位置を占めてきた近江。里山、人山、里湖、里島それぞれの風土に根差して鍛え上げられた近江各地のくらしとなりわい。そこには人々が、また、人と自然が「ともに、ここで、無事に」生きていくために必要な知恵と経験が蓄積されており、それらの多くは、単にローカルな経験に留まらず、持続可能な世界の実現に資する普遍的価値をもつ。					
当科目では、近江のくらしとなりわいの現場における様々ないとなみを事例として、持続可能な共生社会の実現に必要な知見を導き出すとともに、SDGsの考え方に照らして、ローカルな現場の実践・課題と、グローバルな実践・課題とがどのように関わっているのか、その関わりによって、どんな未来(グローバル・イノベーション)が実現できるのかについて、様々なゲストと共に議論する。					
(到達目標)					
(1)地域の風土とそれに根差したくらしとなりわいの概要や特質を、具体的な地域の暮らしや事業の事例を踏まえて理解し説明できること。(2)SDGsの考えに照らして、グローバルな課題・目標とローカルな解決・実践とのかわりを理解し説明できること (3)持続可能な共生社会を担い創造する主体としての自己の役割と可能性について各自の意見を形成すること。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	8 月 19 日	くらしとなりわい・SDGsと近江の“ビジネス”モデル			
2	8 月 19 日	特別講義・SDGsと滋賀の挑戦:			
3	8 月 19 日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題①			
4	8 月 19 日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題②			
5	8 月 19 日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題③			
6	8 月 20 日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム①			
7	8 月 20 日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム②			
8	8 月 20 日	特別講義・グローバルイノベーション・企業の挑戦			
9	8 月 20 日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦①			
10	8 月 20 日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦②			
11	8 月 21 日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造①			
12	8 月 21 日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造②			
13	8 月 21 日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる①			
14	8 月 21 日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる②			
15	8 月 21 日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる③			
<教科書・参考書>					
授業の参考となるサイト SDGsTV(SDGsに関する映像・情報サイト)					

科目番号	11	科目名	地域コミュニケーション論		
英 文 科 目 名	Communication Theory in Local Areas				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	上田 洋平			(地域共生センター 講師)	
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定		会場		
授 業 期 間	2023 年 2 月 10 日 (金) ~ 2023 年 2 月 12 日 (日) <毎週 曜日> 時限・講時 9 : 00 ~ 18 : 00				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%	
	そ の 他 (ワークブックへの記入ほか)			100 %	
別 途 負 担 費 用	(なし)			あり()円	
その他特記事項	県立大学以外の学生へのガイダンスは履修登録者に別途案内する。				
＜講義概要・到達目標＞					
コミュニケーションとは何だろうか。「自分の意見が言える」こと? 「人の話が聞ける」こと? それとも「空気を読める」ことだろうか?					
当講義では「communicare(分かち合う、共有する)」というこの語の由来に立ち返り、コミュニケーションとは何か、また地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景等について概観した上で、産官学さまざまな立場・現場で活躍する地域人との対話や共同作業を通じて、リアルな地域課題を地域に関わる皆で分かち合い、その解決策を立案するための基礎能力を身に付けること、「浴びるように他者と出会い、対話し、作業する」3日間の過程を通して「コミュニケーションの基礎体力」を養うことを目指す。(到達目標)					
(1)地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景や意味について理解し説明することができる。					
(2)対話や課題抽出、成果のとりまとめにかかる基礎的な技法について理解し実践することができる。					
(3)上記の理解と実践に基づきチームワークによって成果を取りまとめることができる。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	2 月 10 日	オリエンテーション「自分探求」			
2	2 月 10 日	レクチャー&演習:「グラフィックレコーディングの技法と思想①—議論やアイデアを可視化してわかちあう」			
3	2 月 10 日	レクチャー&演習:「グラフィックレコーディングの技法と思想②—議論やアイデアを可視化してわかちあう」			
4	2 月 10 日	レクチャー&演習:「グラフィックレコーディングの技法と思想③—議論やアイデアを可視化してわかちあう」			
5	2 月 10 日	レクチャー／後半は学生個人ワーク			
6	2 月 11 日	「現在過去未来—インタビュー記事の分析」			
7	2 月 11 日	学生×学生ダイアログ「隣人の伝記」			
8	2 月 11 日	特別レクチャー&意見交換			
9	2 月 11 日	学生×地域人ダイアログ 「まわしよみ新聞」①			
10	2 月 11 日	学生×地域人ダイアログ 「まわしよみ新聞」②			
11	2 月 12 日	特別レクチャー&意見交換①			
12	2 月 12 日	特別レクチャー&意見交換②			
13	2 月 12 日	学生×地域人ダイアログ「明日も良い“転機”」①			
14	2 月 12 日	学生×地域人ダイアログ「明日も良い“転機”」②			
15	2 月 12 日	まとめ			
＜教科書・参考書＞					

科目番号	12	科目名	世界遺産のまちづくり・ひとづくり		
英 文 科 目 名	World Heritage Studies;City Plannig & Human Resource Development				
大学・短期大学名	滋賀県立		大学		
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :		0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472
担 当 教 員	上田 洋平		(地域共生センター 講師)		
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定		会場	本学以外の会場も使用予定	
授 業 期 間	2022 年 9 月 26 日 (月) ~ 2022 年 12 月 26 日 (月) <毎週 月曜日> 3時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 40				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			60 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%	
	そ の 他 (議 論 、 調 査 ・ 提 案)			40 %	
別 途 負 担 費 用	(なし) あり () 円				
その他特記事項	但し、期間中の土曜日に彦根城の現地見学をする予定				
<講義概要・到達目標>					
世界遺産とそれをめぐる人びとの営みについて様々な視点から議論することを通じて、地域固有の文化及び自然の遺産を守り・活かすまちづくりとそれを担う人材について総合的に学ぶ。 具体的には世界遺産とそれに関わるまちづくりについての基本・本質を押さえたうえで、全国各地の世界遺産及び世界遺産をめぐると状況に題材を採ったケースメソッド、彦根城(およびその関連遺産)の世界遺産登録に向けた産官民の取り組みを生きた教材とするワークショップ、文化遺産を活かしたまちづくり事業の提案等に取り組む。 これによりまちづくりの現場で生きる知と実践力、さらには世界市民として当事者として活動する動機や心構えを体得する。 国内世界遺産都市の担当者や当事者をゲストに招き、また、2024年に世界遺産登録を目指す彦根市の関係者や当事者とともに学ぶ。					
(到達目標)					
(1)世界遺産の本質について理解し説明できる。					
(2)世界遺産のまちづくりを進める上での課題とその解決の方向性について理解し説明できる。					
(3)世界遺産都市の「まちづくり」「ひとづくり」「なりわいづくり」について考えをまとめ・提案できる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 26 日	世界遺産とは何か——世界遺産から何を学び、どう活かすか			
2	10 月 3 日	世界遺産は誰のもの?——文化財保存と文化資源活用の動向			
3	10 月 17 日	世界遺産の保護とその危機——文化資源の持続可能な保護を目指して			
4	10 月 24 日	世界遺産と現代都市——新旧共存のための戦略と制度			
5					
6	10 月 29 日	フィールドワーク——彦根城			
7					
8	10 月 31 日	世界のなかの彦根と彦根城——彦根における取り組みの現状と課題			
9	11 月 14 日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して①			
10	11 月 21 日	世界遺産と企業活動——まちづくりに果たす企業の役割とその矜持(しごと)			
11	11 月 28 日	まちの宝を次世代につなぐ——世界遺産と人材育成(ひと)			
12	12 月 5 日	世界遺産のまちづくり——官民一体で守り・活かす世界遺産(まち)			
13	12 月 12 日	ワークショップ:「まち・ひと・しごと三方よし」の世界遺産都市を目指して②			
14	12 月 19 日	合同学習発表会&ワークショップ:わかちあい学びあう私のまちの宝もの			
15	12 月 26 日	ワークショップ:わたしからはじまる世界遺産のまちづくり			
<教科書・参考書>					

科目番号	13	科目名	びわこ環境行政論		
英 文 科 目 名	Lake Biwa Environmental Policy and Management				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	井手 慎司			(環境科 学部 教授)	
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定		会場		
授 業 期 間	2022 年 9 月 26 日 (月) ~ 2023 年 1 月 30 日 (月) <毎週 月 曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		25	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%	
	そ の 他 (毎 回 の 小 テ ス ト)		75	%	
別 途 負 担 費 用	(な し)			あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	ゲスト講師の都合により、講義の順序が入れ替わることがある。				
<講義概要・到達目標>					
地方自治体の政策は、開発と保全の両方から地域環境に大きな影響を及ぼす。滋賀県をフィールドに各分野の政策立案にかかわる行政担当者の講義を通じて、地域環境政策の課題を学び、琵琶湖という環境資産をもつ地域の持続可能な発展への政策とその実施について考える。					
(到達目標)					
(1)滋賀県の現行の各種環境政策を説明できる。					
(2)滋賀県の環境政策の変遷を説明できる。					
(3)持続可能な滋賀社会のビジョンについて自らの考えを述べることができる。					
(4)持続可能な滋賀社会を実現する政策について自らの考えを述べることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 27 日	環境問題の変遷と環境行政			
2	10 月 4 日	今日の環境行政の課題			
3	10 月 11 日	琵琶湖の総合保全の取り組み			
4	10 月 18 日	びわ湖の現状と課題(生態環境)			
5	10 月 25 日	びわ湖の現状と課題(水質環境)			
6	11 月 1 日	自然環境保全政策の現状と課題			
7	11 月 15 日	環境共生をめざす農業政策			
8	11 月 22 日	環境共生をめざす森林政策			
9	11 月 29 日	水環境保全政策の現状と課題			
10	12 月 6 日	資源循環政策の現状と課題			
11	12 月 13 日	循環型社会の産業政策			
12	12 月 20 日	地球温暖化対策の現状と課題			
13	12 月 27 日	低酸素社会実現のための政策			
14	1 月 17 日	持続可能な滋賀社会のイメージ			
15	1 月 24 日	持続可能社会と環境政策			
<教科書・参考書>					
滋賀県環境白書					
琵琶湖ハンドブック改訂版					

科目番号	14	科目名	地域産業・企業から学ぶ社長講義		
英 文 科 目 名	Top Lecture				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連 絡 先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)				
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	高松 徹 (学生支援センター 学部 特任教授)				
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	講義室未定	会場			
授 業 期 間	2022 年 9 月 26 日 (月) ~ 2023 年 1 月 30 日 (月) <毎週 月曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	20			%
	そ の 他 (レ ポ ー ト)	80			%
別 途 負 担 費 用	(な し) あり () 円				
そ の 他 特 記 事 項	ゲスト講師の都合により、講義の順序や企業が入れ替わることがある。				
<講義概要・到達目標>					
滋賀県の産業・経済の特徴を行政や金融からの視点で理解するとともに地元の産業構造や地元産業界、地域企業が抱える課題や特色を学ぶ。さらに、滋賀県の代表企業等のトップに産業界ニーズ、社会人として要求される人材、およびこれから社会人になる学生に期待される能力などについて直接学生に語っていただく。講義依頼先は、毎年同じではなく、変更することがある。毎回、講義当日に講義担当者から出される講義に関する課題レポートを提出する。講義に関する質問は、講義終了直後でも受け付け、その場で回答していただくが、後日でも受け付け、質問・回答を講義サイトに掲示する。課題レポート、講義後質問のためのファイルは県立大学のポータルサイトまたはTeamsを使って掲示し、ダウンロードして、作成後提出する。提出期限は、講義終了後1週間程度とする。					
(到達目標)					
(1)滋賀県の経済・産業の特徴を理解すること					
(2)情報の整理力と理解力(各講義内容を系統づけて理解できる。)					
(3)課題発見力(講義内容から重要な情報を整理し自己のキャリアに繋げる課題を発見できる。)					
(4)コミュニケーション力(講義中の質疑応答、グループディスカッションでの質疑応答ができる。)					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 26 日	本講義の意義と役割について、各回の講師の説明			
2	10 月 3 日	行政から見た滋賀県の地域産業の課題とその解決策について			
3	10 月 17 日	金融経済の視点から見た滋賀県の地域産業の課題とその解決策について			
4	10 月 24 日	大津市から代表企業1社			
5	10 月 31 日	就職活動の基礎(1)			
6	11 月 14 日	栗東市から代表企業1社			
7	11 月 21 日	大津市から代表企業1社			
8	11 月 28 日	草津市から代表企業1社			
9	12 月 5 日	彦根市から代表企業1社			
10	12 月 12 日	草津市から代表企業1社			
11	12 月 19 日	大津市から代表企業1社			
12	12 月 26 日	守山市から代表企業1社			
13	1 月 16 日	米原市から代表企業1社			
14	1 月 23 日	湖南市から代表企業1社			
15	1 月 30 日	就職活動の基礎(2)			
<教科書・参考書>					
特になし					

科目番号	15	科目名	近江学入門		
英 文 科 目 名	Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)				
大学・短期大学名	滋賀短期			大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 学務課				
	TEL :	077-524-3638		FAX :	077-523-5124
担 当 教 員	秋山元秀			(学長)	
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	121教室		会 場		
授 業 期 間	2022 年 4 月 7 日 木 ~ 2022 年 7 月 21 日 木 <毎週 木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			20	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			40	%
	そ の 他 (小 テ ス ト)			40	%
別 途 負 担 費 用	なし			あり()円	
そ の 他 特 記 事 項					
＜講義概要・到達目標＞					
【授業の概要】					
近江は「道の国」「商人(あきんど)の町」「魚米の郷」という3つの面から、その特色を説明できる。すなわち古代に生まれた東海道、東山道(のちの中仙道)、北陸道という全国級の幹線路が縦横に走り、その交通が国の基盤を作った。そしてこの交通を利用した商業活動が盛んになり、全国を舞台に近江出身の商人が活躍した。かれらは故郷近江の町に立派な屋敷を構え、地域の発展に貢献した。一方、琵琶湖を中心にした広い平野をもつ近江は、豊かな農業生産によって米どころとなり、琵琶湖と周辺河川の水産業とあいまって、生活基盤となる農村をつくりあげた。授業では、この3つのテーマをいろいろなエピソードをとりあげて、近江の歴史や地理ををあまり知らない人でもわかりやすいように話していく。					
授業ではアクティブラーニングの手法を取り入れ、積極的な発言や討論ができるようにする。					
【授業の到達目標】					
・大学の所在する土地である滋賀県について親しみをもち、滋賀県のことに関心をもつことができるようになる。					
・近江の歴史的特徴と、そこではぐくまれた多様な地域文化を知り、それが現在の滋賀県の基盤になっていることが理解できるようになる。					
・その上で、自分が住んだりよく知っている身近な地域が、滋賀県内でどのような位置を占めるか説明できるようになる。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	4 月 7 日		オウミ(近江・淡海)とはどんな意味？シガ(滋賀・志賀)とは？		
2	4 月 14 日		近江の歴史を知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか？		
3	4 月 21 日		道の国近江とは？近江を走る街道について知ろう		
4	4 月 28 日		近江の街道を旅したのは誰？どこへ行くために旅をしたの？		
5	5 月 12 日		近江商人とはどんな人？		
6	5 月 19 日		近江商人は何をどこへ運んだのか？		
7	5 月 26 日		今でも近江商人を話題にするのはなぜ？		
8	6 月 2 日		近江商人がたくさん出たところはどこ？		
9	6 月 9 日		江州米というのはなぜ？近江の産業は？		
10	6 月 16 日		びわ湖でとれる魚とその料理法を知ってる？		
11	6 月 23 日		近江の各地を訪問してみよう。まず大津。大津はどんな町？		
12	6 月 30 日		国宝彦根城を見たことがありますか？彦根は典型的な城下町、それはどこでわかる？		
13	7 月 7 日		湖北と長浜。長浜では何を見ればいいのか？		
14	7 月 14 日		甲賀市。忍者の故郷？信楽焼はなぜたぬき？		
15	7 月 21 日		皆さんの滋賀県でおすすめはどこ？		
＜教科書・参考書＞					
【教科書】なし					
【参考書】個々のテーマについては授業中指示するが、全体的なものとしては以下のものを推薦する					
『街道をゆく』司馬遼太郎シリーズの「1湖西のみち」「24近江散歩」(朝日文庫) 価格(本体600円～800円)					
『近江山河抄』白洲正子(講談社文芸文庫) 価格(本体1100円)					

科目番号	16	科目名	数の不思議		
英 文 科 目 名	Wonder of Mathematics				
大学・短期大学名	滋賀短期			大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 学務課				
TEL :	077-524-3638		FAX :	077-523-5124	
担 当 教 員	久米 央也 (幼児教育保育 学科 教授)				
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	335教室		会 場		
授 業 期 間	2022 年 9 月 29 日 木 ~ 2023 年 1 月 12 日 木 <毎週 木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			20 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			40 %	
	そ の 他 (小 テ ス ト)			40 %	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要】 小学校教員の経験を持つ教員が担当する。 数・量・図形に関する古来からの各国の様々な問題やパズルを解説を加えながら一緒に考えグループで検討していく。その中で、数学の歴史や、数の持つ美しさ、不思議さを実感していく。					
【授業の到達目標】 ・数・量・図形に関する各国の古来からの問題やパズルを解く中で、数学の歴史を学び、数学的思考力を身につけることができる。 ・数・量・図形の美しさや不思議さに触れることで、数学に興味・関心を持って積極的に授業に参加できる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 29 日	オリエンテーション 論理力(うそつき問題) 直観力(マッチ棒問題) 数の不思議(答えの予言の謎)			
2	10 月 6 日	論理力(川渡り問題) 数の不思議(電卓の謎・9999の謎) 数の誕生 数字の進化			
3	10 月 13 日	直観力(マッチ棒問題・コイン問題) ガウスの定理 123123の謎 0の発見(十進位取り記数法の誕生)			
4	10 月 20 日	17列目の謎を解く 数列の不思議(ピザを切ったら) フィボナッチ数列の不思議 素数の不思議			
5	10 月 27 日	142857の謎(巡回数) パンデigital 世界最古の魔方陣の不思議 いろいろな魔方陣			
6	11 月 3 日	かけ算ピラミッドの謎 立体図形の不思議 プラトン立体・サッカーボールの謎			
7	11 月 10 日	平面図形の不思議 消えた1cm ² タングラム			
8	11 月 17 日	12345679の謎 移動の不思議 究極のパズル(ハノイの塔) パラドックスの不思議 (アキレスと亀)			
9	11 月 24 日	カプレカ数 一筆書きの不思議 ケーニヒスベルクの橋 オイラーの定理			
10	12 月 1 日	数と比の不思議 黄金比・白銀比			
11	12 月 8 日	÷99の謎 17÷4の謎 小テスト			
12	12 月 15 日	測定の不思議(古代の測定) ピタゴラスの定理 エラトステネスの発見(地球を測定)			
13	12 月 22 日	塵劫記を解く 俵杉算・カラス算・盗人算・入れ子算			
14	1 月 5 日	塵劫記を解く 覆面算・盗人隠・小町算・円陣			
15	1 月 12 日	まとめ 数の不思議を振り返る、小テスト			
<教科書・参考書>					
【教科書】なし 【参考書】特になし					

科目番号	17	科目名	ラッピング演習																																																		
英 文 科 目 名	Seminar in wrapping																																																				
大学・短期大学名	滋賀短期			大学																																																	
連 絡 先	滋賀短期大学 学務課																																																				
	TEL : 077-524-3638		FAX : 077-523-5124																																																		
担 当 教 員	灰藤 友理子 (生活 学科 助教)																																																				
実 施 方 法	対面授業																																																				
教 室 名	232教室	会場																																																			
授 業 期 間	2022 年 9 月 27 日 ~ 2023 年 1 月 17 日 ＜毎週 火 曜 日＞ 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 10																																																				
超過時の選考方法																																																					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		60	%																																																	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%																																																	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		10	%																																																	
	そ の 他 (小 テ ス ト)		30	%																																																	
別 途 負 担 費 用	なし あり()円																																																				
その他特記事項																																																					
＜講義概要・到達目標＞ 【授業の概要】 一般社団法人全国製菓衛生師養成施設協会の認定を受けたパティスリーラッピング検定の取得を目指す演習である。 ラッピングは商品価値を高める大切な要素であり、ショップの品格を左右するものと言われている。単に商品を包むのではなく、「ラッピングは相手へのおもてなし」と心得て、日本や西洋の贈り物の知識、常識を学び、基礎・技術を身につける。ラッピングには様々な方法があるが、1つ1つを正確に丁寧に組み組み返し練習する。練習はグループワークで実施し、互いに確認し合いながら改善点を検討する。授業終了後に実施する筆記試験、実技試験に合格することで、パティスリーラッピング検定の資格を取得できる。 【授業の到達目標】 ・ラッピングに関する歴史や知識を学び、基本的な包み方やリボンの結び方を習得する。 ・パティスリーラッピング検定を取得する。																																																					
＜授業スケジュール＞ <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月 日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9 月 27 日</td> <td>パティスリーラッピングを始める前に ラッピングの資材 年中行事・ギフトラッピングの特徴 のし紙について</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 月 4 日</td> <td>カッターナイフの扱い方 きれいな蝶結び ボーダーリボン、ストライプリボン</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10 月 11 日</td> <td>合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン1 表裏のあるリボンの蝶結び</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10 月 18 日</td> <td>合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン2 表裏のあるリボンの蝶結び 異なるサイズの箱の合わせ包み</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10 月 25 日</td> <td>合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン チェックテスト</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11 月 1 日</td> <td>斜め包み、慶弔の包み方の違い1 斜め包みのポイントを知る</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11 月 8 日</td> <td>斜め包み、慶弔の包み方の違い2 ペーパーの見積りと包装</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11 月 15 日</td> <td>斜め包み、慶弔の包み方の違い3 チェックテスト</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11 月 22 日</td> <td>スクエア包み、十字掛け1</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11 月 29 日</td> <td>スクエア包み、十字掛け2 チェックテスト</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12 月 6 日</td> <td>リボンの応用 リボンカット、コサージュ作り</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12 月 13 日</td> <td>バスケット包み、ブリーツ包み</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12 月 20 日</td> <td>ギフトラッピング1 資材の選択</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1 月 10 日</td> <td>ギフトラッピング2 合わせ包み、十字掛け、蝶結び</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>1 月 17 日</td> <td>ギフトラッピング3 資材選択からラッピングまでを完成させる</td> </tr> </tbody> </table>						回	月 日	テーマ・キーワード	1	9 月 27 日	パティスリーラッピングを始める前に ラッピングの資材 年中行事・ギフトラッピングの特徴 のし紙について	2	10 月 4 日	カッターナイフの扱い方 きれいな蝶結び ボーダーリボン、ストライプリボン	3	10 月 11 日	合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン1 表裏のあるリボンの蝶結び	4	10 月 18 日	合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン2 表裏のあるリボンの蝶結び 異なるサイズの箱の合わせ包み	5	10 月 25 日	合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン チェックテスト	6	11 月 1 日	斜め包み、慶弔の包み方の違い1 斜め包みのポイントを知る	7	11 月 8 日	斜め包み、慶弔の包み方の違い2 ペーパーの見積りと包装	8	11 月 15 日	斜め包み、慶弔の包み方の違い3 チェックテスト	9	11 月 22 日	スクエア包み、十字掛け1	10	11 月 29 日	スクエア包み、十字掛け2 チェックテスト	11	12 月 6 日	リボンの応用 リボンカット、コサージュ作り	12	12 月 13 日	バスケット包み、ブリーツ包み	13	12 月 20 日	ギフトラッピング1 資材の選択	14	1 月 10 日	ギフトラッピング2 合わせ包み、十字掛け、蝶結び	15	1 月 17 日	ギフトラッピング3 資材選択からラッピングまでを完成させる
回	月 日	テーマ・キーワード																																																			
1	9 月 27 日	パティスリーラッピングを始める前に ラッピングの資材 年中行事・ギフトラッピングの特徴 のし紙について																																																			
2	10 月 4 日	カッターナイフの扱い方 きれいな蝶結び ボーダーリボン、ストライプリボン																																																			
3	10 月 11 日	合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン1 表裏のあるリボンの蝶結び																																																			
4	10 月 18 日	合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン2 表裏のあるリボンの蝶結び 異なるサイズの箱の合わせ包み																																																			
5	10 月 25 日	合わせ包み、ボーダーリボン、ストライプリボン チェックテスト																																																			
6	11 月 1 日	斜め包み、慶弔の包み方の違い1 斜め包みのポイントを知る																																																			
7	11 月 8 日	斜め包み、慶弔の包み方の違い2 ペーパーの見積りと包装																																																			
8	11 月 15 日	斜め包み、慶弔の包み方の違い3 チェックテスト																																																			
9	11 月 22 日	スクエア包み、十字掛け1																																																			
10	11 月 29 日	スクエア包み、十字掛け2 チェックテスト																																																			
11	12 月 6 日	リボンの応用 リボンカット、コサージュ作り																																																			
12	12 月 13 日	バスケット包み、ブリーツ包み																																																			
13	12 月 20 日	ギフトラッピング1 資材の選択																																																			
14	1 月 10 日	ギフトラッピング2 合わせ包み、十字掛け、蝶結び																																																			
15	1 月 17 日	ギフトラッピング3 資材選択からラッピングまでを完成させる																																																			
＜教科書・参考書＞ 【教科書】『パティスリーラッピング教本』 一般社団法人 全国製菓衛生師養成施設協会 価格(本体1,065円＋税) 【参考書】特になし																																																					

科目番号	18	科目名	オフィス総論		
英 文 科 目 名	Introduction to Office Studies				
大学・短期大学名	滋賀短期			大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 学務課				
	TEL : 077-524-3638		FAX : 077-523-5124		
担 当 教 員	若生 眞理子 (ビジネスコミュニケーション 学科 准教授)				
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	326教室, 335教室		会場		
授 業 期 間	2022 年 4 月 13 日 水 ~ 2022 年 7 月 20 日 水 <毎週 水 曜日> 4 時限・講時 15 : 00 ~ 16 : 30				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		50	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		30	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		20	%	
	そ の 他 ()			%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要】 総合商社で営業アシスタント及び部長秘書としての勤務経験をもつ教員が担当する。事務業務、情報業務、対人業務遂行のためのスキルを身につけるために、民間の一般的な会社組織をモデルにして、組織の型から職場の人間関係まで幅広く学んでいく。オフィス(職場)で発生する諸問題について、論理的に考える力、それを解決する力・判断力をつけるためにケーススタディを取り入れるなど、臨場感のある授業を展開していく。					
【授業の到達目標】 ・ オフィスでの仕事の進め方や取り巻く環境を知ること、自身が働く姿をイメージすることができる。 ・ オフィスで必要とされる状況対応力とは何かを理解し、そのスキルを身につける。 ・ 観察力や判断力とともに人間関係形成に必要な知識やスキルを学ぶことで、自らの能力開発ができる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 13 日	オフィスの役割、組織で働くとは			
2	4 月 20 日	補佐機能と担当業務、オフィスワーカーの立場と役割			
3	4 月 27 日	状況対応能力の養成 基本(1) 事務業務			
4	5 月 4 日	状況対応能力の養成 基本(2) 対人業務			
5	5 月 11 日	状況対応能力の養成 基本(3) 情報業務			
6	5 月 18 日	状況対応能力の養成 応用(1) オフィスワーカーとコミュニケーション			
7	5 月 25 日	状況対応能力の養成 応用(2) 状況対応能力のまとめ			
8	6 月 1 日	守秘義務、情報管理			
9	6 月 8 日	仕事における読む力の養成			
10	6 月 15 日	仕事における書く力の養成			
11	6 月 22 日	仕事における聞く力の養成			
12	6 月 29 日	仕事における話す力の養成			
13	7 月 6 日	ケーススタディ(1) 適切な状況対応 来客応対			
14	7 月 13 日	ケーススタディ(2) 適切な状況対応 電話応対			
15	7 月 20 日	ケーススタディ(3) 私のキャリア目標			
<教科書・参考書>					
【教科書】『状況対応能力、読む・書く・聞く・話す能力』 武田秀子 岡田小夜子(早稲田教育出版) 価格(本体 1,165円+税)					
【参考書】 適宜紹介する					

科目番号	19	科目名	秘書実務Ⅰ		
英 文 科 目 名	Secretarial PracticeⅠ				
大学・短期大学名	滋賀短期			大学	
連 絡 先	滋賀短期大学 学務課				
	TEL：077-524-3638		FAX：077-523-5124		
担 当 教 員	若生 眞理子（ビジネスコミュニケーション 学科 准教授）				
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	326教室, 342教室		会場		
授 業 期 間	2022 年 4 月 12 日（火）～ 2022 年 7 月 19 日（火） ＜毎週 火 曜 日＞ 2 時限・講時 10：40～12：10				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験（筆 記）		50	%	
	レ ポ ー ト 試 験（期 末）			%	
	平 常 点（出 席・授 業 態 度）		50	%	
	そ の 他（ ）			%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり（ ）円		
その他特記事項					
＜講義概要・到達目標＞					
【授業の概要】 総合商社や大手家電メーカーでの秘書業務の経験をもつ教員が担当する。上司とのペアワークが多い秘書をビジネスワーカーの模範と位置づけ、この授業では秘書をモデルに、事務職のみならずどのような職種においても必要な実務の基本知識を修得し、それらを実践できるようにする。 ビジネス電話応対、来客応対、さまざまな場面での立ち居振る舞いなど、ロールプレイングやケーススタディをしながら進める。それらをペアやグループで実施し、協働の重要性を理解する。					
【授業の到達目標】 ・ビジネスマナーの基本を知るだけでなく、自ら実践できるようになる。 ・適切な言葉づかいや立ち居振る舞いを身につけるとともに、良好な人間関係を維持発展させることや組織における協働の必要性を理解する。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 12 日	秘書実務とは、秘書実務を学ぶ意義			
2	4 月 19 日	正しい話し方、聴き方			
3	4 月 26 日	敬語の使い方			
4	5 月 3 日	来客応対の実際（1）受付、案内、名刺交換			
5	5 月 10 日	来客応対の実際（2）応対用語、立ち居振る舞い			
6	5 月 17 日	茶菓の接待、席次			
7	5 月 24 日	来客応対の流れ			
8	5 月 31 日	ビジネス電話応対（1）電話応対の特徴、基本的な流れ			
9	6 月 7 日	ビジネス電話応対（2）電話応対の会話例			
10	6 月 14 日	ビジネス電話応対（3）電話応対の応用			
11	6 月 21 日	慶事のマナー			
12	6 月 28 日	弔事、見舞のマナー			
13	7 月 5 日	仕事の進め方（1）庶務的な仕事			
14	7 月 12 日	仕事の進め方（2）命令系統、優先順位			
15	7 月 19 日	まとめ、練習問題			
＜教科書・参考書＞					
【教科書】なし					
【参考書】『よくわかる社会人の基礎知識～マナー・文書・仕事のキホン』 岡野絹江監修（ぎょうせい） 価格（本体 2,200円＋税）					

科目番号	20	科目名	秘書実務Ⅱ		
英 文 科 目 名		Secretarial Practice Ⅱ			
大学・短期大学名		滋賀短期		大学	
連 絡 先		滋賀短期大学 学務課			
TEL :		077-524-3638		FAX :	077-523-5124
担 当 教 員		若生 眞理子 (ビジネスコミュニケーション 学科 准教授)			
実 施 方 法		対面授業			
教 室 名		326教室, 342教室		会場	
授 業 期 間		2022 年 9 月 28 日 (水) ~ 2023 年 1 月 18 日 (水) <毎週 水曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 14 : 50			
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		50		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		50		%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用		なし		あり()円	
その他特記事項					
＜講義概要・到達目標＞					
【授業の概要】					
総合商社や大手家電メーカーでの秘書業務の経験をもつ教員が担当する。前期の「秘書実務Ⅰ」での基礎的学習を発展させ、事務職に必要な実務処理の知識と技能を学ぶ。職場での仕事に近い形を想定した「インバスケ方式」で演習し、自分で考え、判断し、的確に業務を処理していく力を導き出す。					
【授業の到達目標】					
・ビジネスマナーの基本を踏まえたうえで、職場でのさまざまな場面での対応についてその表現方法を考え主体的に行動することができる。					
・職場で必要とされる文書作成や文書管理、会議等に関する知識を深め、適切な実務処理を総合的に実践することができる。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 28 日	ビジネス文書の作成(1) 事務と文書の関連			
2	10 月 5 日	ビジネス文書の作成(2) 社内文書、帳票			
3	10 月 12 日	ビジネス文書の作成(3) 社外文書、伝言メモの作成と活用			
4	10 月 19 日	ビジネス文書の作成(4) 横書き社交文書、宛名書き			
5	10 月 26 日	ビジネス文書の作成(5) 縦書き社交文書			
6	11 月 2 日	文書の取り扱い、文書の受発信、秘扱い文書			
7	11 月 9 日	文書管理、ファイリングシステム			
8	11 月 16 日	秘書と庶務(1) 会議、会合			
9	11 月 30 日	秘書と庶務(2) ファシリティマネジメント			
10	12 月 7 日	インバスケ(1) 慶弔の事務処理			
11	12 月 14 日	インバスケ(2) 上司のスケジュール管理			
12	12 月 21 日	インバスケ(3) 会議の準備・片づけ・議事録			
13	1 月 4 日	インバスケ(4) クレーム電話の対応・Eメール			
14	1 月 11 日	「秘書実務Ⅰ」「秘書実務Ⅱ」のまとめ			
15	1 月 18 日	振り返り、到達目標達成の確認			
＜教科書・参考書＞					
【教科書】なし					
【参考書】『よくわかる社会人の基礎知識～マナー・文書・仕事のキホン』岡野絹江監修(ぎょうせい) 価格(本体2,200円+税)					

科目番号	21	科目名	湖北の歴史と民俗文化		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	滋賀文教短期			大学	
連 絡 先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係				
	TEL : 0749-63-5815		FAX : 0749-65-1921		
担 当 教 員	中島 誠一		(非常勤講師)		
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	本館3階 305教室	会場	滋賀文教短期大学		
授 業 期 間	2022 年 4 月 8 日 (金) ~ 2022 年 7 月 29 日 (金) <毎週 金 曜 日> 2 時限・講時 10 : 45 ~ 12 : 15				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		30	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		50	%	
	そ の 他 (小 テ ス ト)		20	%	
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円				
そ の 他 特 記 事 項	<授業形態> 新型コロナウイルスの拡大状況により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。 <欠席連絡> 本学のホームページで公開しているシラバスでは、欠席連絡は講師に直接行うよう指示されています。しかし、単位互換制度を利用する学生については、学務課教務係に連絡してください。 <休補講> 6月3日・6月10日・6月17日については休講となり、5月13日・5月20日については2限目(10:45~12:15)とあわせて1限目(9:05~10:35)にも開講します。				
<講義概要・到達目標>					
<講義概要> 本講座では、まず大学の立地する田村地域を中心に現地踏査学習をおこない、身の回りの文化的遺産を体験する。次に学習の範囲を、湖北全域に拡大し、パワーポイント、DVDを使った視聴などを交え、人々が継承する種々の生活文化財を学ぶ。そして長浜の基礎を築いた羽柴秀吉による城下町形成がもたらした文化的影響を2016年12月ユネスコ無形文化遺産登録となった長浜曳山祭や町づくりの姿から通観する。これらから湖北地域の豊かな歴史文化遺産を体験し、学び、生涯の糧となるよう講義を進めていく。 <到達目標> 1.湖北地域を中心に人々の暮らしの多様性について現地の文化遺産を踏査し体験し学び協調する態度を身に付けることができる。 2.湖北地域の歴史文化遺産について日本全体に視野を拡大してその特徴を把握する力をつけることができる→小テストによって自分の進行度合いを確認することができる。 3.人々の暮らしの中に息づく祭りや、特徴ある習俗に目を向け、地域の個性について理解する力を身に付けることができる。 4.湖北地域の歴史遺産が人々の生活に欠くことのできないものであることを、学習を通じて体得することによって自分の住む地域の様々な問題、課題について解決能力を身に付けることができる→期末テストによって自身の習得結果を確認することができる。					

＜授業スケジュール＞

回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 8 日	湖北の歴史文化遺産PPTガイダンス。年間の学習内容説明。
2	4 月 15 日	田村の歴史文化遺産－田村山登山&村の中を歩いて考える－（フィールドワーク）
3	4 月 22 日	ユネスコ無形文化遺産－長浜曳山祭の行事内容について学ぶ－
4	4 月 29 日	曳山文化の伝播－湖北を中心とした曳山祭の関連性について考える－
5	5 月 13 日	湖北地域の雨ごい信仰の多様性－竜神信仰と太鼓踊りの関連を知る－
6	5 月 13 日	近江で行われた雨ごい行事－竜神信仰と太鼓踊りの関連を学ぶ－
7	5 月 20 日	湖北のオコナイ行事－なぜこの行事は根付いているのか考える－
8	5 月 20 日	1～7回までの学習について振り返り、自分の進捗度を測る－小テスト－
9	5 月 27 日	湖北の村の暮らし－長浜市西浅井町月出－過疎化と郷土愛
10	6 月 24 日	湖北の村の暮らし－長浜市西浅井町菅浦－伝統と村の組織
11	7 月 1 日	発展する明治の長浜－大商人たちの活躍－現在の長浜との関連
12	7 月 8 日	長浜の食事－祭りと日常－ 鯖素麺、講汁、鮎鮓
13	7 月 15 日	長浜の諸職－鍛冶屋、鼻緒、竹細工、提灯
14	7 月 22 日	長浜の諸職－長浜仏壇と曳山修理
15	7 月 29 日	歴史と民俗文化について振り返る

＜教科書・参考書＞

＜教科書＞

特になし

＜参考書＞

- ・中島誠一 著『川道のオコナイ 湖北に春を呼ぶ - 俵鏡餅』（サンライズ出版、2011年）
- ・中島誠一 監修『近江の祭りを歩く』（サンライズ出版、2012年）
- ・長浜城歴史博物館特別展 図録『近江のオコナイ』『山車・屋台・曳山』『手仕事を伝える』『神になった秀吉』等

科目番号	22	科目名	近江学B		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	成安造形			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1				
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120	
担 当 教 員	加藤賢治・仁連孝昭(特別講師) (芸術学 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	未定		会場		
授 業 期 間	2022 年 9 月 5 日 (月) ~ 2022 年 9 月 8 日 (木) <毎週 曜日> 1時限・講時 9 : 00 ~ :				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			30 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			50 %	
	そ の 他 (プ レ ゼ ン 評 価)			20 %	
別 途 負 担 費 用	集合場所までの交通費(金額は各自で異なる)、入館料等(1000円程度)が必要				
そ の 他 特 記 事 項	授業連絡等、Googleクラスルーム、Googleフォームを使用します 出席率の低いものは不可				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 成安造形大学が位置する近江(滋賀県)は中央に位置する琵琶湖とそれを囲むように連なる美しい山々という恵まれた自然環境を有するフィールドです。それだけでなく、古代から文化が形成されてきたために、多くの文化遺産を保有し、その伝統を今に伝えています。この科目は、本学近くにある大津市の中心市街地をフィールドワークしながら、地域の人々との交流の中で、地域文化を体感します。このように、伝統的な風習を残す地域を積極的に検証することで、21世紀に息づく普遍的な価値観を身につけ、自らの作品制作や未来の生活に活かすことを目的とします					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9 月 5 日	ガイダンス フィールドワークの概要と目的(オンデマンド)			
2	9 月 6 日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」三井寺の見学			
3	9 月 6 日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」三井寺の見学			
4	9 月 6 日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」長等神社、大津絵の店等の見学			
5	9 月 6 日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」ながらの座座の見学			
6	9 月 7 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」大津中心市街地の見学			
7	9 月 7 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」大津別院の見学			
8	9 月 7 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」大津祭曳山展示館の見学			
9	9 月 7 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」丸屋町自治会館見学の見学			
10	9 月 7 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」まとめのグループディスカッション			
11	9 月 8 日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)			
12	9 月 8 日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)			
13	9 月 8 日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)			
14	9 月 8 日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
適宜プリントを配付					

科目番号	23	科目名	デザイン史概説A		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		成安造形		大学	
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
TEL :		077-574-2113		FAX :	077-574-2120
担 当 教 員		島先 京一 (芸術学 学部 教授)			
実 施 方 法		対面授業			
教 室 名		未定	会場		
授 業 期 間		2022 年 4 月 19 日 (火) ~ 2022 年 7 月 26 日 (火) <毎週 木曜日> 1時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法		書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		40 %		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%		
	そ の 他 (ミ ニ レ ポ ー ト)		60 %		
別 途 負 担 費 用		なし			
そ の 他 特 記 事 項		・参考になる資料を指示するので、18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパの歴史について概観しておくこと。 ・オリジナルのノート作成を心掛けること			
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】					
18世紀から19世紀にかけての産業革命は、人びとの生活を激変させた。特に、生活に用いる、様々な道具やモノ、或いは環境を形成するものづくりの現場は、大きな影響を受けた。それ以前には職人の手で一つひとつが手工作で制作されていたものが、機械によって一度に大量に生産されるようになったのである。この講義では、ものづくりの現場への機械の導入をめぐる、様々な工芸家やデザイナーの苦闘の跡を探っていく。そのことを通して、近代デザインの考え方の基礎の成立について知ることを目的とする。					
【到達目標】					
(1)歴史という概念の相対性について考えることができる					
(2)デザインが社会の関係について考えることができる					
(3)機械によるモノ作りとしてのデザインについて考えることができる					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 19 日	歴史とは何か			
2	4 月 26 日	産業革命の概要を考える			
3	5 月 10 日	産業革命とものづくり			
4	5 月 17 日	イギリス社会の階層性			
5	5 月 24 日	アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革			
6	5 月 31 日	1851年の万国博覧会			
7	6 月 7 日	ウィリアム・モリスの活動の概要			
8	6 月 14 日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目			
9	6 月 21 日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目			
10	6 月 28 日	美術工芸運動			
11	7 月 5 日	アール・ヌーヴォーの概要			
12	7 月 12 日	フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー			
13	7 月 19 日	スコットランド、カタロニア、オーストリアのアール・ヌーヴォー			
14	7 月 26 日	アール・ヌーヴォーのデザイン史上の意味			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
参考になる資料を授業の進行に合わせて紹介します。					

科目番号	24	科目名	デザイン史概説B	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名		成安造形		大学
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1		
TEL :		077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担 当 教 員		島先 京一 (芸術学 学部 教授)		
実 施 方 法		対面授業		
教 室 名		未定	会場	
授 業 期 間		2022 年 9 月 27 日 (火) ~ 2023 年 1 月 17 日 (火) <毎週 木 曜 日> 1時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40		
超過時の選考方法		書類選考		
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		40	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			%
	そ の 他 (ミ ニ レ ポ ー ト)		60	%
別 途 負 担 費 用		なし		
そ の 他 特 記 事 項		・第1次世界大戦前後のヨーロッパの歴史について復習しておくこと。 ・オリジナルのノート作成を心掛けること。 ・オリジナルのノート作成を心掛けること		
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 19世紀の末から20世紀の初頭にかけて、ものづくりの現場への機会の導入はさらに進んだが、先進的なデザイナーたちの様ざまな努力にもかかわらず、機械を使いこなすための確固たる方法論は未だ見出されていなかった。この授業では、アメリカの建築、ドイツ工作連盟、抽象絵画の成立、オランダのデ・スタイル、そしてバウハウスを取り上げ、モダンデザインの成立について考えることを目的としている。				
【到達目標】 (1)デザインと社会の関係について考えることができる (2)近代から現代に至る文化の変遷や、社会とアートの関係性を理解し、今後の学びに活かすことができる (3)モダン・デザインの成立について考えることができる				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	9 月 27 日	ウィーン工房のデザイン		
2	10 月 4 日	高層建築の起源		
3	10 月 11 日	シカゴの建築		
4	10 月 18 日	フランク・ロイド・ライトの建築		
5	10 月 25 日	ドイツ工作連盟の成立		
6	11 月 1 日	ドイツ工作連盟における規格化をめぐる論争		
7	11 月 8 日	絵画におけるリアリズムの意味		
8	11 月 15 日	印象派と立体派		
9	11 月 22 日	幾何学的抽象絵画の成立		
10	11 月 29 日	幾何学的抽象絵画とデザイン 1回目		
11	12 月 6 日	幾何学的抽象絵画とデザイン 2回目		
12	12 月 13 日	バウハウスの成立の背景		
13	1 月 20 日	初期バウハウスの教育		
14	1 月 17 日	バウハウスにおけるモダンデザインの成立		
<教科書・参考書>				
参考になる資料を授業の進行に合わせて紹介します。				

科目番号	25	科目名	東洋・日本美術史概説A	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名		成安造形		大学
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1		
		TEL :	077-574-2113	FAX : 077-574-2120
担 当 教 員		小 寄 善 通 (芸 術 学 学 部 教 授)		
実 施 方 法		対面授業		
教 室 名		未 定	会 場	
授 業 期 間		2022 年 4 月 20 日 (水) ~ 2022 年 7 月 27 日 (水) <毎週 木 曜 日> 1 時 限 ・ 講 時 9 : 00 ~ 10 : 40		
超 過 時 の 選 考 方 法		書 類 選 考		
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 (各 回 ご と の 授 業 内 試 験)		100 %	
別 途 負 担 費 用		なし		
そ の 他 特 記 事 項		・授業開始前にメール送付するガイダンス資料を熟読しておくこと。 ・授業でのスライドで満足せず、展覧会に出かけて実物を鑑賞すること。 ・参考図書や授業中に紹介した参考図書を用いて事前事後学習をすること。		
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 東洋・日本美術史の基礎知識を、分野別にスライドを用いて解説します。また、開催されている展覧会の情報や見どころも紹介します。様々な作品を知ることは、自分を知ることにつながります。今後の自らの作品制作の方向性を決める手がかりにしてほしいと考えています。				
【到達目標】 (1)各時代の日本美術の名品を通して、日本美術の流れを知ることができる (2)制作の手がかりとなる作品に出会える (3)様々な美術品を知ること、美術品の見方を身につけることができる				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 20 日	日本美術史の枠組み・仏像の基礎		
2	4 月 27 日	日本彫刻史(飛鳥・白鳳・奈良)		
3	5 月 11 日	日本彫刻史(平安)		
4	5 月 18 日	日本彫刻史(鎌倉)		
5	5 月 25 日	陶芸史(中国・日本)		
6	6 月 1 日	日本絵画史(飛鳥・白鳳・奈良)		
7	6 月 8 日	日本絵画史(平安)		
8	6 月 15 日	日本絵画史(平安絵巻)		
9	6 月 22 日	日本絵画史(鎌倉)		
10	6 月 29 日	日本絵画史(水墨画)		
11	7 月 6 日	日本絵画史(桃山)		
12	7 月 13 日	日本絵画史(江戸前期)		
13	7 月 20 日	日本絵画史(江戸後期)		
14	7 月 27 日	日本絵画史(江戸後期・浮世絵)		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
参考図書『日本美術館』小学館				

科目番号	26	科目名	東洋・日本美術史概説B		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		成安造形		大学	
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
TEL :		077-574-2113		FAX :	077-574-2120
担 当 教 員		小 寄 善 通 (芸 術 学 学 部 教 授)			
実 施 方 法		対面授業			
教 室 名		未 定	会 場		
授 業 期 間		2022 年 9 月 28 日 (水) ~ 2023 年 1 月 18 日 (水) <毎週 木 曜 日> 1時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法		書類選考			
成 績 評 価 方 法		定 期 試 験 (筆 記)		%	
		レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
		平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
		そ の 他 (各 回 ご と の 授 業 内 試 験)		100 %	
別 途 負 担 費 用		なし			
そ の 他 特 記 事 項		・授業開始前にメール送付するガイダンス資料を熟読しておくこと。 ・授業でのスライドで満足せず、展覧会に出かけて実物を鑑賞すること。 ・参考図書や授業中に紹介した参考図書を用いて事前事後学習をすること。			
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 東洋・日本美術史の基礎知識を、分野別にスライドを用いて解説します。また、開催されている展覧会の情報や見どころも紹介します。様々な作品を知ることは、自分を知ることにつながります。今後の自らの作品制作の方向性を決める手がかりにしてほしいと考えています。					
【到達目標】 (1)各時代の日本美術の名品を通して、日本美術の流れを知ることができる (2)制作の手がかりとなる作品に出会える (3)様々な美術品を知ることで、美術品の見方を身につけることができる					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 28 日	日本美術史の枠組み・仏像の基礎			
2	10 月 5 日	日本彫刻史(飛鳥・白鳳・奈良)			
3	10 月 12 日	日本彫刻史(平安)			
4	10 月 19 日	日本彫刻史(鎌倉)			
5	10 月 26 日	陶芸史(中国・日本)			
6	11 月 2 日	日本絵画史(飛鳥・白鳳・奈良)			
7	11 月 9 日	日本絵画史(平安)			
8	11 月 16 日	日本絵画史(平安絵巻)			
9	11 月 30 日	日本絵画史(鎌倉)			
10	12 月 7 日	日本絵画史(水墨画)			
11	12 月 14 日	日本絵画史(桃山)			
12	12 月 21 日	日本絵画史(江戸前期)			
13	1 月 11 日	日本絵画史(江戸後期)			
14	1 月 18 日	日本絵画史(江戸後期・浮世絵)			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
参考図書『日本美術館』小学館					

科目番号	27	科目名	西洋美術史概説A		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		成安造形		大学	
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
TEL :		077-574-2113		FAX :	077-574-2120
担 当 教 員		千速 敏男 (芸術学 学部 教授)			
実 施 方 法		対面授業			
教 室 名		未定	会場		
授 業 期 間		2022 年 4 月 21 日 (木) ~ 2022 年 7 月 28 日 (木) <毎週 木曜日> 1時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法		書類選考			
成 績 評 価 方 法		定 期 試 験 (筆 記)			
		レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	100		
		平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			
		そ の 他 ()			
別 途 負 担 費 用		なし			
その 他 特 記 事 項		授業に参加する態度を重視し、2/3以上の出席をもって成績評価の対象とします。			
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】					
『新西洋美術史』の「V 近代の美術」と「VI 現代の美術」の章に準拠して、19世紀から20世紀にいたる西洋美術の歴史を概観する。					
【到達目標】					
(1)近代における西洋美術史の流れを理解する					
(2)近代における西洋美術史の代表的な芸術家と作品を知る					
(3)美術史を学ぶ方法を知る					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 21 日	V-6 フランス印象派(p.302~)			
2	4 月 28 日	V-7 印象派以後 (p.318~)			
3	5 月 12 日	V-8 印象主義・後期印象主義の伝播 V-9 象徴主義と世紀末(p.324~)			
4	5 月 19 日	V-1 18世紀末から19世紀へ V-2 新古典主義 V-3 ロマン主義(1)(p.274~)			
5	5 月 26 日	V-3 ロマン主義(2) V-4 近代風景画の発展(1)(p.283~)			
6	6 月 2 日	V-4 近代風景画の発展(2) V-5 フランスとドイツの写実主義と自然主義 (p.289~)			
7	6 月 9 日	V-11 19世紀の彫刻 (p.359~)			
8	6 月 16 日	VI-1 マティスとフォーヴィスム VI-3 ドイツ表現主義(p.370~)			
9	6 月 23 日	VI-2 ピカソ、ブラックとキュビズム VI-4 未来主義(p.375~)			
10	6 月 30 日	VI-5 モンドリアンと抽象美術 VI-6 構成主義 (p.398~)			
11	7 月 7 日	VI-7 ダダイスム VI-8 デ・キリコと形而上絵画 VI-9 シュルレアリスム(p.406~)			
12	7 月 14 日	VI-10 エコール・ド・パリ VI-11 1920年代の美術(p.427~)			
13	7 月 21 日	VI-12 第二次大戦までのアメリカ美術 VI-13 戦後のアメリカとヨーロッパ美術(p.435~)			
14	7 月 28 日	VI-14 20世紀の彫刻 (p.443~)			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
千足伸行監修『新西洋美術史』(西村書店, 2800円+税)					
授業計画には、この『新西洋美術史』のページ数を掲載しています。					
よく似た題名の本が何種類かあります。まちがえないようにしてください。					

科目番号	28	科目名	西洋美術史概説B	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名		成安造形		大学
連 絡 先		滋賀県大津市仰木の里東4-3-1		
		TEL :	077-574-2113	FAX : 077-574-2120
担 当 教 員		千速 敏男 (芸術学 学部 教授)		
実 施 方 法		対面授業		
教 室 名		未定	会場	
授 業 期 間		2022 年 9 月 29 日 (木) ~ 2023 年 1 月 19 日 (木) <毎週 木曜日> 1時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40		
超過時の選考方法		書類選考		
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		100 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用		なし		
その 他 特 記 事 項		授業に参加する態度を重視し、2/3以上の出席をもって成績評価の対象とします。		
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
『新西洋美術史』の「Ⅲ ルネサンスの美術」と「Ⅳ バロック・ロココ美術」の章に準拠して、ルネサンスからロココにいたる西洋美術の歴史を概観する。				
【到達目標】				
(1)ルネサンスからロココにいたる西洋美術史の流れを理解する				
(2)ルネサンスからロココにいたる代表的な芸術家とその作品を知る				
(3)美術史を学ぶ方法を知る				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	9 月 29 日	II-6 イタリア・ゴシック美術 (p.126~)		
2	10 月 6 日	III-1 15世紀イタリア美術(1) (p.134~)		
3	10 月 13 日	III-1 15世紀イタリア美術(2) (p.134~)		
4	10 月 20 日	III-2 16世紀イタリア美術(1) (p.155~)		
5	10 月 27 日	III-2 16世紀イタリア美術(2) (p.155~)		
6	11 月 10 日	III-3 15、16世紀北方美術(1) (p.182~)		
7	11 月 17 日	III-3 15、16世紀北方美術(2) (p.182~)		
8	11 月 24 日	IV-1 バロック美術の時代 IV-2 17、18世紀イタリア美術 (p.198~)		
9	12 月 1 日	IV-3 スペイン黄金時代の絵画 (p.20~)		
10	12 月 8 日	IV-5 フランドル絵画 (p.231~)		
11	12 月 15 日	IV-6 17世紀のオランダ絵画 (p.242~)		
12	12 月 22 日	IV-4 フランス古典主義とバロック (p.224~)		
13	1 月 12 日	IV-7 18世紀フランスとロココ美術 (p.251~)		
14	1 月 19 日	IV-8 18世紀のイタリアとイギリスの美術 IV-10 ゴヤーロココから近代へ (p.256~)		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
千足伸行監修『新西洋美術史』(西村書店, 2800円+税)				
授業計画には、この『新西洋美術史』のページ数を掲載しています。				
よく似た題名の本が何種類があります。まちがえないようにしてください。				

科目番号	29	科目名	滋賀論	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名		聖泉		大学
連 絡 先		滋賀県彦根市肥田町720		
		TEL :	0749-43-7510	FAX : 0749-43-5201
担 当 教 員		森 雄二郎 (人間 学部 講師)		
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業 (対面・遠隔併用)		
教 室 名		会場	聖泉大学	
授 業 期 間		2022 年 6 月 日 () ~ 2022 年 7 月 日 () <毎週 曜日> 時限・講時 9 : 00 ~ 17 : 50		
超過時の選考方法		書類選考		
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		30	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		70	%
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用		なし (あり) 5,000)円		
そ の 他 特 記 事 項		フィールドワークへの参加は必須、欠席連絡必要 対面予定。ただし、感染状況により遠隔授業に変更となる可能性あり。		
<講義概要・到達目標>				
<講義概要>				
滋賀県が持つ独自の風土や歴史文化に関する理解を深めることを目的とする。授業形態は、講義とディスカッション(10回分)、現場を巡るフィールドワーク(5回分)とする。フィールドワークは、1日かけて琵琶湖周遊船に乗船し各地を巡る予定である。履修するにあたり琵琶湖周遊船の乗船料(約5,000円)が必要となる(第1回目の授業で徴収、キャンセル・払い戻し不可) 集中講義(3日間)で開催する。(6~7月の土曜日で日程調整中)				
<到達目標>				
(1)滋賀県の風土、歴史文化の特性について理解し説明できる。				
(2)滋賀県下における地域の現状と課題についての的確に把握し整理することができる。				
(3)地域資源を活かした地域づくりについて、具体的なアイディアや構想を提案することができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	6月~7月	オリエンテーション		
2		地域特性の把握①		
3		歴史・文化資源の活用①		
4		歴史・文化資源の活用②		
5		地域特性の把握②		
6		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)①		
7		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)②		
8		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)③		
9		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)④		
10		フィールドワーク(琵琶湖クルージング)⑤		
11		滋賀における政策課題①		
12		滋賀における政策課題②		
13		地域資源としての琵琶湖の保存と活用①		
14		地域資源としての琵琶湖の保全と活用②		
15		まとめと総括		
<教科書・参考書>				
各講義内容に応じて、資料等を提示、配布する。				

科目番号	30	科目名	運動心理学		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		聖泉			大学
連 絡 先		滋賀県彦根市肥田町720			
		TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5201
担 当 教 員		炭谷 将史 (人間 学部 教授)			
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業 <対面・遠隔併用>			
教 室 名		307教室	会場	聖泉大学	
授 業 期 間		2022 年 4 月 12 日 (火) ~ 2022 年 7 月 26 日 (火) <毎週 火 曜 日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法		書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			50	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			50	%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用		なし あり ()円			
そ の 他 特 記 事 項		対面・遠隔授業の併用予定。ただし、感染状況により変更となる可能性あり。			
<講義概要・到達目標>					
<講義概要>					
本講義では、運動と知覚、発達、学習などの点について、生態学的心理学の視点から概説する。動くとはどういうことか。私たちは動くときに、どのような情報を生かしているのかなどを学ぶ。体験的に理解することを目的とした実践的な作業をすることもある。					
<到達目標>					
1. 運動と知覚の相互作用性を理解すること					
2. 健康な生活のためには運動が欠かすことができないことを説明できること					
3. 運動を通じた人間の発達や学習を理解すること					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 12 日	オリエンテーション 運動はなぜ大切なのか。			
2	4 月 19 日	運動の不思議(1)			
3	4 月 26 日	運動と知覚(1)			
4	5 月 10 日	運動の不思議(2)			
5	5 月 17 日	運動と知覚(2)			
6	5 月 24 日	運動の不思議(3)			
7	5 月 31 日	運動と知覚(3)			
8	6 月 7 日	運動と発達(1)			
9	6 月 14 日	運動と発達(2)口			
10	6 月 21 日	運動と発達(3)			
11	6 月 28 日	健康になるための運動(1)高齢者			
12	7 月 5 日	健康になるための運動(2)女性			
13	7 月 12 日	運動が上手になるとはどういうことか(1)			
14	7 月 19 日	運動が上手になるとはどういうことか(2)			
15	7 月 26 日	運動が上手になるとはどういうことか(3)			
<教科書・参考書>					
『アフォーダンス』佐々木正人著 岩波書店					
『時速250kmのシャトルが見える』佐々木正人 光文社新書					
『新版アフォーダンス』佐々木正人 岩波書店					
他、随時講義内でご紹介します。					

科目番号	31	科目名	心理学概論A		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		聖泉		大学	
連 絡 先		滋賀県彦根市肥田町720			
		TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5201
担 当 教 員		李 艶 (人間 学部 教授)			
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業 (対面・遠隔併用)			
教 室 名		306教室	会場	聖泉大学	
授 業 期 間		2022 年 4 月 8 日 (金) ~ 2022 年 7 月 22 日 (金) <毎週 金曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
超過時の選考方法		書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		80	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		20	%	
	そ の 他 ()			%	
別 途 負 担 費 用		(なし) あり () 円			
そ の 他 特 記 事 項		対面・遠隔授業の併用予定。ただし、感染状況により変更となる可能性あり。			
<講義概要・到達目標>					
<講義概要>					
この授業は心理学の基礎中の基礎科目である。心理学の基礎としてほぼ全体をカバーできる。主に認知心理学と社会心理学に関する基礎理論・基礎概念を説明する。授業は講義形式で行う。具体的には「見る:視覚」「聞く:聴覚」「感じる:味覚嗅覚触覚」「覚える:記憶」「思う:感情」「学ぶ:学習」「考える:思考」「決める:原因帰属」「頑張る:動機」「気にする:自己」「伝える:説得」「魅かれる:対人認知」「付き合う:集団行動」「助ける:援助行動」「意思決定」の心理学を概説する。					
<到達目標>					
1. 心理学の基礎概念、基礎理論を身につける。					
2. 心理学の楽しさを味わって、公認心理師を目指す意欲を持つ。					
3. 身近な社会問題を心理学視点で考えることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 8 日	オリエンテーション			
2	4 月 15 日	見る:視覚、聞く:聴覚			
3	4 月 22 日	感じる:味覚・嗅覚・触覚			
4	5 月 6 日	覚える:記憶			
5	5 月 13 日	思う:感情			
6	5 月 20 日	学ぶ:学習			
7	5 月 27 日	考える:思考			
8	6 月 3 日	決める:原因帰着			
9	6 月 10 日	頑張る:達成動機			
10	6 月 17 日	気にする:自己			
11	6 月 24 日	伝える:説得			
12	7 月 1 日	魅かれる:対人認識・対人魅力			
13	7 月 8 日	付き合う:ソーシャルスキル、集団行動			
14	7 月 15 日	助ける:援助行動			
15	7 月 22 日	意思決定			
<教科書・参考書>					
【よくわかる心理学】無藤隆・森敏昭・池上知子・福丸由佳編 ミネルヴァ書房					

科目番号	32	科目名	発達心理学	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名		聖泉		大学
連 絡 先		滋賀県彦根市肥田町720		
		TEL :	0749-43-7510	FAX : 0749-43-5201
担 当 教 員		池田 龍也 (人間 学部 講師)		
実 施 方 法		対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用		
教 室 名		455教室	会場	聖泉大学
授 業 期 間		2022 年 10 月 5 日 (水) ~ 2022 年 1 月 25 日 (水) <毎週 水曜日> 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 10		
超過時の選考方法		書類選考		
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		90	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		10	%
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用		なし あり()円		
そ の 他 特 記 事 項		対面・遠隔授業の併用予定。ただし、感染状況により変更となる可能性あり。		
<講義概要・到達目標>				
<講義概要>				
この授業では、ヒトの誕生から死までの各発達段階における発達課題および発達上の特徴を概観します。また発達に関連し得る危機および問題を説明します。				
本授業は人間学部の基盤科目であり、必修科目でもあります。確実に単位を取得できるよう励んでください。またこの授業は、公認心理師受験資格取得のための必修科目です。				
<到達目標>				
以下の3点を到達目標とします。				
1) 人間の発達過程およびその特徴について説明できる。				
2) それぞれの発達段階において生じやすい問題や障害について理解し、説明できる。				
3) 上記 1) および 2) を踏まえた生涯発達の観点から、人間の一生を捉えることができる。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	10 月 5 日	オリエンテーション/発達心理学とは何か		
2	10 月 12 日	子供の発達1: 胎児期・新生児期		
3	10 月 19 日	子供の発達2: 乳児期		
4	10 月 26 日	子供の発達3: 幼児期前期		
5	11 月 2 日	子供の発達4: 幼児期後期1		
6	11 月 9 日	子供の発達5: 幼児期後期2□		
7	11 月 16 日	子供の発達6: 児童期1		
8	11 月 30 日	子供の発達7: 児童期2		
9	12 月 7 日	子供の発達8: 社会性とコミュニケーション		
10	12 月 14 日	青年期の発達1: 青年期前期		
11	12 月 21 日	青年期の発達2: 青年期後期		
12	1 月 4 日	成人期と中年期の発達		
13	1 月 11 日	老年期の発達		
14	1 月 18 日	アタッチメントと発達障害		
15	1 月 25 日	児童虐待とその背景		
<教科書・参考書>				
無藤 隆・岡本祐子・大坪治彦(編)(2009)『よくわかる発達心理学』(ミネルヴァ書房)ISBN:				

科目番号	33	科目名	知覚・認知心理学	
英 文 科 目 名				
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連 絡 先	滋賀県彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5201
担 当 教 員	鈴木 雅洋 (人間 学部 准教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 (対面・遠隔併用)			
教 室 名	407教室	会場	聖泉大学	
授 業 期 間	2022 年 4 月 11 日 (月) ~ 2022 年 7 月 25 日 (月) <毎週 月 曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		100 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円			
そ の 他 特 記 事 項	対面・遠隔授業の併用予定。ただし、感染状況により変更となる可能性あり。			
<講義概要・到達目標>				
<講義概要>				
知覚心理学、認知心理学についての講義を行う。感覚、知覚、認知の様態や特性、仕組みについて、心理学の専門性に相応しいレベルで理解されることを目標とする。本授業は、対面、ライブ配信、オンデマンド配信を組み合わせた実施形態で実施する計画である。				
<到達目標>				
① 感覚、知覚、認知の様態を心理学の専門性に相応しいレベルで理解することができる。				
② 感覚、知覚、認知の特性を心理学の専門性に相応しいレベルで理解することができる。				
③ 感覚、知覚、認知の仕組みを心理学の専門性に相応しいレベルで理解することができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 11 日	オリエンテーション(実施形態:対面、ライブ配信)		
2	4 月 18 日	イントロダクション(実施形態:対面、ライブ配信)		
3	4 月 25 日	視覚:神経基盤(実施形式:オンデマンド配信)		
4	5 月 2 日	視覚:形知覚、色知覚(実施形式:オンデマンド配信)		
5	5 月 9 日	視覚:奥行き知覚、大きさ知覚(実施形態:オンデマンド配信)		
6	5 月 16 日	視覚:運動知覚(実施形態:オンデマンド配信)		
7	5 月 23 日	聴覚、触覚、嗅覚、味覚、多感覚知覚(実施形態:オンデマンド配信)		
8	5 月 30 日	順応、恒常性(実施形態:オンデマンド配信)		
9	6 月 6 日	自己の知覚(実施形態:オンデマンド配信)		
10	6 月 13 日	第3~9回の振り返り、掘り下げ(実施形態:対面・ライブ配信)		
11	6 月 20 日	注意(実施形態:オンデマンド配信)		
12	6 月 27 日	対象認知、記憶(実施形態:オンデマンド配信)		
13	7 月 4 日	思考(実施形態:オンデマンド配信)		
14	7 月 11 日	第11~13回の振り返り、掘り下げ(実施形態:対面、ライブ配信)		
15	7 月 25 日	コンクルージョン(実施形態:対面、ライブ配信)		
<教科書・参考書>				
適宜紹介。				

科目番号	34	科目名	生物学基礎																																																		
英 文 科 目 名																																																					
大学・短期大学名	長浜バイオ大学																																																				
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地																																																				
	TEL : 0749-64-8100		FAX : 0749-64-8140																																																		
担 当 教 員	岩本 昌子 (バイオサイエンス 学部)																																																				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																				
教 室 名	大講義室①		会場	長浜バイオ大学																																																	
授 業 期 間	2022 年 4 月 13 日 (水) ~ 2022 年 7 月 27 日 (水) <毎週 水曜日> 2 時限・講時 11 : 10 ~ 12 : 40																																																				
超過時の選考方法																																																					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		0 %																																																		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		25 %																																																		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0 %																																																		
	そ の 他 (小 テ ス ト)		75 %																																																		
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円																																																				
その他特記事項																																																					
<講義概要・到達目標> 高校で「生物学」を十分に履修してこなかった学生に向けた内容である。重要かつ基本的な専門用語を理解し、大学での高度な学びにつなげる。バイオサイエンスに関する幅広い内容にふれて、大学での学習意欲を高める。																																																					
<授業スケジュール> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月 日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4 月 13 日</td><td>第1回 生物とは何だろうか</td></tr> <tr><td>2</td><td>4 月 20 日</td><td>第2回 細胞の構造</td></tr> <tr><td>3</td><td>4 月 27 日</td><td>第3回 生物を構成する化学成分</td></tr> <tr><td>4</td><td>5 月 11 日</td><td>第4回 遺伝子の発現 (1.転写)</td></tr> <tr><td>5</td><td>5 月 18 日</td><td>第5回 遺伝子の発現 (2.翻訳)</td></tr> <tr><td>6</td><td>5 月 25 日</td><td>第6回 DNAの複製</td></tr> <tr><td>7</td><td>6 月 1 日</td><td>第7回 酵素と代謝</td></tr> <tr><td>8</td><td>6 月 8 日</td><td>第8回 植物の光合成</td></tr> <tr><td>9</td><td>6 月 15 日</td><td>第9回 細胞周期と細胞分化</td></tr> <tr><td>10</td><td>6 月 22 日</td><td>第10回 生殖 (配偶子形成と受精)</td></tr> <tr><td>11</td><td>6 月 29 日</td><td>第11回 動物の発生</td></tr> <tr><td>12</td><td>7 月 6 日</td><td>第12回 多細胞生物の自己維持</td></tr> <tr><td>13</td><td>7 月 13 日</td><td>第13回 免疫のしくみ</td></tr> <tr><td>14</td><td>7 月 20 日</td><td>第14回 遺伝のしくみと遺伝病</td></tr> <tr><td>15</td><td>7 月 27 日</td><td>第15回 生物進化と生物多様性</td></tr> </tbody> </table>						回	月 日	テーマ・キーワード	1	4 月 13 日	第1回 生物とは何だろうか	2	4 月 20 日	第2回 細胞の構造	3	4 月 27 日	第3回 生物を構成する化学成分	4	5 月 11 日	第4回 遺伝子の発現 (1.転写)	5	5 月 18 日	第5回 遺伝子の発現 (2.翻訳)	6	5 月 25 日	第6回 DNAの複製	7	6 月 1 日	第7回 酵素と代謝	8	6 月 8 日	第8回 植物の光合成	9	6 月 15 日	第9回 細胞周期と細胞分化	10	6 月 22 日	第10回 生殖 (配偶子形成と受精)	11	6 月 29 日	第11回 動物の発生	12	7 月 6 日	第12回 多細胞生物の自己維持	13	7 月 13 日	第13回 免疫のしくみ	14	7 月 20 日	第14回 遺伝のしくみと遺伝病	15	7 月 27 日	第15回 生物進化と生物多様性
回	月 日	テーマ・キーワード																																																			
1	4 月 13 日	第1回 生物とは何だろうか																																																			
2	4 月 20 日	第2回 細胞の構造																																																			
3	4 月 27 日	第3回 生物を構成する化学成分																																																			
4	5 月 11 日	第4回 遺伝子の発現 (1.転写)																																																			
5	5 月 18 日	第5回 遺伝子の発現 (2.翻訳)																																																			
6	5 月 25 日	第6回 DNAの複製																																																			
7	6 月 1 日	第7回 酵素と代謝																																																			
8	6 月 8 日	第8回 植物の光合成																																																			
9	6 月 15 日	第9回 細胞周期と細胞分化																																																			
10	6 月 22 日	第10回 生殖 (配偶子形成と受精)																																																			
11	6 月 29 日	第11回 動物の発生																																																			
12	7 月 6 日	第12回 多細胞生物の自己維持																																																			
13	7 月 13 日	第13回 免疫のしくみ																																																			
14	7 月 20 日	第14回 遺伝のしくみと遺伝病																																																			
15	7 月 27 日	第15回 生物進化と生物多様性																																																			
<教科書・参考書> 南雲保 編「やさしい基礎生物学」 羊土社																																																					

科目番号	35	科目名	基礎微生物学																																																		
英 文 科 目 名																																																					
大学・短期大学名	長浜バイオ大学																																																				
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地																																																				
	TEL : 0749-64-8100		FAX : 0749-64-8140																																																		
担 当 教 員	石川 聖人 (バイオサイエンス 学部)																																																				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																				
教 室 名	大講義室②	会場	長浜バイオ大学																																																		
授 業 期 間	2022 年 4 月 8 日 (金) ~ 2022 年 7 月 29 日 (金) <毎週 金 曜 日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00																																																				
超過時の選考方法																																																					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0 %																																																		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		100 %																																																		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0 %																																																		
	そ の 他 ()		0 %																																																		
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円																																																				
その他特記事項																																																					
<講義概要・到達目標> 本講義では、肉眼で見ることのできない微小生物発見の歴史から、微生物の分類法、純粋分離法、培養法、染色法と各種顕微鏡による観察、微生物の栄養学的性質と増殖、構造と機能の違い、環境因子の増殖への影響といった微生物研究のための基本技術を概説し、自立増殖できる生命の中で最も基本となる微生物について理解を深める。更に微生物における物質生産、環境浄化そして自然界での物質循環における役割なども概説する。																																																					
<授業スケジュール> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月 日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4 月 8 日</td><td>第1回 微生物学の概念と歴史</td></tr> <tr><td>2</td><td>4 月 22 日</td><td>第2回 微生物の取り扱い方</td></tr> <tr><td>3</td><td>5 月 6 日</td><td>第3回 エネルギーの獲得方法</td></tr> <tr><td>4</td><td>5 月 13 日</td><td>第4回 微生物の生育と条件</td></tr> <tr><td>5</td><td>5 月 20 日</td><td>第5回 微生物の分類Ⅰ：微生物進化学と分類学</td></tr> <tr><td>6</td><td>5 月 27 日</td><td>第6回 微生物の分類Ⅱ：古細菌・真核微生物</td></tr> <tr><td>7</td><td>6 月 3 日</td><td>第7回 微生物と抗生物質</td></tr> <tr><td>8</td><td>6 月 10 日</td><td>第8回 ウイルス</td></tr> <tr><td>9</td><td>6 月 17 日</td><td>第9回 遺伝子操作における微生物の利用</td></tr> <tr><td>10</td><td>6 月 24 日</td><td>第10回 アルコール発酵</td></tr> <tr><td>11</td><td>7 月 1 日</td><td>第11回 アミノ酸の生産</td></tr> <tr><td>12</td><td>7 月 8 日</td><td>第12回 食物保存と微生物汚染</td></tr> <tr><td>13</td><td>7 月 15 日</td><td>第13回 極限環境微生物</td></tr> <tr><td>14</td><td>7 月 22 日</td><td>第14回 微生物による元素循環</td></tr> <tr><td>15</td><td>7 月 29 日</td><td>第15回 微生物による排水処理</td></tr> </tbody> </table>						回	月 日	テーマ・キーワード	1	4 月 8 日	第1回 微生物学の概念と歴史	2	4 月 22 日	第2回 微生物の取り扱い方	3	5 月 6 日	第3回 エネルギーの獲得方法	4	5 月 13 日	第4回 微生物の生育と条件	5	5 月 20 日	第5回 微生物の分類Ⅰ：微生物進化学と分類学	6	5 月 27 日	第6回 微生物の分類Ⅱ：古細菌・真核微生物	7	6 月 3 日	第7回 微生物と抗生物質	8	6 月 10 日	第8回 ウイルス	9	6 月 17 日	第9回 遺伝子操作における微生物の利用	10	6 月 24 日	第10回 アルコール発酵	11	7 月 1 日	第11回 アミノ酸の生産	12	7 月 8 日	第12回 食物保存と微生物汚染	13	7 月 15 日	第13回 極限環境微生物	14	7 月 22 日	第14回 微生物による元素循環	15	7 月 29 日	第15回 微生物による排水処理
回	月 日	テーマ・キーワード																																																			
1	4 月 8 日	第1回 微生物学の概念と歴史																																																			
2	4 月 22 日	第2回 微生物の取り扱い方																																																			
3	5 月 6 日	第3回 エネルギーの獲得方法																																																			
4	5 月 13 日	第4回 微生物の生育と条件																																																			
5	5 月 20 日	第5回 微生物の分類Ⅰ：微生物進化学と分類学																																																			
6	5 月 27 日	第6回 微生物の分類Ⅱ：古細菌・真核微生物																																																			
7	6 月 3 日	第7回 微生物と抗生物質																																																			
8	6 月 10 日	第8回 ウイルス																																																			
9	6 月 17 日	第9回 遺伝子操作における微生物の利用																																																			
10	6 月 24 日	第10回 アルコール発酵																																																			
11	7 月 1 日	第11回 アミノ酸の生産																																																			
12	7 月 8 日	第12回 食物保存と微生物汚染																																																			
13	7 月 15 日	第13回 極限環境微生物																																																			
14	7 月 22 日	第14回 微生物による元素循環																																																			
15	7 月 29 日	第15回 微生物による排水処理																																																			
<教科書・参考書> 「ベーシックマスター 微生物学」掘越弘毅監修 井上明編 オーム社																																																					

科目番号	36	科目名	遺伝子工学																																																		
英 文 科 目 名																																																					
大学・短期大学名	長浜バイオ大学																																																				
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地																																																				
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140																																																	
担 当 教 員	石川 聖人 (パイオサイエンス 学部)																																																				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																				
教 室 名	大講義室②	会場	長浜バイオ大学																																																		
授 業 期 間	2022 年 9 月 30 日 (金) ~ 2023 年 1 月 13 日 (金) <毎週 金曜日> 1 時限・講時 9 : 30 ~ 11 : 00																																																				
超過時の選考方法																																																					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)	0		%																																																	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	100		%																																																	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	0		%																																																	
	そ の 他 (成績が合格点に達しない場合には追加レポートを課すこともある。)	0		%																																																	
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円																																																				
その他特記事項																																																					
<講義概要・到達目標> 本講義は、近年飛躍的に発展した遺伝子組換え技術の基本的原理について理解を深めると共に、個々の技術の応用範囲についても解説し、遺伝子実験を効果的に進めるための方法論を教育する。具体的には、DNA分子の機能と特性、セントラルドグマへの理解と逆反応の発見並びに工学的応用、DNAの特異的切断と連結、ベクターの種類と性質、組換えDNA技術に用いられる各種制限酵素、修飾酵素の特性と用途、遺伝子クローニング法、細胞導入法に発現法、変異導入法などを具体的な事例と共に解説する。																																																					
<授業スケジュール> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月 日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9 月 30 日</td><td>第1回 遺伝子工学の歴史</td></tr> <tr><td>2</td><td>10 月 7 日</td><td>第2回 細菌の自己防衛手段1: 制限修飾系</td></tr> <tr><td>3</td><td>10 月 14 日</td><td>第3回 制限酵素の利用と応用</td></tr> <tr><td>4</td><td>10 月 21 日</td><td>第4回 細菌の自己防衛手段2: CRISPR-Casシステム</td></tr> <tr><td>5</td><td>10 月 28 日</td><td>第5回 ゲノム編集技術</td></tr> <tr><td>6</td><td>11 月 4 日</td><td>第6回 核酸の合成・分解・修飾酵素</td></tr> <tr><td>7</td><td>11 月 11 日</td><td>第7回 PCR法</td></tr> <tr><td>8</td><td>11 月 18 日</td><td>第8回 遺伝子の運び手: プラスミド・ファージ・トランスポゾン</td></tr> <tr><td>9</td><td>11 月 25 日</td><td>第9回 宿主と形質転換</td></tr> <tr><td>10</td><td>12 月 2 日</td><td>第10回 核酸の電気泳動とブロッティング</td></tr> <tr><td>11</td><td>12 月 9 日</td><td>第11回 塩基配列の決定方法</td></tr> <tr><td>12</td><td>12 月 16 日</td><td>第12回 塩基配列決定の先端技術</td></tr> <tr><td>13</td><td>12 月 23 日</td><td>第13回 遺伝子のライブラリーとクローニング</td></tr> <tr><td>14</td><td>1 月 6 日</td><td>第14回 遺伝子発現解析</td></tr> <tr><td>15</td><td>1 月 13 日</td><td>第15回 遺伝子と遺伝子産物の機能解析</td></tr> </tbody> </table>						回	月 日	テーマ・キーワード	1	9 月 30 日	第1回 遺伝子工学の歴史	2	10 月 7 日	第2回 細菌の自己防衛手段1: 制限修飾系	3	10 月 14 日	第3回 制限酵素の利用と応用	4	10 月 21 日	第4回 細菌の自己防衛手段2: CRISPR-Casシステム	5	10 月 28 日	第5回 ゲノム編集技術	6	11 月 4 日	第6回 核酸の合成・分解・修飾酵素	7	11 月 11 日	第7回 PCR法	8	11 月 18 日	第8回 遺伝子の運び手: プラスミド・ファージ・トランスポゾン	9	11 月 25 日	第9回 宿主と形質転換	10	12 月 2 日	第10回 核酸の電気泳動とブロッティング	11	12 月 9 日	第11回 塩基配列の決定方法	12	12 月 16 日	第12回 塩基配列決定の先端技術	13	12 月 23 日	第13回 遺伝子のライブラリーとクローニング	14	1 月 6 日	第14回 遺伝子発現解析	15	1 月 13 日	第15回 遺伝子と遺伝子産物の機能解析
回	月 日	テーマ・キーワード																																																			
1	9 月 30 日	第1回 遺伝子工学の歴史																																																			
2	10 月 7 日	第2回 細菌の自己防衛手段1: 制限修飾系																																																			
3	10 月 14 日	第3回 制限酵素の利用と応用																																																			
4	10 月 21 日	第4回 細菌の自己防衛手段2: CRISPR-Casシステム																																																			
5	10 月 28 日	第5回 ゲノム編集技術																																																			
6	11 月 4 日	第6回 核酸の合成・分解・修飾酵素																																																			
7	11 月 11 日	第7回 PCR法																																																			
8	11 月 18 日	第8回 遺伝子の運び手: プラスミド・ファージ・トランスポゾン																																																			
9	11 月 25 日	第9回 宿主と形質転換																																																			
10	12 月 2 日	第10回 核酸の電気泳動とブロッティング																																																			
11	12 月 9 日	第11回 塩基配列の決定方法																																																			
12	12 月 16 日	第12回 塩基配列決定の先端技術																																																			
13	12 月 23 日	第13回 遺伝子のライブラリーとクローニング																																																			
14	1 月 6 日	第14回 遺伝子発現解析																																																			
15	1 月 13 日	第15回 遺伝子と遺伝子産物の機能解析																																																			
<教科書・参考書> 基礎から学ぶ遺伝子工学(第2版) 田村隆明 著 羊土社																																																					

科目番号	37	科目名	近江でのSDGsの実践		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名		長浜バイオ		大学	
連 絡 先		滋賀県長浜市田村町1266番地			
		TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140
担 当 教 員		蔡 晃植		(バイオサイエンス 学部)	
実 施 方 法		対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名		-	会 場	-	
授 業 期 間		2022 年 10 月 未定日 (土) ~ 2022 年 12 月 未定日 (土) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :			
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		0	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0	%	
	そ の 他 (各回ごとに小テスト、レポート、発表などで評価する。)		100	%	
別 途 負 担 費 用		なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項		※フィールドトリップあり			
<講義概要・到達目標>					
2022年10月以降の土日祝祭日(4回) 土日祝祭日(90分×3時限分)					
※詳細は後日決定					
持続可能な開発目標であるSDGs(Sustainable Development Goals)とは、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標から構成される人間、地球および繁栄のための行動計画である。滋賀県は全国に先駆けて、2017年1月にSDGsを県政に取り込むことを宣言した。本科目ではまず、SDGsとは何か学び、SDGsで掲げるの17の目標とその目標達成への実践例なども学ぶことでSDGsへの理解を深める。また、SDGsでの目標を近江の地で実践していくためにはどのような行動計画を立ててどのように実践していけば良いのかを、グループワークを通してそれぞれが考え、それを皆で共有することで、将来の持続可能な社会の構想実現に寄与するための足がかりを得る。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	10 月 日	第1回 SDGsとは何か 第一時限 SDGsとは何か(経済・社会・環境の調和、5つのP、17の目標と169のターゲットの相関、指標)(講義)			
2		第1回 第二時限 滋賀県におけるSDGsへの取り組み、SDGsでの17の目標を達成するための様々な実践例(講義、演習)			
3		第1回 第三時限 竹生島の現状視察とSDGsの実践(フィールドワーク)			
4		第1回 第四時限 竹生島の現状視察とSDGsの実践(フィールドワーク)			
5		第1回 第五時限 竹生島におけるSDGsの実践(グループワーク)			

6	月 日	第2回 ①SDGsとは何か SDGsの5つのP(People:人間) 目標1,2,3,4,5,6の達成に向けて 第一時限 SDGsの目標1,2,3,4,5,6とは何か、取り組み例(講義)
7		第2回 第二時限 SDGsの目標1,2,3,4,5,6に対する意見、滋賀で目標1,2,3,4,5,6を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
8		第2回 ②SDGsとは何か SDGsの5つのP(Prosperity:豊かさ) 目標7,8,9,10,11の達成に向けて 第三時限 SDGsの目標7,8,9,10,11とは何か、取り組み例(講義)
9		第2回 第四時限 SDGsの目標7,8,9,10,11に対する意見、滋賀で目標7,8,9,10,11を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
10	月 日	第3回 ①SDGsとは何か SDGsの5つのP(Planet:地球) 目標12,13,14,15の達成に向けて 第一時限 SDGsの目標12,13,14,15とは何か、取り組み例(講義)
11		第3回 第二時限 SDGsの目標12,13,14,15に対する意見、滋賀で目標12,13,14,15を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
12		第3回 ②SDGsとは何か SDGsの5つのP(Peace:平和)と(Partnership) 目標16,17の達成に向けて 第三時限 SDGsの目標16,17とは何か、取り組み例(講義)
13		第3回 第四時限 SDGsの目標16,17に対する意見、滋賀で目標16,17を達成することに寄与する取り組み(グループワーク等)
14	月 日	第4回 SDGsの概念を体験する 第一時限 SDGsにおける経済・社会・環境の調和を体験する①(SDGsカードを利用したグループワーク等)
15		第4回 第二時限 SDGsにおける経済・社会・環境の調和を体験する②(SDGsカードを利用したグループワーク等)
＜教科書・参考書＞		
必要に応じて資料を配付する。		

科目番号	38	科目名	子ども学総論		
英 文 科 目 名	General Remarks of Child Studies				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL : 0748-35-0002		FAX : 0748-23-7202		
担 当 教 員	渡辺 雅幸、烏野 猛、南 雅則 (教育福祉 学部 准教授、教授、教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	1107(大)講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2022 年 4 月 12 日 (火) ~ 2022 年 7 月 26 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		0	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		0	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40	%	
	そ の 他 (授業での課題(試験含む))		60	%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	3名の担当者の総合評価で行う				
<講義概要・到達目標> 3人の担当者が、心理学、福祉法学、教育学それぞれの専門領域から「子ども学」の研究方法や内容、課題について概説する。また「子ども」に関わる諸課題について、各々の専門領域での検討枠組みの基本的理解をおさえたうえで、その枠組みを超えたアプローチ方法について考察を行う。オムニバス形式であるものの、ディベートや、グループディスカッションを踏まえた講義を展開する。 ①「子ども学」の概要について説明できる。 ②心理学、社会福祉学、教育学の各分野で用いられる基礎的な用語・概念について説明できる。 ③「子ども」に対し、学術的背景を踏まえて対応するための基礎的な知識や考え方・態度を身につけることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 12 日	導入:授業の概要、「子ども」の今と昔			
2	4 月 19 日	「子ども」の貧困			
3	4 月 26 日	「子ども」主体の学び			
4	5 月 10 日	子育て支援制度			
5	5 月 17 日	途上国の「子ども」			
6	5 月 24 日	子ども領域における裁判事例①			
7	5 月 31 日	子どもと虐待についての判例考察			
8	6 月 7 日	子どもと親権についての判例考察			
9	6 月 14 日	保育所・幼稚園における事故の判例考察			
10	6 月 21 日	小学校以上の教育現場における事故の判例考察			
11	6 月 28 日	子どもの成長と今日的課題			
12	7 月 5 日	対人関係と発達			
13	7 月 12 日	社会性の発達			
14	7 月 19 日	個人と環境のマッチング			
15	7 月 26 日	つまづきの理解と支援			
<教科書・参考書> 必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。講義が始まってから、各教員の指示に従って下さい。					

科目番号	39	科目名	滋賀の環境		
英 文 科 目 名	Environment of Shiga				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL : 0748-35-0002		FAX : 0748-23-7202		
担 当 教 員	佐々木 和之 (教育福祉 学部 非常勤講師)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	2102(第6)講義室		会場	びわこ学院大学	
授 業 期 間	2022 年 9 月 27 日 (火) ～ 2023 年 1 月 24 日 (火) ＜毎週 火曜日＞ 1 時限・講時 9 : 00 ～ 10 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		28		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		48		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0		%
	そ の 他 (レポート(博物館見学等))		24		%
別 途 負 担 費 用	なし あり (博物館見学の観覧料・交通費)円				
そ の 他 特 記 事 項	学外授業(琵琶湖博物館見学)は1月上旬頃の土or日曜日に実施予定(授業3回分)				
＜講義概要・到達目標＞					
近年、環境学習の重要性が高まっている。身近に「環境」をうたうものが溢れる中、この講義では滋賀という場を通じて「環境」を捉え直す。前半では、人間生活と生き物の視点から滋賀の環境を捉え、環境に対する取り組みや、環境の認識について学ぶ。後半では、いかに子ども達へ環境問題を伝えるかをテーマとして、博物館見学なども踏まえながら、演習も行っていく。					
① 環境問題を子ども達へ伝えることをテーマとして、各自が滋賀の環境を認識することができる。 ② 各自が環境への関わり方についての視座を持つことができる。 ③ 身近な環境問題について、複数の視点から問題を捉え、論点を明確に表現できる。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	9 月 27 日		キャンパスで見つける滋賀の自然		
2	10 月 4 日		市民活動と環境		
3	10 月 11 日		環境学習		
4	10 月 18 日		人と環境		
5	10 月 25 日		人と自然		
6	11 月 8 日		環境の認識		
7	11 月 15 日		環境の調べ方		
8	11 月 22 日		グリーン購入運動を通じた環境への関わり		
9	11 月 29 日		環境をテーマとした学習計画		
10	12 月 6 日		滋賀県の生物多様性とその保全		
11	12 月 13 日		琵琶湖博物館見学		
12	12 月 20 日		学びを誘う学習プログラムの立案		
13	1 月 10 日		学習のまとめと評価・授業計画と実施における視点		
14	1 月 17 日		地域の魅力を調べる「地域調べ」		
15	1 月 24 日		地域調べの記録化と活用		
＜教科書・参考書＞					
適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	40	科目名	メンタルトレーニング論		
英 文 科 目 名	Mental Training Theory				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL : 0748-35-0002		FAX : 0748-23-7202		
担 当 教 員	竹内 早耶香 (教育福祉 学部 講師)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	5201講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2022 年 4 月 8 日 (金) ~ 2022 年 7 月 22 日 (金) <毎週 金 曜 日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		0	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		50	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0	%	
	そ の 他 (授 業 で の 課 題)		50	%	
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円				
そ の 他 特 記 事 項					
＜講義概要・到達目標＞ 本授業では、アスリートの実力発揮やパフォーマンスの向上に関係する様々な心理的現象について理解を深めるとともに、自身の日常生活及び競技に対する姿勢について再考することを目指す。そこでは、心理スキルトレーニング方法の習得はもちろん、スキルトレーニングを通じて自身の心理的課題への克服に取り組む。体験的な理解を深める目的から、講義時に実習を予定している。 ① メンタルトレーニングの理論的背景を理解し、説明することができる。 ② アスリートが遭遇する、心理的現象に関する知識を習得し、説明することができる。 ③ 日常生活及び競技に対する姿勢について再考する態度を身につけ、自身の生活に応用することができる。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 8 日	オリエンテーション			
2	4 月 15 日	メンタルトレーニングの理論的背景			
3	4 月 22 日	メンタルトレーニングの実際① アセスメント			
4	4 月 29 日	メンタルトレーニングの実際② セルフモニタリング			
5	5 月 13 日	メンタルトレーニングの実際③ リラクセーション			
6	5 月 20 日	メンタルトレーニングの実際④ 目標設定			
7	5 月 27 日	メンタルトレーニングの実際⑤ メンタルマネジメント			
8	6 月 3 日	メンタルトレーニングの実際⑥ メンタル・ブロック			
9	6 月 10 日	メンタルトレーニングの実際⑦ ピークパフォーマンス			
10	6 月 17 日	メンタルトレーニングの実際⑧ 集中力			
11	6 月 24 日	メンタルトレーニングの実際⑨ 行動変容技法			
12	7 月 1 日	メンタルトレーニングの実際⑩ バイオフィードバック技法			
13	7 月 8 日	メンタルトレーニングの実際⑪ フォローアップ			
14	7 月 15 日	心理サポートの実際			
15	7 月 22 日	まとめ			
＜教科書・参考書＞ 必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	41	科目名	レクリエーション論		
英 文 科 目 名	Recreation Theory				
大学・短期大学名	びわこ学院大学			短期大学部	
連 絡 先	びわこ学院大学短期大学部 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担 当 教 員	山ノ井 勉 (ライフデザイン 学科 講師)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	2101(第7)講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2022 年 4 月 6 日(水)～ 2022 年 7 月 20 日(水) ＜毎週 水曜日＞ 4 時限・講時 14 : 40 ～ 16 : 10				
超過時の選考方法	抽選				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		30	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		30	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40	%	
	そ の 他 (授業での課題(試験含む))		0	%	
別 途 負 担 費 用	なし ☐ あり ☐)円				
そ の 他 特 記 事 項	レクリエーションの実践において、物品等の購入が必要となる場合がある。				
＜講義概要・到達目標＞					
社会または地域におけるレクリエーションの意義について、「なぜレクリエーションが必要なのか」を問いかけながら理解を深めていくと同時に、グループワークでの具体的なレクリエーション活動の計画・実践を通して、レクリエーション活動を展開する上での基礎的なスキルを習得します。					
① 現代社会におけるレクリエーションの意義および理念が理解できる。 ② レクリエーション実践のための基礎的なスキルを習得することができる。					
＜授業スケジュール＞					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	4 月 6 日		オリエンテーション		
2	4 月 13 日		レクリエーションの歴史と人間社会		
3	4 月 20 日		レクリエーションの活動領域		
4	4 月 27 日		日常生活とレクリエーション		
5	5 月 11 日		レクリエーションの参加者と支援者の役割		
6	5 月 18 日		個人・集団のレクリエーション		
7	5 月 25 日		社会福祉におけるレクリエーション活動		
8	6 月 1 日		中間まとめ【授業内試験(レポート)】		
9	6 月 8 日		レクリエーションの企画と実際		
10	6 月 15 日		近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践①		
11	6 月 22 日		近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践②		
12	6 月 29 日		レクリエーション活動の実際①		
13	7 月 6 日		レクリエーション活動の実際②		
14	7 月 13 日		レクリエーション活動の実際③		
15	7 月 20 日		授業の振り返り【授業内試験(計画書の作成)】		
＜教科書・参考書＞					
必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	42	科目名	生活と福祉		
英 文 科 目 名	Life and Welfare				
大学・短期大学名	びわこ学院大学			短期大学部	
連 絡 先	びわこ学院大学短期大学部 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担 当 教 員	山ノ井 勉 (ライフデザイン 学科 講師)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	1107(大)講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2022 年 9 月 12 日 (月) ~ 2023 年 1 月 23 日 (月) <毎週 月曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		0	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		70	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		20	%	
	そ の 他 (授 業 での課題(試験含む))		10	%	
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項	授業終了前にミニツツペーパーを実施します。				
<講義概要・到達目標>					
人間の生活において、福祉というのは大変重要な部分を占めていると考えられます。そこで、本講義では、これまでの人間の暮らしに関する社会福祉の理論や歴史等について学びつつ、現在までの生活や福祉に関わる社会制度のあり方や役割等について学びます。また、介護福祉士の資格試験に向けた対策も行う。そのため、振り返りシートの実施や、授業で取り組む課題について能動的な取り組みが必要となります。					
① 生活と福祉との関係について理解し、基本的知識を習得することができる。 ② 少子高齢社会など現代社会の課題を理解し、地域に貢献できる社会人としての基本的な姿勢・態度を身につけることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月日		テーマ・キーワード		
1	9 月 12 日		オリエンテーション		
2	9 月 19 日		生活と福祉		
3	9 月 26 日		社会福祉の理論① 社会福祉と社会保障		
4	10 月 3 日		社会福祉の理論② 社会保障論		
5	10 月 10 日		社会福祉の理論③ 相談支援		
6	10 月 17 日		社会福祉の理論④ 相談支援		
7	10 月 24 日		中間まとめ【授業内試験(筆記)】		
8	10 月 31 日		高齢者に対する支援①		
9	11 月 21 日		高齢者に対する支援②		
10	11 月 28 日		子どもに対する支援①		
11	12 月 5 日		子どもに対する支援②		
12	12 月 12 日		福祉にかかわる諸制度①		
13	12 月 19 日		福祉にかかわる諸制度②		
14	1 月 16 日		福祉にかかわる諸制度③		
15	1 月 23 日		振り返り【授業内試験(レポート)】		
<教科書・参考書>					
必要に応じ、適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	43	科目名	栄養と健康				
英 文 科 目 名		Nutrition and Health					
大学・短期大学名		びわこ成蹊スポーツ				大学	
連 絡 先		大津市北比良1204番地					
		TEL :		077-596-8420		FAX : 077-596-8429	
担 当 教 員		武田 哲子				(スポーツ 学部 准教授)	
実 施 方 法		対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用	
教 室 名		未定		会場			
授 業 期 間		2022 年 9 月 29 日 (木) ~ 2022 年 1 月 19 日 (木) <毎週 木曜日> 2 時限・講時 10 : 50 ~ 12 : 30					
超過時の選考方法							
成 績 評 価 方 法		定 期 試 験 (筆 記)				30 %	
		レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				40 %	
		平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%	
		そ の 他 (中 間 試 験)				30 %	
別 途 負 担 費 用		なし					
その他特記事項							
<講義概要・到達目標> 人の体は食べたものからできている。何を、どのように食べるかは健康的な生活を送るために重要な課題である。この授業では食事の働きについて理解し、健康的な生活を実践するために必要な知識を修得することを目的とする。							
<授業スケジュール>							
回	月日	テーマ・キーワード					
1	9 月 29 日	ガイダンスと食事と健康に関する概説					
2	10 月 6 日	エネルギー源					
3	10 月 13 日	身体づくり					
4	10 月 20 日	身体の機能調節					
5	10 月 27 日	健康のための身体づくりの評価					
6	11 月 10 日	食生活の把握					
7	11 月 17 日	前半授業と達成度チェック					
8	11 月 24 日	成長期の食事の課題(身体的特徴と食生活)					
9	12 月 1 日	思春期の食事の課題					
10	12 月 8 日	成長期や思春期における食育					
11	12 月 15 日	成人期の食事の課題(肥満、メタボリックシンドローム)					
12	12 月 22 日	高齢期の食事の課題(骨・筋の健康維持)					
13	1 月 12 日	栄養教育の概論					
14	1 月 19 日	栄養教育の実践方法					
15	月 日	(※100分授業のため全14回で実施)					
<教科書・参考書> 適宜紹介する。							

科目番号	44	科目名	スポーツ社会学概論		
英 文 科 目 名	Introduction of Sport Sociology				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連 絡 先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担 当 教 員	佐藤 馨 (スポーツ 学部 准教授)				
実 施 方 法	対面授業 (遠隔授業) 対面・遠隔併用				
教 室 名	未定		会 場		
授 業 期 間	2022 年 9 月 26 日 (月) ~ 2023 年 1 月 23 日 (月) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		65		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (確 認 テ ス ト / 小 レ ポ ー ト)		30 / 5		%
別 途 負 担 費 用	なし				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標> スポーツ社会学では、スポーツの場面での人の行為や行動、スポーツに関わる組織やスポーツを通じて起こる社会現象や変動を学習する。講義では、スポーツに関連する事象を「人種・民族」「ジェンダー」「暴力」「マスメディア」「ドーピング」「政治」のテーマからスポーツに包含される課題を学ぶ。特にドーピングについては、学習指導要領「スポーツの歴史・文化的特徴と現代的特徴」において、それがスポーツの文化的価値を失わせる行為であることを過去の事例から理解し、その指導方法や授業計画の立て方について検討する。					
<授業スケジュール>					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	月 日	スポーツ社会学概論:ガイダンスおよびスポーツ社会学の概説			
2	月 日	社会学とスポーツ スポーツにおける社会学の位置づけ			
3	月 日	社会学とスポーツ スポーツをする行為と社会による影響			
4	月 日	人種・民族とスポーツ 人種・民族とスポーツとの関わり			
5	月 日	人種・民族とスポーツ 歴史的にみたスポーツにおける人種・民族問題			
6	月 日	ジェンダーとスポーツ ジェンダーとは何か			
7	月 日	ジェンダーとスポーツ らしさとスポーツ			
8	月 日	ドーピングとスポーツ			
9	月 日	スポーツとメディア メディアがスポーツに与える影響			
10	月 日	スポーツとメディア スポーツの「見せ方」「あつかい方」			
11	月 日	スポーツとガバナンス			
12	月 日	スポーツとハラスメント			
13	月 日	スポーツと政治 スポーツと政治との結びつき			
14	月 日	スポーツと政治 スポーツにおけるテロリズム			
15	月 日	(※100分授業のため全14回で実施)			
<教科書・参考書> 『Sport in Society 7th Ed』Coakley, J.J., Boston; MacGraw-Hill, 2001 『スポーツの社会学』池田勝,守能信次編 杏林書院 1998 『現代スポーツの社会学-課題と共生への道のり-』J.コークリー,P.ドネリー著、前田和司,大沼義彦,村松和則 共編訳,南窓社,2011					

科目番号	45	科目名	レジャー・レクリエーション論		
英 文 科 目 名	Study of Leisure and Recreation				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連 絡 先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担 当 教 員	佐藤 馨 (スポーツ 学部 准教授)				
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	未定		会 場		
授 業 期 間	2022 年 4 月 13 日 (水) ~ 2022 年 7 月 20 日 (水) <毎週 水曜日> 3 時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 50				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			50	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			35	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (確 認 テ ス ト)			15	%
別 途 負 担 費 用	なし				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標> 日本では経済活動だけでなく生活や人生を豊かにするレジャーやレクリエーション活動に目を向け、その重要性を再認識する時期と言える。本講義は、日常生活におけるレジャー・レクリエーションの意義や価値を理解するとともに、レクリエーション支援者として必要な基礎知識を習得する。さらに学習指導要領のスポーツ概論「豊かなスポーツライフの設計」にある、各ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方を理解し、指導時に活用できる知識を学ぶ。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 13 日	レジャー・レクリエーション論:ガイダンスおよびレジャー・レクリエーション論の概説			
2	4 月 20 日	レジャー・レクリエーションの考え方①レジャー・レクリエーションとは何か			
3	4 月 27 日	レジャー・レクリエーションの考え方②現代社会において、なぜレジャー・レクリエーションは必要か			
4	5 月 11 日	日本人の余暇生活			
5	5 月 18 日	諸外国における余暇生活			
6	5 月 25 日	前半までの授業のまとめと確認			
7	6 月 1 日	社会福祉とレクリエーション①福祉におけるレクリエーションの意味			
8	6 月 8 日	社会福祉とレクリエーション②セラピューティックレクリエーションの意味			
9	6 月 15 日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたサービスモデルの活用①余暇活用モデル、健康維持・増進モデル			
10	6 月 22 日	セラピューティックレクリエーションの視点からみたレクリエーションサービスモデルの活用②楽しさ向上モデル、TRサービスモデル			
11	6 月 29 日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用①レクリエーション活用事例			
12	7 月 6 日	レクリエーションによる対人関係能力向上モデルの活用②プログラムの作成方法			
13	7 月 13 日	現場におけるセラピューティックレクリエーションの活用			
14	7 月 20 日	レジャー・レクリエーションとスポーツと健康の関わり②21世紀のレジャー・レクリエーション			
15	月 日	(※100分授業のため全14回で実施)			
<教科書・参考書> 『現代人とレジャー・レクリエーション』余暇問題研究所編著 不昧堂 1997 『レクリエーション・マネジメント』(財)日本レクリエーション協会編 大修館書店 1994 『レクリエーション活動援助法』吉田圭一、茅野宏明編 ミネルヴァ書房 2007 『レクリエーション援助』千葉和夫編 メヂカルフレンド社 1997 『余暇学を学ぶ人のために』日本余暇学会監修 世界思想社 2004 『地域福祉論』市川一宏、牧里毎治編著 ミネルヴァ書房 2007					

科目番号	46	科目名	スポーツバイオメカニクス		
英 文 科 目 名	Sport Biomechanics				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ			大学	
連 絡 先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担 当 教 員	高橋 佳三 (スポーツ 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	未定		会場		
授 業 期 間	2022 年 4 月 15 日 (金) ~ 2022 年 7 月 22 日 (金) <毎週 金曜日> 4 時限・講時 15 : 00 ~ 16 : 40				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)			90	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				%
	そ の 他 (毎 回 の 小 テ ス ト)			10	%
別途負担費用	なし				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標> スポーツバイオメカニクスとは、「スポーツにおける運動、ヒト、用具、施設のふるまいを力学的観点から研究するスポーツ科学の基礎的領域の一つ」である。この講義では、様々なスポーツの動作について「動作をバイオメカニクスの観点から考える」ことを学び、スポーツの動作についてより深く観察、考察できるようになることを目的とする。基礎的な力学的計算ができ、動作の力学的な原理・原則を理解できるようになることで、スポーツの動作を力学的な視点で観察し、考察できるようになる。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 15 日	スポーツバイオメカニクスとは？(イントロダクション)			
2	4 月 22 日	スポーツ技術とはなにか？			
3	5 月 6 日	速度、ピッチ、ストライド			
4	5 月 13 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(1): 重心			
5	5 月 20 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(2): 運動と力			
6	5 月 27 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(3): 運動量と力積(Ⅰ)			
7	6 月 3 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(4): 運動量と力積(Ⅱ)			
8	6 月 10 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(5): 仕事と力学的エネルギー			
9	6 月 17 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(6): 回転運動と慣性モーメント			
10	6 月 24 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(7): 回転運動と角運動量			
11	7 月 1 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(8): 流体力1(空気の流れと物体の形状、ボールの回転)			
12	7 月 8 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(9): 流体力2(水の流れと物体の動き)			
13	7 月 15 日	スポーツバイオメカニクスの基礎(10): 良い動きのバイオメカニクスの原則			
14	7 月 22 日	まとめ:授業の総合解説			
15	月 日	(※100分授業のため全14回で実施)			
<教科書・参考書> 教科書は、特に指定しない。 「スポーツバイオメカニクス」深代千之、桜井伸二、平野裕一、阿江通良 編著、朝倉書店・ 「スポーツバイオメカニクス20講」阿江通良、藤井範久 著、朝倉書店・ 「バイオメカニクスで読み解く スポーツ動作の科学」深代千之、川本竜史、石毛勇介、若山章信 著、東京大学出版会					

科目番号	47	科目名	哲学入門	
英 文 科 目 名	Introduction to Philosophy			
大学・短期大学名	びわこリハビリテーション専門職		大学	
連 絡 先	事務センター 学生支援グループ			
	TEL :	0749-46-2311	FAX :	0749-46-2313
担 当 教 員	堀 寛史 (リハビリテーション 学部 講師)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	(未定)	会場	びわこリハビリテーション専門職大学	
授 業 期 間	2022 年 4 月 13 日 (水) ~ 2022 年 6 月 8 日 (水) <毎週 水 曜 日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 14 : 50			
超過時の選考方法	出願書類をもとに選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	—		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	80		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	20		%
	そ の 他 ()	—		%
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円			
そ の 他 特 記 事 項	・レポート提出は2回。 ・授業で配布した資料で、授業内容を復習しておく。授業の内容に関係のあるニュース、文学、映画、漫画などがあれば、それに関心を持つ。 ・授業の基本はアクティブラーニングとし、グループワークによって自分の考えをお互いに話す形式で行う。			
＜講義概要・到達目標＞				
哲学の本質を初級者向けに解説しながら、哲学史の流れに沿って哲学の概論を講義する。西洋哲学以外の学問分野との関連づけもはかりながら古代ギリシア以来の哲学思想を西洋哲学史の流れに沿って近代の入り口まで紹介し、自分が既に習得しているさまざまな知識とうまく関係づけながら、哲学の歴史と基本用語を習得することを目指す。それにより、最終的に、履修者自らが自分自身の世界観、人生観を構築する手掛かりを得られるようになることを目指す。				
＜授業スケジュール＞				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 13 日	哲学とはなにか① ギリシア哲学における真・善・美について		
2	4 月 20 日	哲学とはなにか② 桃太郎の鬼退治は善なる行動なのか？		
3	4 月 27 日	私とはだれか① 近代哲学の幕開け(デカルトの思想)		
4	5 月 11 日	私とはだれか② 淀シンジが求めた私とはだれなのか？		
5	5 月 18 日	道徳とは何か、カントの悟性と理性		
6	5 月 25 日	道徳とはなにか② アンパンマンはなぜ暴力で解決するのか？		
7	6 月 1 日	概念とはなにか① 意味・理由を知る		
8	6 月 8 日	概念とはなにか② ワンピース(ひとつなぎの大秘宝)は本当にあるのか？		
9	月 日			
10	月 日			
11	月 日			
12	月 日			
13	月 日			
14	月 日			
15	月 日			
＜教科書・参考書＞				
・教科書： なし(資料を授業中に配布する。)				
・参考書： 堀 寛史『痛みの存在意義 臨床哲学と理学療法学の視座』(大学教育出版)				

科目番号	48	科目名	生活の中の数学	
英 文 科 目 名	Mathematics in Daily Life			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	麓井 徳充 (瀬田教学部 非常勤講師)			
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場		
授 業 期 間	2022 年 4 月 13 日 (水) ~ 2022 年 7 月 27 日 (水) <毎週 水 曜日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40	%
	そ の 他 (レポートを複数回実施する。)		60	%
別 途 負 担 費 用	(なし)		あり () 円	
そ の 他 特 記 事 項				
<講義概要・到達目標> ■【講義概要】 受験終了と同時に、数学とはすっかり無縁になってしまう人が多いかもしれない。しかしそうした数学も、実際には深く生活と結びついており、なくてはならないものとなっている。 この講義では、日常生活の中で出会うさまざまな事物や事象について、数学的な考察をし、その数学的な内容を理解し活用できる視点を養っていく。そして何よりも数学を楽しみながらその風景を展望していただきたい。 なお、受講者の状況やその他の理由により、講義内容を変更する場合がある。 ■【到達目標】 日常生活で見られる事物・事象と数学の関連について学び、数学がどのように活用されているか説明することができる。 ■【授業時間外における予・復習等の指示】 予習は特に必要はないが、復習メインで小テストやレポートに備えてほしい。 ■【講義方法】 対面が原則ですが、諸事情によりオンライン授業となる場合がある。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	4 月 13 日	地球を測ろう1(三角比の活用)		
2	4 月 20 日	地球を測ろう2(三角比の活用)		
3	4 月 27 日	証明してみよう1(論理の活用)		
4	5 月 11 日	証明してみよう2(論理の活用)		
5	5 月 18 日	パラドクスの不思議1(無限と逆説)		
6	5 月 25 日	パラドクスの不思議2(無限と逆説)		
7	6 月 1 日	問題を解こう1(まとめの演習)		
8	6 月 8 日	問題を解こう2(まとめの演習)		
9	6 月 15 日	レポート課題 1		
10	6 月 22 日	議席はどうやって決まるの？(公平な分配)		
11	6 月 29 日	座席替えのはなし1(乱列)		
12	7 月 6 日	座席替えのはなし2(乱列)		
13	7 月 13 日	優勝チームの決め方1(組合せと確率)		
14	7 月 20 日	優勝チームの決め方2(組合せと確率)		
15	7 月 27 日	レポート課題 2		
<教科書・参考書>				
特になし				

科目番号	49	科目名	里山学
英 文 科 目 名	SATOYAMA Studies: The sustainable interaction of nature and humans in landscape		
大学・短期大学名	龍谷 大学		
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5		
	TEL :	077-543-7739	FAX : 077-543-7674
担 当 教 員	宮浦 富保 (全13名) (先端理工 学部 教授)		
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用		
教 室 名		会場	
授 業 期 間	2022 年 4 月 11 日 (月) ~ 2022 年 7 月 25 日 (月) <毎週 月 曜日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00		
超過時の選考方法	書類選考		
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%
	そ の 他 (小 テ ス ト ・ レ ポ ー ト)	50・50	%
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円		
そ の 他 特 記 事 項	レポートと小テストを併用して成績評価を行います。 講義担当者によって、レポートを課したり、小テストを課したりします。 小テストが課されている場合は、すべてに解答してください。 レポート課題については、二つの課題(講義回)を選んで提出してください。 レポート提出の期限は、7月19日21:00です。 小テストの百点満点に換算した得点平均値と、レポートの百点満点に換算した得点平均値を、小テストの回数とレポート課題の提示数で重み付けして成績を算出します。 小テストの百点満点に換算した得点を x_i , レポートの百点満点に換算した得点を y_j とし、小テストの回数を m , レポート課題の提示数を n とすると、成績は次のように計算されます。 成績 = $(\sum x_i + n \sum y_j / 2) / (m+n)$ 注: レポート課題については、すべての課題ではなく二つの課題を選んで提出するため、このような計算になります。 例えば、小テストが4回あり、それらの百点満点に換算した得点が70, 80, 90, 60 で、レポートの課題提示が11回で、提出した二つのレポートの百点満点に換算した得点が50, 80 だとすると、 成績 = $(70+80+90+60 + 11*(50+80)/2) / (4+11) = 67.6666\cdots$ となります。最終的な成績は、小数点以下を切り上げて68点となります。		

<講義概要・到達目標>

■【講義概要】

里山は、人間が長期にわたって手を入れ、自然と多様な形で関わり、自然と共生することによって、人間同士との共存を可能にしてきた場所であった。日本の生物の多様性の一部は里山の存在によって維持されてきたということも明らかになりつつある。ところがエネルギー革命と農業革命のため里山は放置され、都市の膨張とともに開発のターゲットにされてきた。生物多様性を維持し、人間の生活を支え、日本文化の形成にも密接に関連していたと考えられる里山が失われようとしている。「里山学」では、里山の環境、動植物、歴史、里山と文化・制度との関わりなどについて、複数の教員が講義する。

■【到達目標】

里山といわれる環境について、その歴史や現状を理解し説明することができる。里山を代表とする身近な自然環境と人間との関係について、自分自身の意見を持ち表明することができる。

■【講義方法】

複数教員によるチェーンレクチャーであり、それぞれの教員ごとにいろいろな方法で講義する。

■【授業時間外における予・復習等の指示】

コロナ禍の状況により、授業の進め方を変更します。manabaの掲示板を利用して指示しますので、頻繁にチェックしてください。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 11 日	里山の歴史と現状(宮浦富保)
2	4 月 18 日	里山の環境倫理(村澤真保呂)
3	4 月 25 日	染織文化をささえる有用植物(落合雪野)
4	5 月 2 日	SDGsと里山(村澤真保呂)
5	5 月 9 日	里山の所有と利用(鈴木龍也)
6	5 月 16 日	里山と昆虫(太田真人)
7	5 月 23 日	瀬田地域の里山の歴史(林珠乃)
8	5 月 30 日	考古植物学から提案する新しい小麦生産(丹野研一)
9	6 月 6 日	里山での児童・幼児教育(田岡由美子)
10	6 月 13 日	里山とグローバル化(椿原敦子)
11	6 月 20 日	里山が放置され、増える生きものと減る生きもの(須藤明子)
12	6 月 27 日	食と文化(川西豪志・山崎英恵)
13	7 月 4 日	人と自然の関係～森からの思想(帖地孝人)
14	7 月 11 日	花粉で探る過去の里山環境(林竜馬)
15	7 月 25 日	里山のバイオマス資源(宮浦富保)

<教科書・参考書>

■【テキスト】講義時間内に教員ごとに指示する。

■【参考文献】講義時間内に教員ごとに指示する。

丸山徳次・宮浦富保『里山学のすすめ』(昭和堂)2,310円 (ISBN:9784812207383)

丸山徳次・宮浦富保『里山学のまなざし』(昭和堂) 2,310円 (ISBN:9784812209165)

村澤真保呂・牛尾洋也・宮浦富保『里山学講義』(晃洋書房) 2,500円 (ISBN:9784771026339)

科目番号	50	科目名	環境の科学	
英 文 科 目 名	Environmental Science			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	奥田 哲士 (先端理工 学部 教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名			会場	
授 業 期 間	2022 年 9 月 26 日 (月) ~ 2023 年 1 月 16 日 (月) <毎週 月 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	小テスト		70 (ほぼ毎回行う)	%
	レポート		30 (数回行う)	%
別 途 負 担 費 用	なし あり()円			
そ の 他 特 記 事 項	レポートと小テストの比率は変更する場合がある。 毎回、約6点分程度の小テストやレポートを課すことで、数回の欠席では大幅な減点はされないように配慮しているため、各種の別の実習などの公欠であっても基本的には補習や追試は行わない(他の回をしっかりと勉強し、欠席会を補える評価を得ること)。			
<講義概要・到達目標> ■【講義概要】 環境問題は、鉱毒事件のような公害問題に始まり、ダイオキシンなどの微量汚染物質問題、地球温暖化などの生活様式やエネルギー利用を根本的に考え直さなければならぬような環境問題へと移り変わっている。本講義では、指定テキストを通じて、さまざまな環境問題の概要や原因・本質、実態、対応や取り組みについての基礎知識を深めることに加え、各自が今後どのようにすべきか(ソリューション)について考えることにチャレンジする。 ■【到達目標】 さまざまな環境問題とその対策法の基礎知識を網羅的に身につける事ができ、新たな環境問題の解決法の立案についての基礎を確立できる。 ■【講義方法】 対面を基本とするが、場合によっては一部をオンラインでの受講や質問(主に講義時間中とオフィスアワー時に、オンラインでも可能)あるいはそれらを利用(併用)した対面講義とする。 毎回、教科書を毎回10-20ページ予習してもらった上で、最新の情報等を配布資料(PDF)、スライド、動画などで補足する(場合によっては音声説明付きの動画なども利用)。 ■【授業時間外における予・復習等の指示】 テキスト(教科書)の予習を徹底した聴講に期待する。 ■【履修上の注意】 初回にmanaba利用の注意点(追試を行わない事やカンニング扱い事項等)詳しく説明するので、初回、参加できない場合は初回以降、早急に担当教員に直接相談する事。 急、あるいは直前の変更・連絡はmanabaのニュースを予定している。				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	9 月 26 日	ガイダンス（manaba等オンライン教材の説明と実習含む）、学修内容の概要、環境問題とは
2	10 月 3 日	環境問題の基本□
3	10 月 10 日	大気・水の循環とエネルギー□
4	10 月 17 日	各種物質の循環□
5	10 月 24 日	マテリアルフロー等
6	10 月 31 日	各種環境指標・リスク等
7	11 月 7 日	温暖化の現状
8	11 月 14 日	温暖化の今後や対策技術等
9	11 月 21 日	大気環境
10	11 月 28 日	水環境・土壌環境
11	12 月 5 日	森林と砂漠化等
12	12 月 12 日	生物多様性等
13	12 月 19 日	都市化の問題（場合によってはワークショップ）
14	12 月 26 日	ライフスタイル等（場合によってはワークショップ）
15	1 月 16 日	ソリューション法等（場合によってはワークショップ）、確認小テスト
＜教科書・参考書＞ ■【テキスト】 テキスト（教科書）の購入が必要である。2回目講義までに、必ず最新の版を入手する事。 西岡秀三ほか『改訂新版 地球環境がわかる』（技術評論社）1,880円（ISBN:9784774171814） ■【参考文献】 石川 宗孝 編著／ 竺 文彦 他著『環境読本—環境をいかに学び、いかに対処するか』（電気書院） 2,700円（ISBN:9784485220160）		

科目番号	51	科目名	社会人類学	
英 文 科 目 名	Social Anthropology			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	椿原 敦子 (社会 学部 准教授)			
実 施 方 法	対面授業 <u>遠隔授業</u> 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場	瀬田	
授 業 期 間	2022 年 4 月 8 日 (金) ~ 2022 年 7 月 15 日 (金) <毎週 金 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		50	%
			【備考】 期末レポート	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		50	%
			【備考】 小レポート・小テスト提出による評価	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用	<u>なし</u> あり()円			
そ の 他 特 記 事 項	【授業時間外における予・復習等の指示】 授業後の復習を行い、課題を作成・提出すること 【履修上の注意・担当者からの一言】 毎回の授業時に提出する小レポートでの感想・質問を重視し、状況に応じて適宜内容を変更します。授業に「来ている」だけでは評価点はつきません 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 授業時間内に指示			
<講義概要・到達目標> 【講義概要】 人類学は、「社会・文化とは何か」を問う学問領域であると同時に「異なるとはどういうことか」についても考えてきました。人類学が扱ってきた「異なる」社会や文化とは、料理や服装、お祭りなどの違い以上のことを指しています。 本講義では「私たち」と「他の人々」の間にある大きな違いと、意外によく似た所の両方に目を配りながら、私たちが無意識に持っているものの見方を一旦離れて、ものごとを複眼的に捉える力を養っていきます。 この作業を通じて、受講者が自分の属している社会・文化的環境がどのようなものかを説明できるようになることを目指します。 【到達目標】 ・社会人類学の学問的発展の歴史を説明できるようになる ・自分の常識やものの見方を相対化し、別の視点から物事を考えることができる ・現代社会における「文化」を理解することの重要性が説明できるようになる 【講義方法】 スライド、映像・音響資料を用いた講義				

＜授業スケジュール＞		
回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 8 日	イントロダクション: 人類学とはどのような学問か
2	4 月 15 日	食べる 1
3	4 月 22 日	食べる 2
4	4 月 29 日	装う 1
5	5 月 6 日	装う 2
6	5 月 13 日	信仰 1
7	5 月 20 日	信仰 2
8	5 月 27 日	中間まとめ
9	6 月 3 日	ジェンダー 1
10	6 月 10 日	ジェンダー 2
11	6 月 17 日	生老病死 1
12	6 月 24 日	生老病死 2
13	7 月 1 日	お金 1
14	7 月 8 日	お金 2
15	7 月 15 日	総まとめ
＜教科書・参考書＞		
【参考文献】		
波平恵美子編『文化人類学』（医学書院）（ISBN:9784260013178）		
松村圭一郎 他編『文化人類学の思考法』（世界思想社）（ISBN:9784790717331）		

科目番号	52	科目名	びわ湖・滋賀学		
英 文 科 目 名	Biwa Lake and Shiga Prefecture				
大学・短期大学名	龍谷			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5				
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674	
担 当 教 員	脇田 健一 (社会 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 <u>対面・遠隔併用</u>				
教 室 名		会場			
授 業 期 間	2022 年 8 月 29 日 (月) ~ 2022 年 9 月 2 日 (金) ※サマーセッション集中講義				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		25	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		75	%	
	そ の 他 ()		%		
別 途 負 担 費 用	あり 琵琶湖博物館までの交通費と博物館の観覧料については、自己負担とする。 詳しくは、初回の授業時に説明する。				
そ の 他 特 記 事 項	【授業時間外における予・復習等の指示】 特に指定しないが、講義を通して琵琶湖と滋賀県の環境をめぐる日々の話題やニュースに関心を持ち、実際のフィールド(現場)を訪れてほしい。 【履修上の注意・担当者からの一言】 講義のコーディネートは社会学部社会学科教員の脇田健一が担当するが、個々の授業は、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸員等が担当する。コロナ感染の状況等により、やむを得ず講義内容に若干の変更が生じる場合があることをご理解いただきたい。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 この講義に関する問い合わせや質問については、社会学部社会学科の脇田まで、e-mailで質問等を行なっていただきたい。脇田のメールアドレスは、以下の通り。 wakita@soc.ryukoku.ac.jp なお、琵琶湖博物館までの交通費と博物館の観覧料については、自己負担とする。 詳しくは、初回の授業時に説明する。				

＜講義概要・到達目標＞

【講義概要】

本講義は、学外の社会教育機関である滋賀県立琵琶湖博物館と龍谷大学社会学部との連携によって行う。

琵琶湖博物館は、「湖と人間」をテーマとする博物館であり、滋賀県草津市の琵琶湖に突き出した烏丸半島にある。6年の歳月をかけて展示をリニューアルを行い、昨年の10月にグランドオープンした。本講義は集中講義により実施するが、2022年8月29日～8月31日の3日間をオンライン講義で、9月1日～2日の2日間は琵琶湖博物館の展示を用いて講義を行う。

講義は、滋賀県の特徴について、「琵琶湖」と人の関わりという視点から理解を深めることを目的とする。私たちが通い、あるいは住んでいる滋賀県が持つ個性を理解していく上では、この地域で暮らしてきた人々の産業や日常の文化のありかたを見つめ直し、それらと琵琶湖集水域という環境との密接な関わりについて学ぶことが大切な鍵になるからである。

具体的なトピックとして、琵琶湖の自然と生い立ち、自然と暮らしの歴史、暮らしとつながる自然、水の生き物と暮らしを取り上げ、琵琶湖博物館の新しい調査研究の成果をまじえて解説する。履修者にとって、この講義が実際の琵琶湖・滋賀県のフィールドへと足を運んでみるきっかけとなることを期待している。

【到達目標】

テーマである「湖と田んぼをつなぐ魚を通して知る滋賀」の学びを深めるために、その背景ともなっている琵琶湖の生い立ちや自然環境の特徴を把握し、それらと人間との歴史的な関わりを理解する。

滋賀県的生活文化の特徴について、具体的なフィールドの事例を通して理解を深める。

【講義方法】

オンライン講義と、博物館の常設展示室等を活用した講義の組合せで行う。必要な資料等は各回の講師が適宜配布する。

＜授業スケジュール＞

回	月日	テーマ・キーワード
1	8月29日	オリエンテーション
2	8月29日	水の生き物と暮らし(1)
3	8月29日	水の生き物と暮らし(2)
4	8月30日	暮らしとつながる自然(1)
5	8月30日	暮らしとつながる自然(2)
6	8月30日	自然と暮らしの歴史(1)
7	8月31日	自然と暮らしの歴史(2)
8	8月31日	琵琶湖の自然と生い立ち(1)
9	8月31日	琵琶湖の自然と生い立ち(2)
10	9月1日	琵琶湖博物館A展示室見学 「湖の400万年と私たち ～琵琶湖の自然と生い立ち～」・課題学習
11	9月1日	琵琶湖博物館B展示室見学 「湖の2万年と私たち ～自然と暮らしの歴史～」・課題学習
12	9月1日	琵琶湖博物館C展示室見学 「湖のいまと私たち ～暮らしとつながる自然～」・課題学習
13	9月2日	琵琶湖博物館水族展示室見学 「湖のいまと私たち ～水の生き物と暮らし～」・課題学習
14	9月2日	企画展示見学・課題学習
15	9月2日	まとめと課題レポート作成

＜教科書・参考書＞

【参考URL】

滋賀県立琵琶湖博物館 (<https://www.biawahaku.jp/>)

科目番号	53	科目名	環境社会学	
英 文 科 目 名	Environmental Sociology			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	閻 美 芳 (社会 学部 講師)			
実 施 方 法	(対面授業) 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会 場	瀬田	
授 業 期 間	2022 年 9 月 26 日 (月) ~ 2023 年 1 月 16 日 (月) <毎週 月 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	70	【備考】 期末試験	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	30	【備考】 コミュニケーションシートの内容	%
	そ の 他 ()			%
別 途 負 担 費 用	(なし) あり()円			
そ の 他 特 記 事 項	【授業時間外における予・復習等の指示】 授業の際に通知する。 【履修上の注意・担当者からの一言】 ・グループディスカッションに参加できるように、予習・復習をしっかりと行ったうえで授業に臨んでください。 ・普段から意識的に報道等に接し、社会にアンテナをはっておいてください。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 最初の授業の冒頭で知らせる。			
<講義概要・到達目標> 【講義概要】 この講義では、環境問題を分析するための方法として、環境社会学の基本的な理論枠組みについて概説する。とりわけ生活環境主義という考え方に焦点を当て、環境問題に立ち向かう人びとの動きを地域コミュニティの側から考えていくことの必要性や重要性に焦点を当てて論じていく。 【到達目標】 ・環境問題に対する様々なアプローチの仕方について理解するとともに、それらを踏まえて問題を自分で考え、社会的に分析ができる。 ・環境社会学的な観点(生活環境主義)から身近な自然環境と人間の暮らしの関係を分析し、説明できる。 【講義方法】 講義形式を基本とするが、あわせて授業中にグループディスカッションを導入する。また毎回、授業で感じた疑問点や次回の授業への要望などについて、コミュニケーションシートの提出を求める。授業では、各事例のリアリティを伝えるために、教員が撮影した写真やビデオ資料を呈示するほか、必要に応じて既存の映像資料も使用する。				

＜授業スケジュール＞

回	月日	テーマ・キーワード
1	9 月 26 日	オリエンテーション
2	10 月 3 日	環境問題における加害と被害
3	10 月 10 日	環境問題における受益・受苦
4	10 月 17 日	社会的ジレンマとしての環境問題
5	10 月 24 日	生活環境主義の考え方—誰がしっかりすれば環境は守られるのか
6	10 月 31 日	暮らしとともにある環境はどのように管理されるのか
7	11 月 7 日	嫌がられる環境を誰が受け入れるのか
8	11 月 14 日	人はどのように環境と遊んできたのか
9	11 月 21 日	日本の草原はどのように維持されてきたのか
10	11 月 28 日	公園は都市の環境を豊かにしてきたのか
11	12 月 5 日	これまでのし尿はどのように処理されてきたのか
12	12 月 12 日	環境と観光はどのように両立されるのか
13	12 月 19 日	人と野生動物はどのような関係を築かれるのか
14	12 月 26 日	未曾有の災害に人はどの対応していくのか
15	1 月 16 日	期末試験

＜教科書・参考書＞

【テキスト】

足立重和・金菱清 『環境社会学の考え方—暮らしをみつめる12の視点』（ミネルヴァ書房）
 (ISBN:978-4-623-08527-9)

【参考文献】

鳥越皓之・帯谷博明 『よくわかる環境社会学』（ミネルヴァ書房）（ISBN:978-4-623-07934-6）

科目番号	54	科目名	コミュニティ論	
英 文 科 目 名	Local Community Studies			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	坂本 清彦 (社会 学部 准教授(特任))			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場	瀬田	
授 業 期 間	2022 年 9 月 20 日 (火) ~ 2023 年 1 月 17 日 (火) <毎週 火 曜 日> 4 時 限・講 時 15 : 15 ~ 16 : 45			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		50 【備考】 グループまたは個人で、実地調査や文献検索を行い、その結果を分析して、3500-4500字程度の学期末レポートとして提出。基本的概念の理解度、その応用力、適切な引用を含む文章の質などを評価基準とします。	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		50 【備考】 授業全体への参加(予習、議論や課題の授業ノートへの記入などの取り組み)姿勢に、「自己評価」を加味して評価します。	%
	そ の 他 ()		%	
	自 由 記 載		【出席について】 小課題の提出などを通じて授業参加の記録はとります。 【自己評価について】授業への取り組み姿勢を自己評価してもらいます。自己評価がそのまま成績になるわけではありませんが、最終評価に影響することがあります。 【レポートについて】 レポート課題では、授業で学んだことを地域でコミュニティ活動に関わる方々への聞き取り結果などに適用して理解を深めるものです。 講義で概説する基本概念などを理解しないと、レポート作成は難しくなります。また、レポートは文字数そろえて提出すればよいというものではありません。基準に沿って評価しますので、要求を満たせないと低い点になる(さらに平常点が低いと単位を落とす)こともありえます。また、他の人との共同作業に必要なスキルや姿勢を身につけるため、レポートはグループでの取り組みを推奨しますが、個人で取り組んでもかまいません。学年や専攻により、文字数を変える可能性もあります。レポート課題についてその他具体的内容は学期中に指示します。	

別 途 負 担 費 用	(なし) あり()円
その他特記事項	【授業時間外における予・復習等の指示】 講義で説明する基本概念などを理解するために、学期を通じて文献を読んで簡単なメモを書く課題(宿題)を出します。 その内容を確認するためのクイズにも取り組んでもらいます。 また、レポートのための文献探索や実地調査も授業外での学習活動として必要となります。 【履修上の注意・担当者からの一言】 〈授業の難易度と受講者にお願ひしたいこと〉 「コミュニティ」という概念は多様で奥行きも深く、理解するのは容易ではありません。 正直、難しいと思いますが、大学で大学らしいちょっと挑戦的で積極的な学びを体験したい人にはお勧めです。 (難しいとはいえ、きちんと授業に参加し課題をこなしてくれたら、単位はとれます。)一方で、この授業は1回生から4回生まで、そして他学科・他学部・(京都と滋賀の)他大学の学生にも開放していますから、背景、関心、知識、理解度が異なる多様な受講生が集まり、さらにアシスタント、ボランティア、ゲストも加わります。 それゆえに、講義を聞いて1人だけで学ぶのではなく、わかったこと、わからないことを共有し、参加者がお互いに補い合って、他の受講生や授業参加者との協働を通じ、積極的に学ぶ場(それこそコミュニティ)としての授業を一緒に創り上げながら理解を進めていこうと考えています。 そして、1つ、皆さんにお願ひしたい(いや、約束してほしい)ことがあります。 それは、わからないことや困ったことがあったら、教員、アシスタントやボランティアに相談してください、ということです。 この授業は、内容が難しいことに加えて、対面授業を基本としつつ、オンラインの要素も取り入れて、多少「実験的」なこともやっていきますし、状況に応じてやり方を変えていく可能性もあります。 授業の内容(これはきっとわからないことが出てくると思います)だけでなく、ワークや課題のやり方で不明なことや不安なことがあれば、「こんなことを訊いていいのかわからない」と思わず質問してください。わからなかった理由が「説明を聞いてなかった、読んでなかった」でも、まあいいです(それを何度も繰り返さないようにしてくださいね)。 ということで、「わからなかったら質問する」と約束してください。 〈授業内容の変更について〉 講義内容やレポートを含む課題、授業の進め方については、社会情勢やそれを踏まえた大学の方針、学生の理解度や意向などにより、変更することがあります。 そうしたことが起きる際の基本的な方針として、変更に伴う受講生への不利益を可能な限り避けるため、①受講生には事前にできるだけ早く変更を知らせる、②受講生の負担を理不尽に増やさない、ことを明確にしておきます。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 毎週火曜日2講時をオフィスアワーとしています。 その他、事前にアポイントメントで相談時間を設けます。 資料配布や授業関連の連絡にはManaba、LINE(オープンチャット)とメールを使います。 これらのいずれかから連絡を受け取れるようにしておいてください。 教員のメールアドレスは a17248@mail.ryukoku.ac.jp です。

<講義概要・到達目標>

【講義概要】

あなたにとって「コミュニティ」とはなんですか？あなたにとって必要なものですか？それとも厄介なものですか？

この講義では、

- ・「コミュニティ」にまつわるさまざまな概念や理論を学び、
- ・大学周辺の地域「コミュニティ」について調べ、学んだ概念・理論を適用してその理解を深め、
- ・これらの学習を通じて、今の時代に「コミュニティ」なるものがなぜ必要であると同時に厄介な存在であるのか考察し、
- ・私たちは「コミュニティ」とどう生きていくべきなのかを考えていきます。

この授業には、教員のほか、アシスタントやボランティア、学内外のゲストが参加し、さまざまな形で受講生の皆さんの理解を促すよう働きかけてくれます。

あなたが関わる「コミュニティ」について、自分自身の問題として、個人、グループワークでの議論やレポート作成を通じて、「コミュニティ」についての理解を深めてください。

そして様々な人たちとのかかわりながら、ただ講義を聞き課題をこなせばいいという受身な姿勢ではなく、積極的な学びの「コミュニティ」としての授業を自分たちで創り上げるつもりで授業に参加してください。

【到達目標】

- ・コミュニティ概念の多様性や複雑性を理解する
- ・多様で複雑なコミュニティに関する概念を現実社会の理解に応用できる
- ・なぜ「コミュニティ」が重視されるのか、批判的に理解し、自分の生き方に生かす心構えをもつ
- ・他の履修生、グループのメンバー、自分のコミュニティの人々と協力し働く姿勢とスキルを身につける

【講義方法】

PowerPoint、資料、映像マテリアルなどを使い、基本的な概念・用語などを講義と、個人やグループでの資料読解、議論などのワーク、リフレクションペーパーを書くなど、口、手、頭を積極的に使って理解してもらいます。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	9 月 20 日	オリエンテーション:授業のポリシー・進め方、レポート作成について
2	9 月 27 日	イントロダクション:そもそもコミュニティとは？
3	10 月 4 日	コミュニティ(概念)の多様性
4	10 月 11 日	コミュニティ(概念)の多様性
5	10 月 25 日	コミュニティ(概念)の多様性
6	11 月 1 日	コミュニティ(概念)の変遷
7	11 月 8 日	コミュニティ(概念)の変遷
8	11 月 15 日	コミュニティ(概念)の変遷
9	11 月 22 日	コミュニティ(概念)の変遷
10	11 月 29 日	コミュニティ(概念)への批判
11	12 月 6 日	コミュニティ(概念)への批判
12	12 月 13 日	コミュニティマネジメント・デザイン
13	12 月 20 日	コミュニティマネジメント・デザイン
14	1 月 10 日	なぜ今「コミュニティ」なのか
15	1 月 17 日	総括・レビュー

＜教科書・参考書＞

【参考文献】

眞鍋貞樹 『コミュニティ幻想を超えて：「善き居場所」の創造』（一藝社）（ISBN:9784863590267）
船津衛・浅川達人 『現代コミュニティとは何か―「現代コミュニティの社会学」入門』（恒星社厚生閣）
（ISBN:9784769914730）
バウマン、ジグムント 『コミュニティー安全と自由の戦場』（筑摩書房）（ISBN:9784480098252）
広井良典・小林正弥 『コミュニティー公共性・コモンズ・コミュニタリアニズム』（勁草書房）
（ISBN:9784326348800）
伊藤守[ほか] 『コミュニティ事典』（春風社）（ISBN:9784861105388）
広井良典 『コミュニティを問いなおす：つながり・都市・日本社会の未来』（筑摩書房）
（ISBN:9784480065018）
岡檀 『生き心地の良い町 この自殺率の低さには理由(わけ)がある』（講談社）
（ISBN:9784062179973）

指定テキストはありませんが、これら「参考文献」を含む関連文献の一部を課題として読んでもらいます。

科目番号	55	科目名	社会貢献論	
英 文 科 目 名	Social Contributions			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	川中 大輔 (社会 学部 准教授)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名		会場	瀬田	
授 業 期 間	2022 年 4 月 7 日 (木) ~ 2022 年 7 月 21 日 (木) <毎週 木 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		60 【備考】 到達目標(1)(4)に対応して、授業内発表及び 期末レポートにおける記述の厚さ、その問題 の構造的理解の深度を評価する。 %	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40 【備考】 到達目標(2)(3)に対応して、毎授業での「コ ミュニケーションシート」での授業内容の理解 度や各自の見解の論理性／明確性を評価す る。 % 【自由記載】 以下に該当した場合は原則不可とする。 1. 期末レポートを提出しなかった場合 2. 授業内発表を行わなかった場合 3. 出席回数が10回に満たなかった場合	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用	(なし) あり () 円			
そ の 他 特 記 事 項	【授業時間外における予・復習等の指示】 教室内でのワークがデータに裏付けられるものとなるよう、授業外に個々人で必要に応じた 情報収集を行うこと。また、読書課題を出した場合は指定箇所を読了すること(各回所要時 間:1.5時間)。 【履修上の注意・担当者からの一言】 受講にあたって、事前に特別な知識や経験は求めない。ただし、グループワーク等の参加 型の形式も用いて授業を進めていくため、積極的かつ協力的な参加と、自分の頭で考える 力が求められる。また、教室内でのグループワークがデータに裏付けられるものとなるよう、 授業外に個々人で若しくはグループで、必要に応じた情報収集が求められる。なお、参加型 の授業では途中からの参加が難しいため、遅刻・欠席をしないよう、強く求めたい。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 ・manaba掲示板やE-mail ・オフィスアワー(金曜日3限/6号館205研究室) ・コミュニケーションペーパー ・授業前後の学生との直接対話			

<講義概要・到達目標>

【講義概要】

私たちの暮らしの中には、様々な困りごとや悩みごとが、それぞれに異なった形で生じている。自らの、或いは他者の「困りごとや悩みごと」を前にして、「何とかしたい」という気持ちが起こってくることも少なくない。みなさんもこれまで生きてきた中で、社会的な問題に対して「ほっといたらアカンのちゃうか…」と思ったことはないだろうか。例えば、大規模災害の際には、非常に多くの人々がそうした思いを胸に抱いて、寄付をしたり、被災地に駆けつけてボランティア活動を行うこととなる。また、そこまで強い動機を抱いていない場合でも、友人などに誘われて現場で活動している内に気がつけば「この問題を何とかした方がいいんじゃないのか」と思うこともあるだろう。

本講義では、このような思いを継続的な行動にうつす「アマチュアの市民」による社会貢献活動を中心に扱う。社会問題はプロフェッショナル(専門職)だけで解決されることはない。「何とかしたい」「ほっとけない」「社会のお役に立ちたい」…といった思いと何かしらの形で結びついた行動によって発揮される市民の力が求められる。では、市民はどのように社会貢献活動への歩みを踏み出せばいいのだろうか。社会貢献活動にはどの

ような広がりがあるのだろうか(企業による社会貢献も含む)。社会貢献活動は活動する市民に何をもたらすのだろうか。そもそも、「踏み出し」を支えているものは何だろうか。このような問いを手がかりに、社会貢献の学びを開いていく。

なお、本講義は教育やまちづくり等の複数分野のNPOでの実務経験を有する教員が担当しており、その経験を活かして、「現場」の動きの実際や最新動向も積極的に取り扱っていくこととする。

【到達目標】

- (1)社会貢献活動が求められている社会問題を自ら探索していこうとする姿勢を形成する。
- (2)市民の社会貢献活動の形態の多様性を理解する。
- (3)社会貢献活動に関わる「あり方」について自らの考えを明らかにする。
- (4)自らの社会問題意識を掘り起し、自発的な社会貢献活動に向けた素地を形成する。

【講義方法】

講義とワーキングセッションを複合して展開する。ワーキングセッションでは、問題意識を同じくする学生とチームとなって、解決に取り組む社会問題の実態調査や解決策立案に取り組んでもらうこととなる。講義においても双方向性を高めるために、教員の出す問いかけに対して、グループで意見を出し合って発表してもらう機会を適宜設ける。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月7日	「コースオリエンテーション:どのような社会貢献を目指すのか?」 「社会貢献」に対する認識を共有した上で、本コースで目指す社会貢献の方向性を理解する。 【キーワード】 社会貢献、下からのイニシアティブ、活私開公
2	4月14日	「なぜ社会貢献をするのか?すすめるのか?(1)」 社会貢献の実践を概観しながら、社会にもたらすものを探る。 【キーワード】 自治、NPO、市民政治
3	4月21日	「なぜ社会貢献をするのか?すすめるのか?(2)」 社会貢献で活動している人の声に耳を傾け、社会貢献が人々にもたらすものを探る。 【キーワード】 学習/脱学習、人間交際関係の多様化
4	4月28日	「なぜ社会貢献をするのか?すすめるのか?(3)」 社会貢献の活動の特性を理論的に考察し、個人と社会にもたらすものを整理する。 【キーワード】 社会構成主義、バルネラビリティ、リゾーム
5	5月12日	「私の社会貢献が求められているフィールドとは?」 「幸せな社会」とは何かを考えた上で、私の生活から社会問題へのつながりを見いだす。 【キーワード】 幸福の加算、不幸の減算、不幸の三要件、アクティブ・ラーニング

6	5 月 19 日	「取り組む問題の現場では何が起きているのか？」 自らが取り組む社会問題を巡る現在の動きを把握する問いを立て、同時にその現状に対する変革の目標を立てる。 【キーワード】 社会学の4つの問い、ミッション、ビジョンと成果目標、アクティブ・ラーニング
7	5 月 26 日	「問題のどこに斬り込む必要があるか？」(1) 自らが取り組む社会問題の原因と機会を分析する。 【キーワード】 problem talk、solution talk、5W1H、アクティブ・ラーニング
8	6 月 2 日	「問題のどこに斬り込む必要があるか？」(2) 自らが取り組む社会貢献活動の方向性を見いだす。 【キーワード】 視野と視点、仮説、コンセプト、アクティブ・ラーニング
9	6 月 9 日	「どのように社会貢献活動はデザインされているか？」 先駆的な社会貢献実践から社会問題解決の発想法について理解する。 【キーワード】 「不」への着目、共創、環境デザイン
10	6 月 16 日	「どのような社会貢献活動を行なうのか？」 自らが取り組む社会問題の解決アイデアを練る。 【キーワード】 マーケティング分析、ポテンシャル分析、アイデアのつくり方、アクティブ・ラーニング
11	6 月 23 日	「市民は国際問題にどう貢献しうるのか？」 国際協力分野の実践から世界市民としての活動について理解する。 【キーワード】 国際福祉、国際貢献、世界市民
12	6 月 30 日	「社会貢献活動プランを発表する！」 自らがデザインした社会貢献活動を発表する 【キーワード】 交感と交響、アクティブ・ラーニング
13	7 月 7 日	「社会貢献と経済をどうつなげるか？」 EU型社会的企業が作り出す経済領域について学び、社会貢献と社会的連帯経済との結びつけ方を理解する。 【キーワード】 社会的連帯経済、社会的企業、社会的包摂
14	7 月 14 日	「社会貢献は市民だけが行なうものなのか？」 企業の社会貢献を巡る動向を理解する。 【キーワード】 CSR、マルチステークホルダーエンゲージメント、プロボノ
15	7 月 21 日	「総括：社会貢献の『これから』の課題は何か？」 社会貢献活動の過去と現在の動向を理解し、未来に向けてどのようなチャレンジが望まれているのかを理解する。 【キーワード】 シティズンシップ、公共圏、市民社会、協働ガバナンス

<教科書・参考書>

【参考文献】

加藤哲夫著 『市民の日本語』 (ひつじ書房)
加藤哲夫著 『市民のネットワーキング』 (メディアデザイン)
J.リップナック+J.スタンプス著 『ネットワーキング』 (プレジデント社)
金子郁容著 『ボランティア』 (岩波書店)
渥美公秀著 『ボランティアの知』 (大阪大学出版会)
仁平典宏著 『「ボランティア」の誕生と終焉』 (名古屋大学出版会)
桜井政成著 『コミュニティの幸福論』 (明石書店)
宮垣元編 『入門ソーシャルセクター』 (ミネルヴァ書房)
西村仁志編 『ソーシャル・イノベーションが拓く世界』 (法律文化社)
寛裕介著 『ソーシャルデザイン実践ガイド』 (英治出版)
寛裕介著 『持続可能な地域のつくり方』 (英治出版)
ソーシャルデザイン会議実行委員会 『希望をつくる仕事』 (宣伝会議)
グリーンズ編 『ソーシャルデザイン』 (朝日出版社)
グリーンズ編 『日本をソーシャルデザインする』 (朝日出版社)
齋藤槇著 『世界をよくする簡単な100の方法』 (講談社)
鬼丸昌也著 『僕が学んだゼロから始める世界の変え方』 (扶桑社)
藤井敦史・原田晃樹・大高研道編 『闘う社会的企業』 (勁草書房)
谷本寛治編 『ソーシャル・エンタープライズ』 (中央経済社)
紫牟田伸子・フィルムアート社編 『日本のシビック・エコノミー』 (フィルムアート社)
関正雄著 『SDGs経営の時代に求められるCSRとは何か』 (第一法規)
日本財団編 『企業と震災』 (木楽舎)
佐藤真久・関正雄・川北秀人編 『SDGs時代のパートナーシップ』 (学文社)
田中治彦・枝廣淳子・久保田崇編 『SDGsとまちづくり』 (学文社)
小崎哲哉・Think the Earth編 『続・百年の愚行』 (Think the Earth)
河合雅司著 『未来の年表2』 (講談社現代新書)

その他、授業内に適宜紹介する。

科目番号	56	科目名	植物生理・生化学 I		
英 文 科 目 名	Plant Physiology and Biochemistry I				
大学・短期大学名	龍谷			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5				
	TEL :	077-543-7739		FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	古本 強 (農 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名			会場	龍谷大瀬田学舎	
授 業 期 間	2022 年 9 月 21 日 (水) ~ 2023 年 1 月 18 日 (水) <毎週 水 曜日> 1 時限・講時 9 : 15 ~ 10 : 45				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			50	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			20	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			15	%
	そ の 他 (小 テ ス ト)			15	%
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項	高校で生物学と化学を履修していない人は、講義に並行して生物学基礎の受講、高校生物、化学の自習を薦める。 授業の最後に、授業資料の視聴を確認するために実施するアンケートへの参加状況をもって出席とし、この評価をもって授業の2/3以上出席した者を最終評価の対象とします。				
<講義概要・到達目標>					
<講義概要>					
近年の分子生物学、細胞生物学、結晶構造学の急速な進展により、植物における多くの重要な生理生化学的現象が分子レベルで理解できるようになりました。本講義では、「生きている」ということを「(細胞の活動エネルギーとなる)ATPを生産できる」という観点から捉え、主に植物がどのようにATPを生産しているのかを中心に、細胞レベル・タンパク質レベル・分子レベルの複数のレベルで、多角度から解説します。最初に細胞構造を解説し、ついで、各種の代謝について基礎的な事項から解説し、後半では特に生命現象を示す分子レベルでの事象(タンパク質の構造変化と機能の相関)を中心に、代謝の制御機構に触れつつ、できるだけ平易に講述します。					
<到達目標>					
まず、全ての生命の最小単位である「細胞」を理解することを目指します。ついで、細胞機能を支える代謝や膜の機能を理解し、多くのタンパク質の機能やその調節機構を認識することで、生命現象が精緻で巧妙な分子機構に基づいていることを学びます。植物の基本機能である光合成や呼吸などの生化学的現象を分子レベルで説明できるようになることを目標とします。					
<講義方法>					
パワーポイントでの講義が中心です。必要最低限の資料はプリントアウトし、配布します。授業の振り返りをアンケートとして回収して、そのアンケートの中から理解が不足している点などを追加で説明するなど、十分に授業についてきているかをモニターしながら進めます。					
<授業時間外における予・復習等の指示>					
配布プリントに必要事項を記入し、それを復習すること。復習の助けとして、講義動画を授業期間限定で公開します。質問はmanabaの公開期間に受け付けます。					
<授業スケジュール>					
回	月 日		テーマ・キーワード		
1	9 月 21 日		ガイダンス 生理生化学とは		
2	9 月 28 日		代謝概論 各種反応論		
3	10 月 5 日		代謝研究法		
4	10 月 12 日		解糖系(1) グルコースからピルビン酸		
5	10 月 19 日		解糖系(2) ピルビン酸の行方		
6	10 月 26 日		電子伝達系と酸化的リン酸化		
7	11 月 2 日		クエン酸回路と他の代謝とのつながり		

8	11 月 9 日	代謝の調節と制御
9	11 月 16 日	光合成(1) 光受容
10	11 月 30 日	光合成(2) 光化学系と電子伝達
11	12 月 7 日	光合成(3) 炭素代謝
12	12 月 14 日	光合成(4) C4光合成とCAM型光合成
13	12 月 21 日	物質輸送 輸送タンパク質
14	1 月 11 日	輸送タンパク質のエネルギー収支
15	1 月 18 日	全体のまとめと展望
<教科書・参考書> <教科書> ・高橋裕一郎、園池公毅、古本強 『光合成』（朝倉書店）3,600円（ISBN:9784254171761） 高校での生物未履修者にも対応しますが、どうしても難易度が高くなる部分があります。高校生物の資料集や参考書を授業前に読み込んでおく予習を勧めます。オフィスアワーを利用して質問等を受け付けます。 <参考書> ・HansWater Heldt（金井龍二 訳）『植物生化学』（Springer）8,600円（ISBN:443170857X） ・D・サダヴァ 『大学生物学の教科書 第1巻 細胞生物学』（Blue Backs）1,300円（ISBN:9784062576727） ・芦原坦・加藤美砂子 『代謝と生合成 30講』（朝倉書店）3,400円（ISBN:9784254177152） ・三村徹郎、深城英弘、鶴見誠二 『植物生理学』（化学同人）3,400円（ISBN:9784759819977） 参考資料としてプリントを配布する。		

科目番号	57	科目名	食と嗜好の科学		
英 文 科 目 名	Food Science in Palatability				
大学・短期大学名	龍谷			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5				
	TEL :	077-543-7739		FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	山崎英恵、中村元計、高橋拓児、才木 充 (農 学 部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名		会場	龍谷大瀬田学舎		
授 業 期 間	2022 年 9 月 26 日 (月) ~ 2023 年 1 月 16 日 (月) <毎週 月 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		50 %		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		40 %		
	そ の 他 (小 テ ス ト)		10 %		
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円				
そ の 他 特 記 事 項	専門的な予備知識は必要ありません。				
<講義概要・到達目標>					
<講義概要>					
食の嗜好性は、食糧生産から食品開発や外食産業まで、食に関わるすべてにおいて重要な要素である。私達の健康維持増進や疾病予防のための食事だけでなく、高齢者の食事、離乳食、病院食、学校給食、アスリートの食事など、様々な制限のある食の局面で、食を介して人々の生活の質(QOL)の向上の鍵を握っている。また、食料自給率の維持・向上や食の伝統・文化の問題の根底にも、食の嗜好性が深く関わっている。食の嗜好性に関わる、おいしさ(palatability), 嗜好(liking), 選択行動(wanting)について、それらの要因を解説するとともに、味覚・嗅覚・食感、食欲調節と満足感などの生理的側面・食の文化としての側面、食に関わる様々な情報の影響、現代社会において食の関わる諸問題と食嗜好の関係について解説する。また、3人のプロの料理人により、日本料理(京料理)を通しておいしさや嗜好性に関わる多面的かつ具体的な内容の講義を展開し、食と嗜好に関する理解を更に深める。					
<到達目標>					
(1)味覚と嗜好、おいしさの相違について理解できるようになる。					
(2)おいしさを構成している要素を理解できるようになる。					
<講義方法>					
スライドと口述による講義を中心とする。場合によっては、オンライン授業を併用することがある。					
<授業時間外における予・復習等の指示>					
授業時間中に適宜指示を行う。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	9 月 26 日	味覚と嗜好、おいしさについて			
2	10 月 3 日	味覚:基本五味と味を感じるしくみ			
3	10 月 10 日	嗅覚:バニラやキャラメルの匂いはなぜ甘い			
4	10 月 17 日	味覚の周辺①:トウガラシはなぜ辛いのか、メントールはなぜ冷たく感じるのか			
5	10 月 24 日	味覚の周辺②:えぐ味、渋み、人工甘味料、人工油脂、人工塩味料			
6	10 月 31 日	おいしさの構造とその構成要素①生理的なおいしさ、情報のおいしさ			
7	11 月 7 日	おいしさの要素②:食べなれたおいしさ、食文化、報酬系のおいしさ 油脂のおいしさと脳の報酬系			
8	11 月 14 日	日本料理とはなにか そのおいしさと嗜好性			
9	11 月 21 日	郷土食と京料理			
10	11 月 28 日	出汁の味わい:日本料理の味付けとおいしさ			

11	12 月 5 日	料理の塩梅
12	12 月 12 日	期待感と満足感
13	12 月 19 日	品位とおいしさ
14	12 月 26 日	おいしさは遺伝しない: 次世代への食文化の継承
15	1 月 16 日	おいしさと持続可能性
<教科書・参考書> <参考書> ・伏木亨 『おいしさを科学する』（ちくまプリマー新書 筑摩書房）778円（ISBN:4480687440） ・高橋拓児 『10品でわかる日本料理』（日本経済新聞出版）1,650円（ISBN:4532168783）		

科目番号	58	科目名	日本・京滋の食料と農業	
英 文 科 目 名	Food and Agriculture in Japan and the Keiji-area			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	淡路 和則		(農 学 部 教 授)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名		会場	龍谷大瀬田学舎	
授 業 期 間	2022 年 9 月 22 日 (木) ~ 2023 年 1 月 12 日 (木) <毎週 木 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100 %	
	そ の 他 ()		%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	日本の農業の姿、食の変化の概要を学びながら、京都・滋賀を中心とした近畿地方の農業や食文化を身近に感じ、学びのタネを発見できることを期待します。 受講上の注意等は、manabaで連絡します。			
<講義概要・到達目標> <講義概要> 本講義は前半と後半の二つに分けられる。 前半は、日本農業の基本構造について概観し、日本の食生活の変化と国内農業の展開をたどり、食料自給率の低さに象徴される日本の食料需給の課題について解説する。 後半は、大学の地元である京都・滋賀を中心に近畿地方における農業や地域おこしの取り組みを紹介し、具体的事例を通して農と食の現代的課題を考える。 京都・滋賀を中心に近畿地方において実際に農業や地域おこしに関わっている方々を招聘し、地域の特色を生かした具体的な取り組みについて聞き、積極的に議論を行うことを通じて、農業と社会の関係について学ぶ科目。 <到達目標> (1)日本農業の特徴と問題点を把握する。 (2)京都・滋賀を中心とした近畿地方の農業や食文化の特徴を理解する。 (3)農業が日常生活にどのように関わっているのかを理解する。また、私たちはどのように農業に関わることができるのかを考える。 <講義方法> 配布資料やパワーポイントを用いたりリモートまたは対面の講義。 リモート講義では時間割に従って、manabaを利用して、スライドや資料、動画を配信するので、決められた期間内に受講し、小テストに解答し、コメントシートなどを提出することが求められる。 <授業時間外における予・復習等の指示> 講義の際に適宜指示する。				
<授業スケジュール>				
回	月 日	テーマ・キーワード		
1	9 月 22 日	日本の国土と地勢		
2	9 月 29 日	経済発展と農業の位置づけ		
3	10 月 6 日	日本農業の特徴①:農地		
4	10 月 13 日	日本農業の特徴②:ひと		
5	10 月 20 日	日本農業の特徴③:技術		
6	10 月 27 日	日本農業の特徴④:資本財		
7	11 月 3 日	日本型食生活と食料生産の課題①:食料消費の変化		
8	11 月 10 日	日本型食生活と食料生産の課題②:食をめぐる経済活動		

9	11 月 17 日	京都・滋賀の農業概論
10	11 月 24 日	京滋の農と食①: 京都の農と食に関わる取り組み事例
11	12 月 1 日	京滋の農と食②: 京都の農と食に関わる取り組み事例
12	12 月 8 日	京滋の農と食③: 京都の農と食に関わる取り組み事例
13	12 月 15 日	京滋の農と食④: 京都の農と食に関わる取り組み事例
14	12 月 22 日	京滋の農と食⑤: 京都の農と食に関わる取り組み事例
15	1 月 12 日	まとめと補論
＜教科書・参考書＞ ＜教科書＞ 適宜配布する。 ＜参考書＞ 必要な参考文献については、その都度指示する		

科目番号	59	科目名	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)(E)		
英 文 科 目 名	Topics in EconomicsⅡ Introduction to Financial Analysis(E)				
大学・短期大学名	立命館		大学		
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	三好 秀和		(経済 学部 招聘教員)		
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	BKC	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授 業 期 間	2022 年 8 月 29 日 (月) ~ 2022 年 9 月 3 日 (土) ＜夏集中講義Ⅰ＞ 6月頃受講者に詳細なスケジュールを配布				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考□				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100 %		
	そ の 他 ()		%		
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
その他特記事項					
＜講義概要・到達目標＞					
【授業の概要と方法】 夏季集中講義である。集中して学ぶことができる。事前登録が必要となるので注意してほしい。講義形式で行う。一日のまとめを提出して次の授業の時に全体コメントする。復習、予習に生かしてほしい。優れたまとめに対しては加点をする。優れたまとめと自分が作成したまとめとを比較して復習に生かしてほしい。授業に出席しているだけでは平常点にならない。積み上げ学習が必要な科目であることを認識してほしい。 証券アナリストの基礎的な内容を講義する。アナリストを目指す学生だけではなく、インベストメントバンキング部門の金融機関や経営企画部門、IR部門の担当者を目指すための基礎知識内容である。また、就職活動を通じて企業と接点をもつことになる学生がこれまでの学習を元に企業活動の実態を理解する上で役立つ授業となる。企業とは何か、その活動を支える資本市場の意義を理論と実例から学ぶ。					
【受講生の到達目標】 1.金融・証券分析の基礎知識を学ぶことができる。 2.企業の行動原理を理解することができる。 3.現実のトピックスを通して企業活動のダイナミズムを実感できる。					
【成績評価方法】 選択問題による筆記試験評価55% 日常的な授業における取組状況の評価 45%(授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することがある。) ※コロナの状況等により、WEBリアル授業となった場合には筆記試験に代わってレポート提出となる。日常的な授業における取組状況の評価45%についても授業のまとめなどの小レポートを求める。授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することは対面、WEBともに実施する。					
【授業外学習の指示】 復習に重点を置いて学習してもらいたい。特に授業中に指示するテキストの学習範囲は定期試験に直接結びつくので復習する。講義を聴くだけでは自分の実力とはならない。手を動かし、電卓をたたいて初めて習得できるものと心得る。ゲスト講師の予定により授業内容が前後する可能性があることを了解すること。					
【受講および研究に関するアドバイス】 積極的に努力し復習することを奨励したい。経済や金融は現実の世界で動いている。日々変動する金融理論は机上の空論ではない。また、就職時期になって対策を立てるようなことでは心もとない。経済の基礎的な知識は大学生の早い時期にしっかりと身に付けておくことで視野を広げる意味でもよい。					

＜授業スケジュール＞		
回	月 日	テーマ・キーワード
1	8 月 29 日	(1)ガイダンス 就職活動と通じて企業を知る意義、上場会社と非上場会社、金融機関と事業会社、リテールとホールセールのちがいを理解する (2)株式市場と理論 株式の評価、DDM、収益率、効率的市場仮説、予測と情報、EPS、PER、PBR、 (3)債券市場と理論 金利と将来価値、期待リターンとリスク、資産評価、DCM、定率成長キャッシュフローの評価、債券の評価
2	8 月 30 日	(4)設備投資と会社経営 コーポレートファイナンスとは、内部収益率、ハードルレート、資本コスト、期間回収法 (5)IR入門と資本市場 証券投資の意義と機能、経済と金融、証券市場、金利とリターン、企業金融と財務分析
3	8 月 31 日	(6)アセット・アロケーション入門Ⅰ 分散効果、ポートフォリオ理論 (7)アセット・アロケーション入門Ⅱ CAPMと資本コスト (8)機関投資家と個人投資家 機関投資家、年金運用、資産運用プロセス、アセット・アロケーション、資産運用の評価、確定拠出年金制度、非課税の効果、運用商品の選択と投資教育、ライフサイクル、税金、非合理的な投資行動
4	9 月 1 日	(9)ファンド入門 不動産投資とREIT、オルタナティブ投資、インフラファンド、ヘッジファンド (10)中間まとめ 資本市場、投資家、企業経営の全体の位置付けを考える。授業の進捗により割愛して講義を進めることもある。
5	9 月 2 日	(11)株式投資入門 株式とは？私たちの生活と株式市場との関連性 (12)外国為替入門 為替市場とは？円キャリー取引とは (13)債券投資入門 国債、社債、格付け
6	9 月 3 日	(14)トピックス コーポレートガバナンスコード、ステewartシップコードやビットコイン、ブロックチェーン、AIなどのトピックス。ただし、テキストの進捗により割愛して講義を進めることもある。 (15)デリバティブ入門とテスト フォワード、フューチャー、オプションとは
＜教科書・参考書＞ 【教科書】 ・『アナリスト基礎講座第1.2分冊』（日本証券アナリスト協会）：初回講義で案内する ・『日本経済新聞』（日本経済新聞社） ・『銀行・証券・保険業界のビジネスモデルで学ぶ 金融キャリアの教科書』三好秀和著（経済法令研究会 9784766833461） 【参考書】 『ファンドマネジメント大全』三好秀和編著（同友館 9784496050312） 【参考書(備考)】 多くの運用会社で利用されている実務書である。学生には運用会社の業務内容を知る上で有益であるが参考程度で購入する必要はない。3版で品薄状況であるため図書館で貸し出しを受けるのがよい。		

科目番号	60	科目名	近現代の科学技術(G1)										
英 文 科 目 名	Modern History of Science and Engineering(G1)												
大学・短期大学名	立命館		大学										
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1												
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935									
担 当 教 員	飴山 恵、鈴木 健一郎 (理 工 学 部 教 授)												
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用												
教 室 名	コラーニングハウスI 201	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス										
授 業 期 間	2022 年 4 月 6 日 (水) ~ 2022 年 7 月 20 日 (水) <毎週 水 曜 日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30												
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考□												
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%										
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%										
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100 %										
	そ の 他 ()		%										
別 途 負 担 費 用	なし あり () 円												
その他特記事項	<講義概要・到達目標> 【授業の概要と方法】 前半7回の講義は飴山が担当する。 「材料科学」と「ものづくり産業」の歴史的変遷と現代の到達点および諸課題について学習した上で、持続可能な低炭素社会を実現するためのクリーンエネルギー創出・利用技術について、文社系学生に分かり易く解説する。 後半7回の講義は、以下の内容で鈴木が担当する。 始めに西洋で生まれた科学技術の特徴を3つの基礎概念(力学, エネルギー, 原子)について整理して述べ、各自が自ら考える道しるべとしたい:「科学とは何か」「科学はどうして西洋で生まれたのか」「科学は今後も進歩するのか」等。その後はエレクトロニクス技術を中心として現代の情報通信社会に至る技術進歩について講義する。できるだけ身近にあって親しみが湧くような内容を取り上げ解説する。 最終の第15週目は、前半・後半併せて学習の到達段階を検証するための試験を行う。 【受講生の到達目標】 前半7回の講義(飴山)では、学生が「材料科学」と「ものづくり産業」における歴史的経緯と現代の到達点・諸課題を把握するとともに、持続可能な低炭素社会実現に向けて、自然エネルギーの有効利用技術の動向を把握することを目標にします。 後半7回の講義(鈴木)では、学生が西洋で生まれた科学の特徴について理解するとともに、科学が技術となって現代社会を大きく変化させるに至ったことに興味を持てるようになることを目標とする。 【成績評価方法】 評価比率は、前半7週(50%) + 後半7週(50%) = 合計100%とする。 ・最終講義日(15週目)に、前半・後半合同の検証試験、またはレポート試験を実施する(評価70%)。 ・毎回の授業における小テスト、またはレポート試験を実施する(評価30%)。 <授業スケジュール> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月 日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4 月 6 日</td> <td>文明の始まりと材料の発達【概説】: 石器時代→青銅器時代→鉄器時代→現代社会</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4 月 13 日</td> <td>ものづくり技術の発達I 【原動機】: 人力, 風車, 水車, モーター, エンジン, 蒸気タービン, ガスタービン, ロケットなど</td> </tr> </tbody> </table>				回	月 日	テーマ・キーワード	1	4 月 6 日	文明の始まりと材料の発達【概説】: 石器時代→青銅器時代→鉄器時代→現代社会	2	4 月 13 日	ものづくり技術の発達I 【原動機】: 人力, 風車, 水車, モーター, エンジン, 蒸気タービン, ガスタービン, ロケットなど
回	月 日	テーマ・キーワード											
1	4 月 6 日	文明の始まりと材料の発達【概説】: 石器時代→青銅器時代→鉄器時代→現代社会											
2	4 月 13 日	ものづくり技術の発達I 【原動機】: 人力, 風車, 水車, モーター, エンジン, 蒸気タービン, ガスタービン, ロケットなど											

3	4 月 20 日	ものづくり技術の発達Ⅱ【エネルギー】:化石燃料, 原子力, など 自然エネルギー(風力, 水力, 太陽光, 潮汐力など)
4	4 月 27 日	ものづくり技術の発達Ⅲ【環境問題】:地球温暖化のメカニズム、解決方法の模 索、低炭素社会の実現
5	5 月 11 日	材料科学と社会Ⅰ【資源】:さまざまな資源の性質と確保
6	5 月 18 日	材料科学と社会Ⅱ【日本の科学技術の源流】:近世の科学技術。日本刀の製造技 術と特性発現メカニズム。高度で独創的な江戸時代の機械。
7	5 月 25 日	材料科学と社会Ⅲ【現代の日本の科学技術】:先端的科学技術。現代の情報社会 を支える様々な技術。
8	6 月 1 日	科学の思想と方法:西洋科学の特徴, 力学の誕生。
9	6 月 8 日	エネルギーの発見:電気回路, 熱学の誕生, エネルギー保存則。
10	6 月 15 日	原子という概念:化学と物理の関連性, 統計力学の発展, 量子力学の誕生, 超電 導。
11	6 月 22 日	エレクトロニクス(1):トランジスタの誕生, 集積回路技術の発展。
12	6 月 29 日	エレクトロニクス(2):コンピュータ技術の発展
13	7 月 6 日	通信技術:有線技術, 無線技術, 光通信
14	7 月 13 日	情報技術:インターネット, センシングネットワーク, ICT, AI(実行知能)
15	7 月 20 日	最終講義試験(前半・後半合同):14回の授業の到達度を確認するための試験を行う。
<教科書・参考書> 【教科書】 講義で使用する資料 をmanaba+Rに提示するので、利用して下さい。 【参考書】 『機械材料学』 日本材料学会編著(日本材料学会 9784901381000) 『近代科学はなぜ東洋でなく西欧で誕生したか』 菅野礼司著(吉岡書店 9784842703718) 『科学の発見』 S. ワインバーグ著(文芸春秋 978-4-16-390457-3)		

科目番号	61	科目名	生命科学概論(M)		
英 文 科 目 名	Introduction to Life Sciences (M)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	加藤 稔 ほか8名 (生命科 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	コラーニングハウスI 101	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授 業 期 間	2022 年 4 月 11 日 (月) ~ 2022 年 7 月 18 日 (月) <毎週 月 曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	100			%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	(なし) あり()円				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】 21世紀は『生命科学』の世紀といわれる。これは、20世紀に急速に蓄積した“生物に対する知識”を基盤にして、21世紀には人類の福祉に役立つ技術が開発され、実用化されるであろうことへの期待の表われである。この分野は人間を含む生物(生命体)を研究・実験の対象にするものであり、研究者ならびに技術者には高い倫理観が求められる。本講義は、生命科学部での導入科目として位置づけ、生命科学部の各学科における学問の形態や技術動向等について概観するとともに、研究者・技術者の役割と責任についても講義する。なお、幅広い話題を提供するために、オムニバス形式の講義とする。					
【到達目標】 生命科学研究の現場にいる人たちの研究動機およびに社会から求められる規範に触れることにより、どのように問題を理解し対処すべきか、判断するための基盤を獲得する。					
【成績評価方法】 ・科目全体としての検証テストは行わない ・レポート課題を適宜提示する ・小テストを適宜実施する ・質疑応答等、講義への積極的な参加を評価に加味する					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 11 日	加藤稔:「授業の概要と導入」			
2	4 月 18 日	北村健太郎:「生命科学と社会」1			
3	4 月 25 日	下妻晃二郎:「生命科学と社会」2			
4	5 月 2 日	前田大光:「応用化学関連テーマ」1			
5	5 月 9 日	前田大光:「応用化学関連テーマ」2			
6	5 月 16 日	竹田篤史:「生物工学関連テーマ」1			
7	5 月 23 日	竹田篤史:「生物工学関連テーマ」2			
8	5 月 30 日	木津川尚史:「生命情報学関連テーマ」1			
9	6 月 6 日	木津川尚史:「生命情報学関連テーマ」2			

10	6 月 13 日	白壁恭子:「生命医科学関連テーマ」1
11	6 月 20 日	白壁恭子:「生命医科学関連テーマ」2
12	6 月 27 日	宮崎栄二:「特許」
13	7 月 4 日	中川浩行:「工学倫理」1
14	7 月 11 日	中川浩行:「工学倫理」2
15	7 月 18 日	加藤稔:「授業の統括」
<教科書・参考書> 【教科書】特に定めない。 【参考書】 <1回目講義用> 『大学生になるきみへ: 知的空間入門』中山茂著 (岩波書店 978-4-0050-0452-2) 『近代日本一五〇年: 科学技術総力戦体制の破綻』山本義隆著 (岩波書店 978-4-0043-1695-4) <2回目講義用> 『よくわかる障害学』小川喜道・杉野昭博編著 (ミネルヴァ書房 978-4-6230-6794-7) 『フェイクニュースの見分け方』烏賀陽弘道著 (新潮社 978-4-1061-0721-4) 『日本再生のための「プランB」: 医療経済学による所得倍増計画』愈炳匡著 (集英社 978-4-0872-1161-0) <13-14回講義用> 『技術者による実践的工学倫理: 先人の知恵と戦いから学ぶ』中村収三, 近畿化学協会工学倫理研究会共編著 (化学同人 978-4-7598-1557-3) <15回目講義用> 『はじめての研究生生活マニュアル』西澤幹雄著 (化学同人 978-4-7598-1597-9) 【参考になるwwwページ】 <第2回講義> 生命科学概論／生命科学と倫理 http://www.livingroom.ne.jp/t/lse.htm 第2回講義の事前事後に、上記ウェブサイトを、適宜、参照すること。		

科目番号	62	科目名	薬学概論(Y)		
英 文 科 目 名	Introduction to Pharmacy (Y)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	浅野 真司 ほか9名 (薬 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	ラルカディア102	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授 業 期 間	2022 年 4 月 12 日 (火) ~ 2022 年 7 月 22 日 (金) <毎週 火 曜 日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30 ※ただし、本学の学年暦により第15回目の授業は7/22(金)となる。				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			100 %	
	そ の 他 ()			%	
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項					
<講義概要・到達目標> 【授業の概要と方法】 薬学部薬学科に入学した学生に対する「導入科目」と位置づけ、6年間の学び全般について概説する。まず「薬学とは何か」について説明する。そして、「生命の尊厳」、「医療倫理」、「生命倫理」、「薬とは何か」、「どのように作用するか」、「薬は体内でどのような運命をたどるか」、「薬剤師の職務・責任、活動分野」、「薬害」、「医薬品の開発」、「チーム医療とコミュニケーション」、「医薬品開発」、「治験」、「社会保障と保険医療」、「薬剤師として求められる資質」などについて概説する。 【到達目標】 A 基本事項 ・薬剤師の使命 医療と薬学の歴史を認識するとともに、国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身につける。 ・薬剤師に求められる倫理観 倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。 ・多職種連携協働とチーム医療 医療・福祉・行政・教育機関及び関連職種の連携の必要性を理解し、チームの一員としての在り方を身につける。 ・自己研鑽と次世代を担う人材の育成 生涯にわたって自ら学ぶことの必要性・重要性を理解し、修得した知識・技能・態度を確実に次世代へ継承する意欲と行動力を身につける。 B 薬学と社会 人と社会に関わる薬剤師として自覚を持って行動するために、保険・医療・福祉に係る法規範・制度・経済、及び地域における薬局と薬剤師の役割を理解し、義務及び法令を遵守する態度を身につける。 ・薬剤師と医薬品に係る法規範 調剤、医薬品等(医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、再生医療等製品)の供給、その他薬事衛生に係る任務を薬剤師として適正に遂行するために必要な法規範とその意義を理解する。 ・社会保障制度と医療経済 社会保障制度のもとで提供される医療と福祉について、現状と課題を認識するとともに、薬剤師が担う役割とその意義を理解する。 【成績評価方法】 レポート(3回)を提出する(75%)。 15回目に理解度を確認する試験または、これに替わるものを実施する(25%)。					

＜授業スケジュール＞

回	月日	テーマ・キーワード
1	4 月 12 日	薬学とは何か 担当者:浅野真司
2	4 月 19 日	生命の尊厳 担当者:浅野真司
3	4 月 26 日	医療倫理 担当者:浅野真司
4	5 月 10 日	生命倫理 担当者:北村佳久
5	5 月 17 日	薬とは何か 担当者:田中謙
6	5 月 24 日	薬の作用するプロセス 担当者:天ヶ瀬紀久子
7	5 月 31 日	体内での薬の運命(薬物動態) 担当者:桂敏也
8	6 月 7 日	医薬品開発のプロセス 担当者:鈴木健二
9	6 月 14 日	医薬品の創製と治験 担当者:鈴木健二
10	6 月 21 日	薬剤師の活動分野 担当者:藤田隆司
11	6 月 28 日	薬剤師の職務と責任 担当者:上島智
12	7 月 5 日	薬害 担当者:藤田隆司
13	7 月 12 日	チーム医療とコミュニケーション 担当者:角本幹夫
14	7 月 19 日	社会保障と医療保険 担当者:細木るみこ
15	7 月 22 日	薬剤師と資質、総括 担当者:浅野真司

＜教科書・参考書＞

【教科書】

教科書は指定しないが、プリント(レジュメ)、参考資料を適宜配布する。

【参考書】

『薬学教室へようこそ』 二井将光著 (講談社 978-4-06-257931-5 (ブルーバックス))

『薬学へのいざない』 鎌滝哲也著 (東京化学同人 978-4-8079-1289-6)

【備考】

『薬学教室へようこそ』(二井将光著)は、事前に読むことを強く薦める。

個々のテーマに関する参考書等については随時、紹介する。

【参考になる WWW ページ】

薬学教育モデル・コアカリキュラムと本学薬学部科目との対応表

(<https://secure.ritsumeai.ac.jp/students/ph2/student/>)

科目番号	63	科目名	スポーツマネジメント論(V)		
英 文 科 目 名	Introductory Sports Management (V)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担 当 教 員	長 積 仁 (スポーツ健康科 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	ラルカディア102	会 場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授 業 期 間	2022 年 4 月 11 日 (月) ~ 2022 年 7 月 18 日 (月) <毎週 月 曜日> 2 時 限・講 時 10 : 40 ~ 12 : 10				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		%		
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		%		
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		100 %		
	そ の 他 ()		%		
別 途 負 担 費 用	(なし) あり()円				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【講義の概要と方法】					
スポーツマネジメントとは、スポーツ組織の使命や目的を達成するために行われる人間の活動であり、同時に人々のスポーツライフの質を高め、文化としてのスポーツを振興するために人間の英知を結集させた営みのことである。本講義では、「する・みる・ささえる・つくる」といった人とスポーツのかかわりの多面性を考慮し、公共機関から営利目的の企業までを事例に上げながら、人・組織・社会とスポーツの関係をデザインするために必要な視座に対する理解を深め、それを実践の場で活かすための基礎知識を身につけることを目的とする。					
【到達目標】					
①スポーツマネジメントの基本的な考え方・基礎知識を習得することができる。					
②スポーツマネジメントが必要とされる多様な領域に対する理解と関心を深めることができる。					
③授業で培った基礎知識を、様々な状況下で適用・応用することができる。					
【授業の方法】					
授業は講義が中心であるが、毎回、授業内容に関する感想・批判・意見・質問を200字程度で提出してもらう。それらの感想を用いて、授業の復習及び授業内容に対する理解を促す。					
【成績評価方法】					
授業で扱った基本概念や用語の説明や、授業で学んだ知識を実社会や想定した状況下において、適用・応用できるかを判断するためのレポート課題の提出を、授業内容に沿って、随時、求める。また、授業内試験を実施する。課題及び試験の採点基準は、内容の正確性、文章の構成と論理性に重点を置く。ただし、成績評価の対象は、2/3以上の出席をした受講生に限る。					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 11 日	スポーツマネジメントの視座：組織の成果を意識したマネジメントの基礎知識			
2	4 月 18 日	Society 5.0時代におけるスポーツビジネスの潮流：スポーツビジネスを再定義する			
3	4 月 25 日	スポーツプロダクト：スポーツの魅力と価値とは？			
4	5 月 2 日	サービスマネジメント：サービスの特質とサービスをデザインする考え方			
5	5 月 9 日	プロスポーツチームのマネジメント：プロスポーツの構造と仕組み			
6	5 月 16 日	プロスポーツチームのビジネス戦略：球団が展開するファンサービスと地域とのタイアップ			
7	5 月 23 日	民間フィットネスクラブの経営戦略：業界の構造と成熟期における会員定着戦略			

8	5 月 30 日	ニューパブリックマネジメント:PFIと指定管理者制度で変わる施設経営
9	6 月 6 日	スポーツ組織のマネジメント1:組織のビジョンと目標
10	6 月 13 日	スポーツ組織のマネジメント2:組織の構造化
11	6 月 20 日	スポーツ組織のマネジメント3:リーダーシップの系譜
12	6 月 27 日	スポーツ組織のマネジメント4:組織の“らしさ”を形づくる
13	7 月 4 日	スポーツ組織のマネジメント5:学習するスポーツ組織
14	7 月 11 日	スポーツ振興とまちづくり:まちの顔となるスポーツとソーシャル・キャピタルの醸成
15	7 月 18 日	新しい時代に求められるスポーツ環境を考える:隙間から参加者がこぼれ落ちる我が国のスポーツ振興システム

<教科書・参考書>

【参考書】

『スポーツマネジメント』原田宗彦・小笠原悦子著(大修館書店 978-4-469-26669-6)

『図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント』山下秋二・中西純司・松岡宏高著(大修館書店 978-4-469-26804-1)

『スポーツ産業論第7版』原田宗彦著(杏林書院 978-4-7644-1596-6)

『よくわかるスポーツマネジメント』柳沢和夫・清水紀宏・中西純司著(ミネルヴァ書房 978-4623080144)

上記の書籍は、授業内容の理解を深めるために役立つものであり、また授業内でカバーしきれない内容についての興味・関心を促すものである。

科目番号	64	科目名	衛生学(公衆衛生含む)(V)																																						
英 文 科 目 名	Public Health (V)																																								
大学・短期大学名	立命館 大学																																								
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1																																								
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935																																					
担 当 教 員	金森 雅夫 (スポーツ健康科 学部 教授)																																								
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																								
教 室 名	コラーニングハウスI 203	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス																																						
授 業 期 間	2022 年 9 月 29 日 (木) ~ 2023 年 1 月 19 日 (木) <毎週 木曜日> 4 時限・講時 14 : 40 ~ 16 : 10																																								
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口																																								
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				%																																				
	レポート試験(期末)	40			%																																				
	平常点(出席・授業態度)	60			%																																				
	その他()				%																																				
別 途 負 担 費 用	なし あり()円																																								
その他特記事項																																									
<講義概要・到達目標> 【授業の概要と方法】 人間を取りまく環境因子・地球環境と健康の関連を探求し、病気や死因の構造、疾病リスクと予防医学、疫学の方法について学習する。健康問題を単に個人の問題として捉えるのではなく、集団、社会における問題として理解し、分析する能力を養う。衛生に関する現代の課題を理解し、気候変動・健康格差などの問題解決に向けた危機管理、国際保健の重要性を知る。 【受講生の到達目標】 ①環境(気候変動)と健康の関係、COP26の内容が理解できる。 ②予防および疫学とその方法について説明ができる。 ③衛生の動向およびリスクファクターについて説明できる。 ④健康日本21および健康づくりのための運動、身体活動基準について説明できる。 ⑤衛生に関する現代の課題を理解し、気候変動・健康格差などの問題解決に向けた持続可能な社会(SDGs)の目標、国際保健の重要性を知る。 【成績評価方法】 ・レポート試験:40%(学修した日本の衛生・公衆衛生上の課題について、科学的根拠に基づいて論説し、考察する能力を評価する。) ・日常的な授業における取組状況の評価:60%(授業は各回の小テストによる理解度による評価。テーマに対しての「小レポート」作成による評価を行う。) <授業スケジュール> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月 日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9 月 29 日</td> <td>社会と健康 健康の概念 公衆衛生の概念</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 月 6 日</td> <td>疫学・統計(1) 衛生統計資料</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10 月 13 日</td> <td>疫学・統計(2) 疫学調査の方法</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10 月 20 日</td> <td>ライフスタイルの現状と対策(1)ー身体活動・運動</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10 月 27 日</td> <td>ライフスタイルの現状と対策(2)ー生活環境と健康 たばこの害 禁煙</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11 月 3 日</td> <td>ライフスタイルの現状と対策(3)ー生活環境と健康 飲酒 多量飲酒の害</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11 月 10 日</td> <td>環境と健康影響</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11 月 17 日</td> <td>環境(ウイルス・細菌)と感染症(1)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11 月 24 日</td> <td>環境(ウイルス・細菌)と感染症(2)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12 月 1 日</td> <td>発育・発達 成長 (1)母子保健</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12 月 8 日</td> <td>発育・発達 成長 (2)小児・学校保健</td> </tr> </tbody> </table>						回	月 日	テーマ・キーワード	1	9 月 29 日	社会と健康 健康の概念 公衆衛生の概念	2	10 月 6 日	疫学・統計(1) 衛生統計資料	3	10 月 13 日	疫学・統計(2) 疫学調査の方法	4	10 月 20 日	ライフスタイルの現状と対策(1)ー身体活動・運動	5	10 月 27 日	ライフスタイルの現状と対策(2)ー生活環境と健康 たばこの害 禁煙	6	11 月 3 日	ライフスタイルの現状と対策(3)ー生活環境と健康 飲酒 多量飲酒の害	7	11 月 10 日	環境と健康影響	8	11 月 17 日	環境(ウイルス・細菌)と感染症(1)	9	11 月 24 日	環境(ウイルス・細菌)と感染症(2)	10	12 月 1 日	発育・発達 成長 (1)母子保健	11	12 月 8 日	発育・発達 成長 (2)小児・学校保健
回	月 日	テーマ・キーワード																																							
1	9 月 29 日	社会と健康 健康の概念 公衆衛生の概念																																							
2	10 月 6 日	疫学・統計(1) 衛生統計資料																																							
3	10 月 13 日	疫学・統計(2) 疫学調査の方法																																							
4	10 月 20 日	ライフスタイルの現状と対策(1)ー身体活動・運動																																							
5	10 月 27 日	ライフスタイルの現状と対策(2)ー生活環境と健康 たばこの害 禁煙																																							
6	11 月 3 日	ライフスタイルの現状と対策(3)ー生活環境と健康 飲酒 多量飲酒の害																																							
7	11 月 10 日	環境と健康影響																																							
8	11 月 17 日	環境(ウイルス・細菌)と感染症(1)																																							
9	11 月 24 日	環境(ウイルス・細菌)と感染症(2)																																							
10	12 月 1 日	発育・発達 成長 (1)母子保健																																							
11	12 月 8 日	発育・発達 成長 (2)小児・学校保健																																							

12	12 月 15 日	持続可能な社会(SDGs)と健康(1) 地球環境・気候変動と健康
13	12 月 22 日	持続可能な社会(SDGs)と健康(2) 健康格差・貧困と健康
14	1 月 12 日	持続可能な社会(SDGs)と健康(3) Withコロナ社会と超高齢社会と認知症対策
15	1 月 19 日	Withコロナ社会で健康寿命をのばすには？
<教科書・参考書> 【教科書】 授業ではその都度、プリントを配布する。 【参考書】 ・『社会・環境と健康』 田中平三/徳留信寛/辻一郎/吉池信男著(南江堂 978-4-524-26893-1) ・『国民衛生の動向』(厚生統計協会) ・『認知症の看護』 鈴木みずえ著(南江堂 978-4-524-25514-6)		